

<p>工事特記仕様書（改修）</p> <p>・ 工事名称 津市消防本部 改修工事</p> <p>・ 工事概要</p> <p>1 工事場所 三重県津市久居神明町2276 地内</p> <p>2 敷地面積 7,183.760㎡</p> <p>3 工事内容 共同指令センター、新旧指令室改修工事</p> <p>機名称 庁舎棟</p> <p>構造 RC造3階建て</p> <p>建築面積 1,976.334㎡</p> <p>延べ面積 3,807.563㎡</p> <p>工事項目 改修工事</p> <p>1 建築改修工事仕様</p> <p>・ 共通仕様 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）最新版（以下「改修標準仕様書」という。）」による。</p> <p>2 特記仕様 (1) 項目は、番号に 印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、 印の付いたものを適用する。 (3) 項目欄に記載の（ ）内表示番号は改修仕の該当項目を示す。</p>		<p>4 建設副産物情報交換システムの利用</p> <p>5 三重県産業廃棄物税</p> <p>6 電気保安技術者 (1.3.3)</p> <p>7 技能士 (1.7.2)</p> <p>8 施工数量調査 (1.6.2)</p> <p>9 調査のための破壊部分の補修 (1.5.3)</p> <p>10 建築材料等</p> <p>11 化学物質の濃度測定 (1.6.9)</p> <p>12 特別な材料の工法</p> <p>13 騒音・振動の防止</p> <p>14 工事写真 (1.2.4)</p> <p>15 完成図等 (1.8.2) (1.8.3)</p> <p>16 完成写真</p> <p>17 設備工事との取合い</p> <p>18 既存部分等への処置 (1.3.13)</p> <p>19 事故の発生時</p> <p>20 消防提出書類</p> <p>21 労働安全衛生法に基づく労働災害防止措置</p> <p>22 不正軽油の使用の禁止</p> <p>23 屋外広告物</p>		<p>受注者は、工事着手前及び工事完了後に「再生資源利用計画書（実施書）」、「再生資源利用促進計画書（実施書）」を監督員に提出することとし、また、法令等に基づき、再生資源利用計画を工事現場の公衆が見えやすい場所に掲げること。なお、工事着手前にはJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へデータ入力し、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。</p> <p>本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物納付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。</p> <p>・ 配置する</p> <p>職種別に可能なものについては、積極的に活用すること。</p> <p>調査範囲及び調査方法 ○ 工種別の特記による</p> <p>補修方法 ・ 図示（図面番号： ） ・（ ）</p> <p>1） 本工事に使用する木材は、津市公共建築物等木材利用方針に基づき、木材の利用に努めること。 2） 本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、F 以上とする。</p> <p>測定対象化学物質（ 示したものとす。）</p> <table border="1"> <tr> <th>適用</th> <th>施設用途</th> <th>ホルムアルデヒド</th> <th>トルエン</th> <th>キシレン</th> <th>エチルベンゼン</th> <th>スチレン</th> <th>パラジクロロベンゼン</th> </tr> <tr> <td></td> <td>学校、教育施設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>住宅</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>測定対象室及び測定箇所数 ・ 図示（図面番号： ） ○（ 新指令室 2箇所 ）</p> <p>測定方法（ ○ パツシフ法 ・ アクティブ法）</p> <p>測定時期 ○（ 改修前、改修後 ）</p> <p>報告書提出部数 2部</p> <p>改修標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。</p> <p>低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。</p> <p>営繕工事写真撮影要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部（最新版））に従い撮影する。 提出部数 1部 用紙はA5用紙とする。 なお、デジタル工事写真の小黒板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の小黒板情報電子化について（平成29年3月1日付け国営整第211号）」による。</p> <p>作成する（ ○ 完成図 ・ 安全に関する資料 ・（ ）） 完成図作成範囲（設計図を訂正） 完成図はC A Dにより作成することとし、著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む）にかかる著作権は発注者に移譲するものとする。また、製本2部（原図サイズ）により提出すること。</p> <p>○ デジタルカメラで撮影し、全て1版相当サイズで印刷する。 （A 4版用紙に1ページあたり3枚） 1部 箇所数は外観4面各室2面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合や枚数が多くなる場合には、監督員と協議すること。写真は、着工前・施工中・完成を同一場所から、黒板なしで撮影すること。</p> <p>施工範囲 ・ 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔・開口部の補強 ○ 図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強 ・ 自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強 ・ 駆動装置が電動による建具等の2次側の配管・配線及び操作スイッチ</p> <p>施工図 ○ 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。</p> <p>工事施工に際し、既存部分を汚損した場合又は損傷した場合は、監督職員に報告するとともに承諾を受けて原状に準じて補修する。</p> <p>工事の施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故発生報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出すること。 また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。</p> <p>1） 消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成 ○ 本工事（ ・ 建築工事 ・ 電気設備工事 ○ 機械設備工事） ・ 別途工事</p> <p>2） 防火対象物使用開始届出書 書類の作成（電気設備図面の作成及び電気設備に関する部分の記入）を行うこと。</p> <p>労働安全衛生法第30条第1項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講ずべき者として、同法第30条第2項の規定に基づき、本工事の請負者を指名する。この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。</p> <p>1） 一般事項 市工事の施工にあたり、工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第144条の32（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。 2） 調査の協力 受注者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また、受注者は下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。 3） 是正措置 受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じよう管理及び監督しなければならない。</p> <p>屋外広告物を設置する場合は、「三重県屋外広告物条例」第23条に規定する屋外広告物の登録事業者であること。</p>		適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンゼン		学校、教育施設								住宅								その他							<p>2 石綿含有建材の調査 (1.5.1)</p> <p>○ 石綿含有建材の事前調査 調査範囲 ・ 図示（図面番号： ） ○（ 改修範囲 ） 貸与資料 ・ 既存の設計図書 ・ 石綿含有建材の調査報告書 ・（ ）</p> <p>・ 分析調査 分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト</p> <p>分析方法</p> <table border="1"> <tr> <th>材料名</th> <th>定性分析法 JIS A 1481-1または JIS A 1481-2</th> <th>定量分析法 JIS A 1481-3または JIS A 1481-4</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 箇所数( )</td> <td>・ 箇所数( )</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 箇所数( )</td> <td>・ 箇所数( )</td> </tr> </table> <p>サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 ・ 図面（図面番号： ） ・（ ）</p> <p>○ 石綿含有の可能性がある建材は、みなし扱いとし、撤去処分を行う。</p> <p>1 騒音・粉じん等の対策 (2.1.3)</p> <p>・ 防音パネル 設置範囲 ・ 図示（図面番号： ） ・ 防音シート 設置範囲 ・ 図示（図面番号： ）</p> <p>2 足場 (2.2.1) (表2.2.1)</p> <p>設置する足場について、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月）」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の2の(2)手すり据置き型方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。</p> <p>内部足場の種別（参考） ○ 脚立 ・ 欄足場 ・ その他（ ） 外部足場の種別（参考） ・ 手組先行据置枠組足場 ・ 移動足場 ・ 高所作業車 ・ その他（ ） 外部足場設置範囲（参考） ・ 外部改修部 ・ 設備改修部 ・ 昇降用 ・ 転落防止用 防護シート等による養生 ・ 適用する ・ 適用しない</p> <p>足場（つり足場、張出し足場又は高さ10m以上の足場で、組立から解体までの期間が60日以上のものに限る。）の組立て後、市監督員立ち合いの下、当該足場の組立てを担当した者以外の足場に十分な知識と経験を有する者により点検を行うこと。なお、「十分な知識と経験を有する者」とは、以下の者とする。 1） 足場の組立て等作業主任者であって、労働安全衛生法第19条の2に基づく足場の組立て等作業主任者能力向上教育を受けた者 2） 労働安全衛生法第81条に規定する労働安全コンサルタント（区分が土木又は建築である者）や厚生労働大臣の登録を受けた者が行う研修を修了した者等法第88条に基づく足場の設置等の届出に係る「計画作成参照書」に必要な資格を有する者 3） 全国仮設安全事業協同組合が行う「仮設安全監理者資格取得講習」、建設業労働災害防止協会が行う「施工管理者等のための足場点検実務研修」を受けた者等足場の点検に必要な専門的知識の習得のために行う教育、研修又は講習を修了するなど、足場の安全点検について、上記1）又は2）に掲げる者と同等の知識・経験を有する者</p> <p>既存部分の養生 (2.3.1)</p> <p>既存部分の養生 ・ 図示（図面番号： ） 既存ブラインド・カーテンの養生 養生方法（ ） 保管場所 ・ 構内既存施設内 固定された備品、机、ロッカーの移動 ・ 行う ○ 行わない</p> <p>仮設間仕切り (2.3.2) (表2.3.1)</p> <p>屋内の仮設間仕切り ・ A種 ・ B種 ・ C種 合板 厚さ ・ 9mm ・（ ） せつこうボード 厚さ ・ 9.5mm ・（ ） 合板又はせつこうボードの塗装 ・ 行う ・ 行わない 仮設扉 設置箇所 ・ 図示（図面番号： ） 仕様 ・ 合板張り木製扉 ・（ ）</p> <p>監督員事務所 (2.4.1)</p> <p>・ 構内建物内の一部を使用する。 ・ 設置する ○ 設置しない 監督員事務所の規模(単位:㎡)</p> <table border="1"> <tr> <th>適用規模</th> <th>10程度</th> <th>20程度</th> <th>35程度</th> <th>65程度</th> <th>100程度</th> </tr> </table> <p>監督員事務所の仕上げ</p> <table border="1"> <tr> <th>部位等</th> <th>仕 上 げ</th> </tr> <tr> <td>床</td> <td>合板張り又はビニル床シート張り</td> </tr> <tr> <td>内壁・天井</td> <td>合板張り又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り</td> </tr> <tr> <td>屋根</td> <td>表層融垂鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り</td> </tr> </table> <p>種類 机・いす 書棚 黒板・白板 掛時計 温度計 数量 組 台 個 個 個 種類 長靴 雨合羽 保護帽 懐中電灯 衣類ロッカー 数量 足 着 個 個 台 種類 消火器 掃除具 受注者加入電話 FAX 冷暖房機器 インターネット 数量 個 個 台 台 台</p> <p>構内既存の施設 ・ 利用できる ○ 利用できない</p> <p>工事用水 構内既存の施設 ○ 利用できる（ ・ 有償 ○ 無償） ・ 利用できない</p> <p>工事用電力 構内既存の施設 ○ 利用できる（ ・ 有償 ○ 無償） ・ 利用できない 有償利用の場合において、本工事で新規受電又は既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は、本工事に含まれる。</p> <p>配置 ○ 図示（図面番号： A-04 ）</p>		材料名	定性分析法 JIS A 1481-1または JIS A 1481-2	定量分析法 JIS A 1481-3または JIS A 1481-4		・ 箇所数( )	・ 箇所数( )		・ 箇所数( )	・ 箇所数( )	適用規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度	部位等	仕 上 げ	床	合板張り又はビニル床シート張り	内壁・天井	合板張り又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り	屋根	表層融垂鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り
適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンゼン																																																							
	学校、教育施設																																																													
	住宅																																																													
	その他																																																													
材料名	定性分析法 JIS A 1481-1または JIS A 1481-2	定量分析法 JIS A 1481-3または JIS A 1481-4																																																												
	・ 箇所数( )	・ 箇所数( )																																																												
	・ 箇所数( )	・ 箇所数( )																																																												
適用規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度																																																									
部位等	仕 上 げ																																																													
床	合板張り又はビニル床シート張り																																																													
内壁・天井	合板張り又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り																																																													
屋根	表層融垂鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り																																																													

章	項目	特記事項																					
1	① 適用基準等	<p>1）公共建築工事標準仕様書（建築工事編） 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（最新版）</p> <p>2）公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編） 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（最新版）</p> <p>3）建築物解体工事共通仕様書 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（最新版）</p> <p>4）建築工事標準詳細図 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（最新版）</p>																					
	② 施工条件	<p>施工方法及び検査に関する事項</p> <p>工事契約後、速やかに調査及び施工計画書等を作成し、現場着手までに市監督員の承諾を得ること。 工事中の安全計画・消防計画等は、市監督員と十分協議し災害防止に努めること。 本工事における諸官庁への届出、手続き及び書類等は、速やかに提出し工事の遂行に影響の無いよう努めること。 特定作業に伴って発生する騒音は、低振動・低騒音に努め騒音規 制法に基づき関係機関への届出・打合せの上、作業に着手すること。 工事期間中、近隣関係者等へ危害を与えないよう注意し、かつ周道路等に資材を落下させたり、ほりこ等を飛散させないように万全の注意を払うこと。 場外退出時、車両足廻りの洗浄等を行い、汚損等しないようにすること。 工事車両の出入りについては、安全確保に十分配慮すること。 大型車両通行時には誘導員を配置し、通行人及び敷地周辺の安全に十分配慮すること。 工事車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。 工事着手前には、現況把握のために、破壊箇所等があれば、市監督員立ち合いのもと写真に記録しておくこと。 工事期間中、工事に起因し、既存施設に破損等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに原状復旧するとともに市監督員に報告書を提出すること。 設計図面に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取り合いのはつり補修復旧は本工事に含む。なお内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。 高所等の施工箇所で行った検査時に確認が困難な工事については、足場解体前に市検査課による随時検査(書類を含む)を受けること。また、当該検査の合格をもって足場解体を行うこと。</p>																					
	③ 発生材の処理等 (1.3.12)	<p>本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。)施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化の実施について適正な措置を講ずることとする。</p> <p>工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難い場合は、監督員と協議するものとする。</p> <p>・ 分別解体等の方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工程</th> <th>作業の有無</th> <th>分別解体等の方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>造成等</td> <td>・ 有 ○ 無</td> <td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>基礎・基礎ぐい</td> <td>・ 有 ○ 無</td> <td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>上部構造部分・外装</td> <td>・ 有 ○ 無</td> <td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>屋根</td> <td>・ 有 ○ 無</td> <td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>建築設備・内装等</td> <td>○ 有 ・ 無</td> <td>・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>その他 ( )</td> <td>・ 有 ○ 無</td> <td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 引き渡すを要するもの ○ 無 ・ ( ) ・ 特別管理産業廃棄物 ・ 有 ( ・ PCBを含む機器類 ・ 廃油、廃酸、廃アルカリ ・ ダイオキシン類 ・ 水銀を含む特別管理産業廃棄物 ・ 廃水銀等 ) 処理方法 ( ) ・ 水銀使用製品産業廃棄物 ・ 有 ( ・ 蛍光灯ランプ ・ HIDランプ ・ ( ) ) 「水銀廃棄物ガイドライン」(第2版)(平成31年3月 環境省環境再生・資源循環局廃棄物規制課)に基づき適切に処理すること。 ○ 石綿含有成形板等解体時の留意点 1. 手ばらし等、出来るだけ粉塵の発生しない方法で行うこと。 2. 可能であれば湿潤状態(散水)として作業を進めること。 3. 飛散されない様にする。こと。 4. 保護具及び作業着を着用すること。 5. 解体されたボード等は、蓋のある容器に入れること。 6. 事前に使用箇所や状況の調査を行い記録すること。 ・ 現場において再利用を図るもの ( ) ・ 再資源化を図るもの ・ コンクリート塊 ・ アスファルトコンクリート塊 ・ 建設発生木材 ・ ( )</p> <p>引渡を要するもの、再資源化を図るものについては調書を作成し、監督員へ提出すること。 引渡を要するもの以外のものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従って適切に処理し、監督員にマニフェストA、B、D票を提示すること。</p>	工程	作業の有無	分別解体等の方法	造成等	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	基礎・基礎ぐい	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	上部構造部分・外装	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	屋根	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	建築設備・内装等	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用	その他 ( )	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
工程	作業の有無	分別解体等の方法																					
造成等	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																					
基礎・基礎ぐい	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																					
上部構造部分・外装	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																					
屋根	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																					
建築設備・内装等	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用																					
その他 ( )	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																					

版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	図名	縮尺	設計	服部	年月日		
					津市	三重中央指令センター総合整備工事							
					課長	主幹	課長補佐	係長	係	津市消防本部 改修工事 特記仕様書(1)	NS		
										Beam Planning Corporation			
											検査	牛田	年月日
											承認	山下	年月日
											図番	KTO1	



ビーム計画設計株式会社  
Beam Planning Corporation

6 ① 一般事項 (6.1.3)(2)	既存間仕切壁の撤去に伴う取り合い部分の改修範囲	<table border="1"> <tr> <th>改修部分</th> <th>改修範囲</th> </tr> <tr> <td>○天井</td> <td>・ 図示(図面番号: )</td> </tr> <tr> <td>○壁</td> <td>・ 図示(図面番号: )</td> </tr> <tr> <td>○床</td> <td>・ 図示(図面番号: )</td> </tr> </table>	改修部分	改修範囲	○天井	・ 図示(図面番号: )	○壁	・ 図示(図面番号: )	○床	・ 図示(図面番号: )																											
	改修部分	改修範囲																																			
	○天井	・ 図示(図面番号: )																																			
	○壁	・ 図示(図面番号: )																																			
	○床	・ 図示(図面番号: )																																			
	(6.1.3)(3)	天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い部の天井改修範囲 ○ 図示(図面番号: A-12, 13) ・ ( )																																			
	(6.1.3)(5)	天井の撤去に伴う取り合い部の壁面改修 ・ 図示(図面番号: ) ・ ( )																																			
	② 既存床撤去、下地補修 (6.2.2)(1)(7)	既存床仕上げ材の除去等 浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去 ・ 行う ○ 行わない																																			
	(6.2.2)(1)(4)	合成樹脂塗料床材の除去等 ・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法																																			
	(6.2.2)(3)	改修後の床の清掃範囲 ○ 施工範囲及び施工によって汚れが生じた範囲 ・ ( )																																			
3 既存壁撤去、下地補修 (6.3.2)	既存間仕切壁の撤去に伴う他の構造体の補修工法 ・ ( )																																				
4 木下地等 (6.5.2)(1)(f) (表6.5.1)	木材の含水率(工事現場搬入時、質量比)																																				
(6.5.2)(2)(7)	製材 「製材の日本農林規格」による製材																																				
(6.5.2)(2)(f)	「製材の日本農林規格」以外の製材																																				
(6.5.2)(2)(g) (表6.5.2)	樹種、寸法、材面の品質、防虫処理、含水率 ・ 図示(図面番号: ) 造作材の材面の品質 ・ A種 ・ ( ) 樹種																																				
(5.5.6)(1) - (5.5.9)(1)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>部 位</th> <th>樹 種</th> <th>県 産 材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>	部 位	樹 種	県 産 材																																	
部 位	樹 種	県 産 材																																			
(6.5.2)(3)(7)	造作用集成材 「集成材の日本農林規格」による造作用集成材																																				
(6.5.2)(3)(f)	「集成材の日本農林規格」以外の製材																																				
(6.5.2)(4)(7)	造作用単板積層材 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材																																				
(6.5.2)(4)(f)	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材																																				
(6.5.2)(5)	「直交集成板の日本農林規格」による直交集成板																																				
(6.5.2)(6)	合板等																																				
(6.5.3)(1)	接合具等 造作材化粧面の釘打ち ・ 隠し釘打ち ・ ( )																																				
(6.5.3)(2)	諸金物 形状、寸法及び材質 ・ 図示(図面番号: )																																				
(6.5.5)(1)	防塵、防蟻処理 適用部位 図示(図面番号: ) 保存処理性能区分( ) 薬剤の塗布等の処理方法( ) 附属書Aに基づく表面処理用木材保存剤 ・ 適用する( ・ 薬剤の種類( ) ・ 適用材( ) ) ボード原料接着剤への防塵・防蟻処理( )																																				
(6.5.5)(2)	防虫処理 ・ 図示(図面番号: )																																				
⑤ 軽量鉄骨天井 地 (6.6.2) (表6.6.1) (6.6.3)	野縁等の種類 ○ 屋内 ○ 19形 ・ ( ) ・ 屋外 ・ 25形 ・ ( ) 形式及び寸法 ・ 屋外 ・ 図示(図面番号: ) ・ 耐震天井 ・ 図示(図面番号: ) ・ ふところ 3.0m ・ 改修標準仕様書(6.6.4)(8) ・ 図示(図面番号: )																																				
(6.6.4)	既存埋込みインサート ○ 使用する ・ 使用しない( 使用する場合は、確認試験を行う ) 既存埋込みインサート、あと施工アンカーの確認試験 ○ 行う( 図示(図面番号: ) ) ・ 行わない ・ 確認試験の箇所数( 3 箇所 ) ・ 確認強度( )																																				
⑥ 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3)	耐震性・耐風圧性を考慮した補強 ・ 図示(図面番号: ) スタッド、ランナー等の種類 ○ 図示(図面番号: A-05 )																																				
7 ビニル床シート、 ビニル床タイル 及びゴム床タイ ル張り (6.8.2) (6.8.2)(1)	材料 ・ ビニル床シート【JIS A 5705(ビニル系床材)】																																				
(6.8.2)(2)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>F S</td> <td>無地</td> <td>2.0mm</td> <td></td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>	種類の記号	色柄	厚さ	備考	F S	無地	2.0mm																													
種類の記号	色柄	厚さ	備考																																		
F S	無地	2.0mm																																			
(6.8.2)(3)	・ ビニル床タイル【JIS A 5705(ビニル系床材)】																																				
(6.8.2)(3)(7)(f)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>寸法</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>K T</td> <td></td> <td></td> <td>2.0mm</td> <td></td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>	種類の記号	色柄	寸法	厚さ	備考	K T			2.0mm																											
種類の記号	色柄	寸法	厚さ	備考																																	
K T			2.0mm																																		
(6.8.2)(3)(7)(f)	・ 制電防止床シート又は床タイル																																				
(6.8.2)(3)(9)	・ 視覚障害者用床タイル																																				
(6.8.2)(3)(I)	・ 耐動荷重性床シート																																				
(6.8.2)(3)(f)(8)	・ 防滑性床シート又は床タイル																																				
(6.8.3)(1)	工法 下地 ・ モルタル塗り ・ セルフレベリング材塗り ・ 木下地 ・ その他( )																																				
(6.8.3)(2)(9)	ビニル床シート張り 熱溶接工法 ・ 適用する ・ 適用しない																																				
⑧ カーペット敷き (6.9.2)(1) (表6.9.1)	・ 織じゅうたん																																				
(6.9.2)(2) (表6.9.2)	・ タフテッドカーペット																																				
(6.9.2)(3) (表6.9.2)	○ タイルカーペット																																				
(6.9.2)(4) (6.9.2)(5)	下敷き材 ・ 第2種第2号、厚さ8mm ・ ( ) 見切り、押え金物 ・ 適用する(材質、種類及び形状 ・ 図示(図面番号: ) )																																				
(6.9.3)(3)	織じゅうたんの接合方法 ・ ヒートボンド工法 ・ ( )																																				
(6.9.3)(5)	タイルカーペットの敷き方																																				
9 合成樹脂塗床 (6.10.3)(2)(a) (表6.10.4) (6.10.3)(2)(b) (6.10.3)(3) (表6.10.5) - (表6.10.8)	弾性ウレタン樹脂系塗床の仕上げ種類、工程 ・ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ ・ つや消し仕上げ エポキシ樹脂系塗床の仕上げ種類 ・ 薄膜流しのべ仕上げ( ・ 平滑 ・ 防汚 ) ・ 薄膜流しのべ仕上げ( ・ 平滑 ・ 防汚 ) ・ 樹脂モルタル仕上げ( ・ 平滑 ・ 防汚 ) ・ 薄膜型塗床仕上げ( ・ 平滑 )																																				
10 フローリング 張り (6.11.4) (表6.11.2)	・ 釘留め工法																																				
(6.11.5) (表6.11.5) (表6.11.6)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>材料</th> <th>種別</th> <th>樹種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ フローリングボード (根太張用)</td> <td></td> <td>・ なら</td> </tr> <tr> <td>・ 複合フローリング (根太張用)</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> <td>・ ( )</td> </tr> </tbody> </table>	材料	種別	樹種	・ フローリングボード (根太張用)		・ なら	・ 複合フローリング (根太張用)	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ ( )																											
材料	種別	樹種																																			
・ フローリングボード (根太張用)		・ なら																																			
・ 複合フローリング (根太張用)	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ ( )																																			
(6.11.6)	防湿処理 ・ 図示(図面番号: )																																				
(6.11.6)	・ 接着工法																																				
(6.11.6)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>樹種</th> <th>厚さ</th> <th>大きさ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ フローリングボード(直張用)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ フローリングブロック(直張用)</td> <td>・ なら</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 複合フローリング(直張用)</td> <td>・ ( )</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	材種	樹種	厚さ	大きさ	・ フローリングボード(直張用)				・ フローリングブロック(直張用)	・ なら			・ 複合フローリング(直張用)	・ ( )			・ A種 ・ B種 ・ C種																			
材種	樹種	厚さ	大きさ																																		
・ フローリングボード(直張用)																																					
・ フローリングブロック(直張用)	・ なら																																				
・ 複合フローリング(直張用)	・ ( )																																				
・ A種 ・ B種 ・ C種																																					
(6.11.6)	継ぎ材 ・ 合成樹脂発泡シート ・ 図示(図面番号: )																																				
(6.11.6)	塗替え 下地調整 ・ ( ) 塗装 ・ ウレタン樹脂ニス塗り(1液形、B種) ・ オイルステイン塗りのうえワックス塗り ・ 生地のままワックス塗り ・ ( )																																				
11 畳敷き (6.12.2) (表6.12.1)	種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ D種の畳床 K T - ( ・ ・ ・ ・ ・ K ・ N )																																				
② せっこうボ ード、その他ボ ード及び合板 張り (6.13.2) (表6.13.1)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>種別</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ せっこうボード</td> <td></td> <td>壁 ・ 9.5(準不燃) ○ 12.5(不燃) 軒 ・ 9.5(不燃) ・ 12.5(不燃)</td> </tr> <tr> <td>・ 化粧せっこうボード</td> <td>・ トラバーチン模様 ・ 木目模様</td> <td>・ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃) ・ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td>○ ロックウール化粧吸音板</td> <td>○ 普通 ・ 立体模様</td> <td>○ 9(不燃) ・ ( )</td> </tr> <tr> <td>・ けい酸カルシウム板</td> <td>・ タイプ 0.8FK</td> <td>・ ( ) ・ ( )</td> </tr> </tbody> </table>	材種	種別	厚さ(mm)	○ せっこうボード		壁 ・ 9.5(準不燃) ○ 12.5(不燃) 軒 ・ 9.5(不燃) ・ 12.5(不燃)	・ 化粧せっこうボード	・ トラバーチン模様 ・ 木目模様	・ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃) ・ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃)	○ ロックウール化粧吸音板	○ 普通 ・ 立体模様	○ 9(不燃) ・ ( )	・ けい酸カルシウム板	・ タイプ 0.8FK	・ ( ) ・ ( )																					
材種	種別	厚さ(mm)																																			
○ せっこうボード		壁 ・ 9.5(準不燃) ○ 12.5(不燃) 軒 ・ 9.5(不燃) ・ 12.5(不燃)																																			
・ 化粧せっこうボード	・ トラバーチン模様 ・ 木目模様	・ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃) ・ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃)																																			
○ ロックウール化粧吸音板	○ 普通 ・ 立体模様	○ 9(不燃) ・ ( )																																			
・ けい酸カルシウム板	・ タイプ 0.8FK	・ ( ) ・ ( )																																			
(6.13.3)(4)(9)	合板類の張付け ・ A種 ・ B種																																				
(6.13.3)(6)(7) (表6.13.5)	せっこうボードの目地工法 ○ 継目処理 ○ 突付け ・ 目透し																																				
13 壁紙張り (6.14.2)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>防火性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 不燃 ・ 準不燃</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 不燃 ・ 準不燃</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 不燃 ・ 準不燃</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	種類	防火性能			・ 不燃 ・ 準不燃			・ 不燃 ・ 準不燃			・ 不燃 ・ 準不燃																								
施工箇所	種類	防火性能																																			
		・ 不燃 ・ 準不燃																																			
		・ 不燃 ・ 準不燃																																			
		・ 不燃 ・ 準不燃																																			
14 モルタル塗り (6.15.3) (6.15.5) (6.15.6)	モルタル ・ 現場調合材料 ・ 既調合材料 既製目地材 ・ 使用する(形状: ) 床の目地 ・ 図示(図面番号: ) 下地処理 ・ 壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mm超 図示(図面番号: )																																				
15 タイル張り (6.16.2) (6.16.3)	伸縮調整目地 位置 ・ 図示(図面番号: )																																				
(6.16.3)(2)	タイルの種類																																				
(6.16.3)(2)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>工 法</th> <th>種 類</th> <th>形状寸法</th> <th>耐滑り性</th> <th>うわぐすり</th> <th>役 物</th> <th>標準・特注 色の別</th> <th>耐凍害性 の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>	施工箇所	工 法	種 類	形状寸法	耐滑り性	うわぐすり	役 物	標準・特注 色の別	耐凍害性 の有無																											
施工箇所	工 法	種 類	形状寸法	耐滑り性	うわぐすり	役 物	標準・特注 色の別	耐凍害性 の有無																													
(6.16.3)(2)	試験張り ・ 行う ・ 行わない 見本焼き ・ 行う ・ 行わない 既調合モルタル ・ 使用できる ・ 使用できない																																				
16 セルフレベ リング材塗り (6.17.2) (6.17.3)	・ せっこう系 ・ セメント系 塗厚( )mm																																				
17 断熱材 (9.5.2)	断熱材打込み工法																																				
(9.5.3)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>種別</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 押出法ポリスチレンフォーム</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ A種硬質ウレタンフォーム</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ フェノールフォーム</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類	種別	厚さ(mm)	施工箇所	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム				・ 押出法ポリスチレンフォーム				・ A種硬質ウレタンフォーム				・ フェノールフォーム																			
種類	種別	厚さ(mm)	施工箇所																																		
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム																																					
・ 押出法ポリスチレンフォーム																																					
・ A種硬質ウレタンフォーム																																					
・ フェノールフォーム																																					
(9.5.3)	断熱材現場発泡工法(吹付硬質ウレタンフォーム)																																				
(9.5.3)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ[mm]</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ A種1</td> <td></td> <td>・ 意回り等の断熱材補修部分、ルーフトレン回りの床版 下等、部分的に後張りとしなければならない箇所</td> </tr> <tr> <td>・ A種1H</td> <td>・ ( )</td> <td>・ ( )</td> </tr> <tr> <td>・ ( )</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類	厚さ[mm]	施工箇所	・ A種1		・ 意回り等の断熱材補修部分、ルーフトレン回りの床版 下等、部分的に後張りとしなければならない箇所	・ A種1H	・ ( )	・ ( )	・ ( )																										
種類	厚さ[mm]	施工箇所																																			
・ A種1		・ 意回り等の断熱材補修部分、ルーフトレン回りの床版 下等、部分的に後張りとしなければならない箇所																																			
・ A種1H	・ ( )	・ ( )																																			
・ ( )																																					
⑬ フリーアクセ スフロア	既設部取り合部: ○ボーダー支柱を適宜新設し補強する。 耐荷重性能: ・ 3000N ・ 4000N ○5000N ○フェイスカ対策 ・ 既設フリーアクセスフロアの不陸調整 ○ フリーアクセスフロア モザイクフロア 5000N (藤沢建機(株) 同等品)																																				

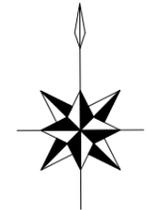
版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	図名	縮尺	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	津市消防本部 改修工事 特記仕様書(2)	1/50	検図	牛田	年月日
					課長	主幹	課長補佐	係長	承認	山下	年月日
									図番		KTO2



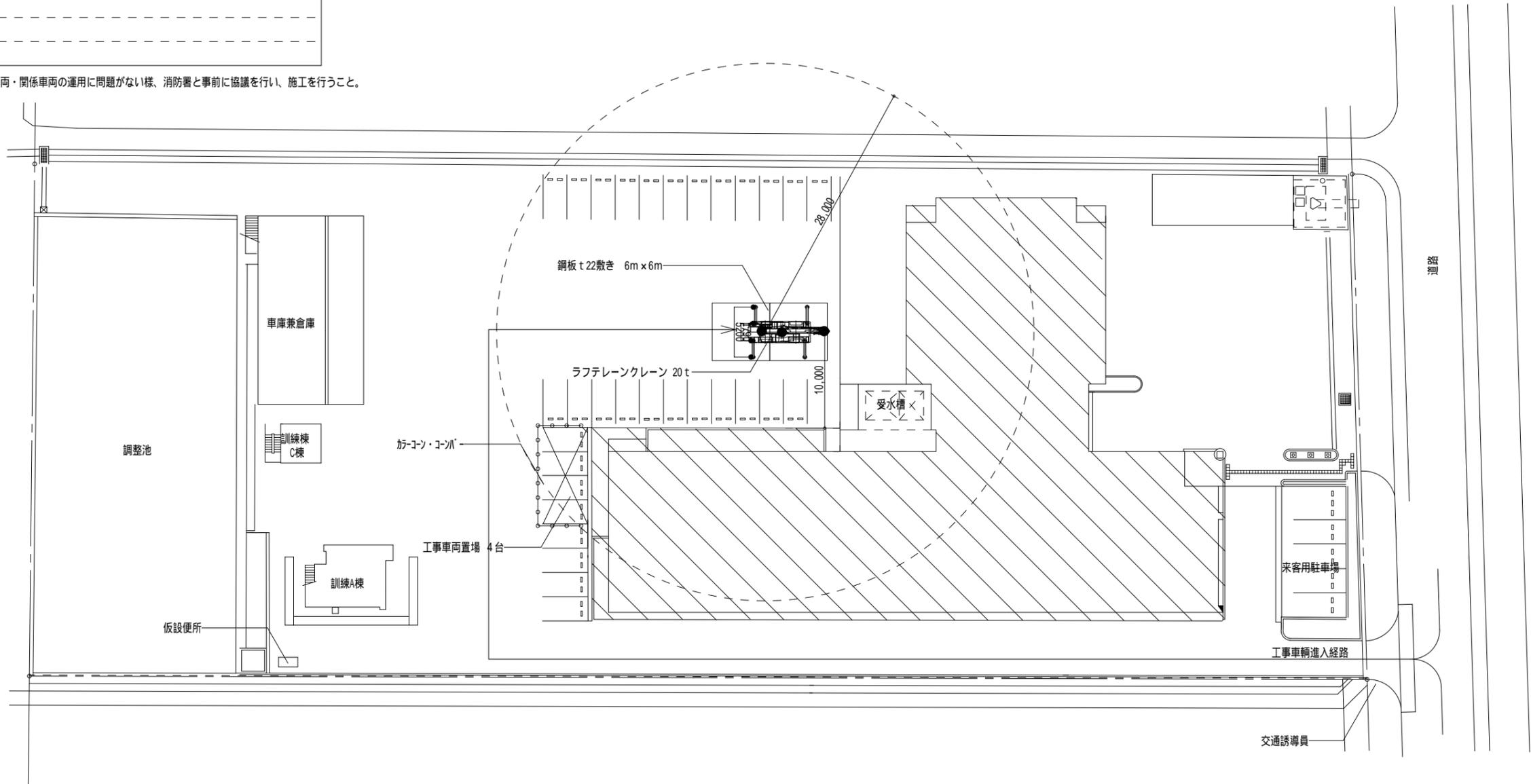
ビーム計画設計株式会社  
Beam Planning Corporation

7 ① 材料 (7.1.3) ② 下地調整 (7.2.1-7.2.7) (表7.2.1) - (表7.2.7) ③ 素地ごしらえ (7.3.1-7.3.7) (表7.3.1) - (表7.3.7) 4 錆止め塗料塗り (7.4.2) (表7.4.3) - (表7.4.5) 5 合成樹脂適合ペ イント塗り(SOP) (7.5.3-7.5.4) (表7.5.1) - (表7.5.3) 6 クリヤラッカー 塗り(DL) (7.6.2) (表7.6.1) 非水分散形塗料 (NAD) (7.7.2) (表7.7.1) 8 耐候性塗料塗り (DP) (7.8.2) - (7.8.4) (表7.8.1) - (表7.8.3) 9 つや有合成樹脂 エマルションペ イント塗り (EP-6) (7.9.2) - (7.9.5) (表7.9.1) - (表7.9.4) ⑩ 合成樹脂エマ ルションペイ ント塗り(EP) (7.10.2) (表7.10.1) 11 ウレタン樹脂 ワニス塗り (UC) (7.11.2) (表7.11.1) 12 スティン塗り (OS) (7.12.2) (表7.12.1) 13 木材保護塗料 塗り(IP) (7.13.2) (表7.13.1)	<p>○ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・ 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所: )</p> <p>既存塗膜の除去範囲(塗り替えてR B種の場合) ・ 図示(図面番号: )</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>下地</th> <th>種別</th> <th>ひび割れ部の補修</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 木部</td> <td></td> <td>・ RA種 ・ RB種 ・ RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 鉄鋼面</td> <td></td> <td>・ RA種 ・ RB種 ・ RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 亜鉛めっき鋼面</td> <td></td> <td>・ RA種 ・ RB種 ・ RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ モルタル、プaster面</td> <td></td> <td>・ RA種 ・ RB種 ・ RC種</td> <td>・ 行う</td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート、ALCパネル面</td> <td></td> <td>・ RA種 ・ RB種 ・ RC種</td> <td>・ 行う</td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート、押出成形セメント板面</td> <td></td> <td>・ RA種 ・ RB種 ・ RC種</td> <td>・ 行う</td> </tr> <tr> <td>○ せっこうボード、その他ボード面</td> <td></td> <td>・ RA種 ○ RB種 ・ RC種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>種別</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>下地</th> <th>種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 木部</td> <td></td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>・ 鉄鋼面</td> <td></td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>・ 亜鉛めっき鋼面</td> <td></td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>・ モルタル、プaster面</td> <td></td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート、ALCパネル面</td> <td></td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート、押出成形セメント板面</td> <td></td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>○ せっこうボード、その他ボード面</td> <td></td> <td>・ A種 ○ B種</td> </tr> </tbody> </table> <p>錆止め塗料種別 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種</p> <p>錆止め塗料塗り種別 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種</p> <p>塗料種別 ・ 1種 ・ ( )</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>下地</th> <th>種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 木部</td> <td></td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>・ 鉄鋼面</td> <td></td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>・ 亜鉛めっき鋼面</td> <td></td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> </tbody> </table> <p>種別 木部 ・ A種 ・ B種</p> <p>・ A種 ・ B種</p> <p>上塗り等級 ・ 1級(フッ素系) ・ 2級(シリコン系) ・ 3級(ポリウレタン系)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>下地</th> <th>種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート面及び 押出成形セメント板面</td> <td></td> <td>・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種</td> </tr> </tbody> </table> <p>種別</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>下地</th> <th>種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート、モルタル、 プaster、せっこうボード、 その他ボード面</td> <td></td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種 しみ止め( )</td> </tr> <tr> <td>木部(屋内)</td> <td></td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面(屋内)</td> <td></td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面(屋内)</td> <td></td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> </tbody> </table> <p>種別 ・ A種 ○ B種 ・ C種 しみ止め ・ ( )</p> <p>種別 ・ A種 ・ B種 工程1の着色 ・ 適用する ・ 適用しない</p> <p>種類 ・ ビグメントスティン塗り ・ オイルスティン塗り オイルスティン塗りの工程、塗料 ・ ( )</p> <p>種別 ・ A種 ・ B種</p>	種別	下地	種別	ひび割れ部の補修	・ 木部		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種		・ 鉄鋼面		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種		・ 亜鉛めっき鋼面		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種		・ モルタル、プaster面		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う	・ コンクリート、ALCパネル面		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う	・ コンクリート、押出成形セメント板面		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う	○ せっこうボード、その他ボード面		・ RA種 ○ RB種 ・ RC種		種別	下地	種別	・ 木部		・ A種 ・ B種	・ 鉄鋼面		・ A種 ・ B種	・ 亜鉛めっき鋼面		・ A種 ・ B種	・ モルタル、プaster面		・ A種 ・ B種	・ コンクリート、ALCパネル面		・ A種 ・ B種	・ コンクリート、押出成形セメント板面		・ A種 ・ B種	○ せっこうボード、その他ボード面		・ A種 ○ B種	種別	下地	種別	・ 木部		・ A種 ・ B種 ・ C種	・ 鉄鋼面		・ A種 ・ B種 ・ C種	・ 亜鉛めっき鋼面		・ A種 ・ B種 ・ C種	種別	下地	種別	コンクリート面及び 押出成形セメント板面		・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種	種別	下地	種別	コンクリート、モルタル、 プaster、せっこうボード、 その他ボード面		・ A種 ・ B種 ・ C種 しみ止め( )	木部(屋内)		・ A種 ・ B種 ・ C種	鉄鋼面(屋内)		・ A種 ・ B種 ・ C種	亜鉛めっき鋼面(屋内)		・ A種 ・ B種 ・ C種	<p>9 屋根防水改修工事</p> <p>① 石綿含有建材の 除去工事 (9.1.1)</p> <p>・ 石綿粉じん濃度測定 測定時期、場所及び測定点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用</th> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定点 (各施工箇所ごと)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>測定 1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>測定 2</td> <td></td> <td>調査対象外部の付近</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>測定 3</td> <td>処理作業中</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>測定 4</td> <td></td> <td>負圧・除じん装置の排気出し し口</td> <td>出口吹出し風速1m/s 以下の位置 計 点</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>測定 5</td> <td></td> <td>処理作業室外(敷地境界)</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>測定 6</td> <td>処理作業後 (シート養生中)</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>測定 7</td> <td>処理作業後シート 撤去後1週間</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>測定 8</td> <td>以降</td> <td>調査対象外部の付近</td> <td>計 点</td> </tr> </tbody> </table> <p>測定方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>測定 3</th> <th>測定 1,2,4,6,7,8</th> <th>測定 5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>メンブレンフィルタ直径(mm)</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引流量(L/min)</td> <td>・ 1 ・ ( )</td> <td>・ 5 ・ ( )</td> <td>・ 10 ・ ( )</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引時間(min)</td> <td>・ 5 ・ ( )</td> <td>・ 120 ・ ( )</td> <td>・ 240 ・ ( )</td> </tr> </tbody> </table> <p>(9.1.3) ・ 石綿含有吹付け材の除去 除去対象範囲 ・ 図示(図面番号: ) 除去工法 ・ 改修標準仕様書9.1.3(2)(7)による ・ ( ) 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止 ・ 湿潤化 ・ 固形化 除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理(溶融又は無害化による)</p> <p>(9.1.4) ・ 石綿含有保温材等の除去 除去対象範囲 ・ 図示(図面番号: ) 除去方法 ・ 改修標準仕様書9.1.4(1)による ・ ( ) 除去した石綿含有保温材等の処分 ・ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理(溶融又は無害化による)</p> <p>(9.1.5) ○ 石綿含有成形板の除去 除去対象範囲 ○ 図示(図面番号: ) 石綿含有せっこうボードの処分 ○ 埋立処分(管理型最終処分場) 石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板の処分 ・ 埋立処分(安定型最終処分場) ・ 中間処理(溶融又は無害化による)</p> <p>(9.1.6) ・ 石綿含有仕上塗材の除去 除去対象範囲 ・ 図示(図面番号: ) 除去した石綿含有仕上塗材等の処分 ・ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理(溶融又は無害化による) 大気汚染防止法および石綿障害予防規則に加え、「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止 び石綿飛散漏れ防止対策徹底マニュアル(令和3年3月)」に基づき適切に処理すること。 除去作業の結果報告 除去作業が終了したときは環境省令で定めるところにより、その結果を遅滞なく発注者に書面で報告すること。</p> <p>○石綿含有の可能性がある建材は、みなし扱いとし、撤去処分を行う。 改修特記仕様書3章による</p> <p>2 断熱アスファ ルト防水改修工 事 (9.2.1) - (9.2.3)</p> <p>3 外断熱改修工 事 (9.3.2)</p> <p>断熱材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ[mm]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキナシ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 硬質ウレタンフォーム断熱材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ フェノールフォーム断熱材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ロックウール断熱材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ グラスウール断熱材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ( )</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>施工箇所 ・ 図示(図面番号: ) ・ ( )</p> <p>外装材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>防火性能</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(9.3.3) 既存外壁の措置 既存外壁仕上げ材の撤去 ・ あり ・ なし 下地の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部の改修工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法 ・ ( )</p> <p>(9.3.4) 工法 通気層の有無 ・ あり( mm) ・ なし 断熱材の施工 ・ 断熱材製造所の仕様による ・ ( ) 外装材の施工 ・ 外装材製造所の仕様による ・ ( ) 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・ 適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の( ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3)倍の風圧力に対応した工法) ・ 適用しない 不陸等の下地調整 ・ 行う</p>	適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)	-	測定 1	処理作業前	処理作業室内	計 点	-	測定 2		調査対象外部の付近	計 点	-	測定 3	処理作業中	処理作業室内	計 点	-	測定 4		負圧・除じん装置の排気出し し口	出口吹出し風速1m/s 以下の位置 計 点	-	測定 5		処理作業室外(敷地境界)	計 点	-	測定 6	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	計 点	-	測定 7	処理作業後シート 撤去後1週間	処理作業室内	計 点	-	測定 8	以降	調査対象外部の付近	計 点		測定 3	測定 1,2,4,6,7,8	測定 5	メンブレンフィルタ直径(mm)	25	25	47	試料の吸引流量(L/min)	・ 1 ・ ( )	・ 5 ・ ( )	・ 10 ・ ( )	試料の吸引時間(min)	・ 5 ・ ( )	・ 120 ・ ( )	・ 240 ・ ( )	種類	厚さ[mm]	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材		・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキナシ)		・ 硬質ウレタンフォーム断熱材		・ フェノールフォーム断熱材		・ ロックウール断熱材		・ グラスウール断熱材		・ ( )		種類	防火性能	備考	・			<p>4 断熱・防露改修 工事 (9.5.2)</p> <p>・ 断熱材打込み工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ[mm]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキナシ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 硬質ウレタンフォーム断熱材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ フェノールフォーム断熱材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ( )</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>施工箇所 ・ 図示(図面番号: ) ・ ( )</p> <p>(9.5.3) ・ 断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ・ A種1 ・ A種1H ・ ( ) 厚さ(mm) ・ 25 ・ 30 ・ ( ) 施工箇所 ・ 図示(図面番号: )</p> <p>・ 現場発泡断熱材 (品質・性能) 工事建築材料等品質性能表による (試験方法) 工事建築材料等品質性能表による</p> <p>(9.5.4) ・ 断熱材後張り工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>せっこうボード等の張り付け</th> <th>厚さ[mm]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材</td> <td>・ 有</td> <td>・ 無</td> </tr> <tr> <td>・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材</td> <td>・ 有</td> <td>・ 無</td> </tr> <tr> <td>・ 硬質ウレタンフォーム断熱材</td> <td>・ 有</td> <td>・ 無</td> </tr> <tr> <td>・ フェノールフォーム断熱材</td> <td>・ 有</td> <td>・ 無</td> </tr> <tr> <td>・ ( )</td> <td>・ 有</td> <td>・ 無</td> </tr> </tbody> </table> <p>施工箇所 ・ 図示(図面番号: ) ・ ( )</p> <p>植栽基盤及び材料 屋上緑化軽量システム</p> <p>(9.6.1) ・ 適用する ・ 適用しない (9.6.2) 芝及び地被類の樹種並びに種類等 ・ 図示(図面番号: ) ・ ( ) 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ・ 図示(図面番号: ) ・ ( )</p> <p>(9.6.3) 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・ 適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の( ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法) ・ 適用しない かん水装置 ・ 設置する(種類 ・ ) 既存保護層の撤去 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>既存舗装の撤去及び再利用 ・ 図示(図面番号: ) ・ ( )</p> <p>路床 路床の材料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ[mm]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 盛土</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土</td> <td>・ 図示(図面番号: ) ・ ( )</td> </tr> <tr> <td>・ 凍上抑制層</td> <td>・ 再生クラッシュラン ・ クラッシュラン ・ 切込み砂利 ・ 川砂、海砂又は良質な山砂 (7µmふるい通過量10%以下)</td> <td>・ 図示(図面番号: ) ・ ( )</td> </tr> <tr> <td>・ フィルター層</td> <td>・ 砂 ・ ( )</td> <td>・ 図示(図面番号: ) ・ ( )</td> </tr> </tbody> </table> <p>路床安定処理 ・ 添加材料による安定処理 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰(・特号 ・ 1号) ・ 消石灰(・特号 ・ 1号) 添加量( kg/m<sup>2</sup>) (目標CBR ・ 5以上 ・ )</p> <p>・ ジオテキスタイル 単位面積質量 ・ 60g/m<sup>2</sup>以上 ・ ( ) 厚さ[mm] ・ 0.5-1.0 ・ ( ) 引張強さ ・ 98N/5cm (10kgf/5cm)以上 ・ ( ) 透水係数 ・ 1.5×10<sup>-6</sup> -1cm/sec 以上 ・ ( )</p> <p>試験 路床土の支持力比(CBR)試験 ・ 行う ・ 行わない 路床撻固め度の試験 ・ 行う ・ 行わない 現場CBR試験 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>路盤 路盤の構成及び厚さ ・ 図示(図面番号: ) ・ ( ) 路盤材料 ・ 再生材のクラッシュラン ・ クラッシュラン鉄鋼スラグ ・ 図示(図面番号: ) ・ ( )</p> <p>試験 路盤撻固め度の試験 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>舗装</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料</th> <th>厚さ[mm]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ ストレートアスファルト</td> <td>・ 図示(図面番号: ) ・ ( )</td> </tr> </tbody> </table> <p>試験 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない 舗装の平坦性 ・ 著しい不陸がないもの ・ ( )</p>	種類	厚さ[mm]	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材		・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキナシ)		・ 硬質ウレタンフォーム断熱材		・ フェノールフォーム断熱材		・ ( )		種類	せっこうボード等の張り付け	厚さ[mm]	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・ 有	・ 無	・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材	・ 有	・ 無	・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	・ 有	・ 無	・ フェノールフォーム断熱材	・ 有	・ 無	・ ( )	・ 有	・ 無	種別	材料	厚さ[mm]	・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土	・ 図示(図面番号: ) ・ ( )	・ 凍上抑制層	・ 再生クラッシュラン ・ クラッシュラン ・ 切込み砂利 ・ 川砂、海砂又は良質な山砂 (7µmふるい通過量10%以下)	・ 図示(図面番号: ) ・ ( )	・ フィルター層	・ 砂 ・ ( )	・ 図示(図面番号: ) ・ ( )	材料	厚さ[mm]	・ ストレートアスファルト	・ 図示(図面番号: ) ・ ( )
	種別	下地	種別	ひび割れ部の補修																																																																																																																																																																																																																									
	・ 木部		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種																																																																																																																																																																																																																										
	・ 鉄鋼面		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種																																																																																																																																																																																																																										
	・ 亜鉛めっき鋼面		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種																																																																																																																																																																																																																										
	・ モルタル、プaster面		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う																																																																																																																																																																																																																									
	・ コンクリート、ALCパネル面		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う																																																																																																																																																																																																																									
	・ コンクリート、押出成形セメント板面		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う																																																																																																																																																																																																																									
	○ せっこうボード、その他ボード面		・ RA種 ○ RB種 ・ RC種																																																																																																																																																																																																																										
	種別	下地	種別																																																																																																																																																																																																																										
・ 木部		・ A種 ・ B種																																																																																																																																																																																																																											
・ 鉄鋼面		・ A種 ・ B種																																																																																																																																																																																																																											
・ 亜鉛めっき鋼面		・ A種 ・ B種																																																																																																																																																																																																																											
・ モルタル、プaster面		・ A種 ・ B種																																																																																																																																																																																																																											
・ コンクリート、ALCパネル面		・ A種 ・ B種																																																																																																																																																																																																																											
・ コンクリート、押出成形セメント板面		・ A種 ・ B種																																																																																																																																																																																																																											
○ せっこうボード、その他ボード面		・ A種 ○ B種																																																																																																																																																																																																																											
種別	下地	種別																																																																																																																																																																																																																											
・ 木部		・ A種 ・ B種 ・ C種																																																																																																																																																																																																																											
・ 鉄鋼面		・ A種 ・ B種 ・ C種																																																																																																																																																																																																																											
・ 亜鉛めっき鋼面		・ A種 ・ B種 ・ C種																																																																																																																																																																																																																											
種別	下地	種別																																																																																																																																																																																																																											
コンクリート面及び 押出成形セメント板面		・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種																																																																																																																																																																																																																											
種別	下地	種別																																																																																																																																																																																																																											
コンクリート、モルタル、 プaster、せっこうボード、 その他ボード面		・ A種 ・ B種 ・ C種 しみ止め( )																																																																																																																																																																																																																											
木部(屋内)		・ A種 ・ B種 ・ C種																																																																																																																																																																																																																											
鉄鋼面(屋内)		・ A種 ・ B種 ・ C種																																																																																																																																																																																																																											
亜鉛めっき鋼面(屋内)		・ A種 ・ B種 ・ C種																																																																																																																																																																																																																											
適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)																																																																																																																																																																																																																									
-	測定 1	処理作業前	処理作業室内	計 点																																																																																																																																																																																																																									
-	測定 2		調査対象外部の付近	計 点																																																																																																																																																																																																																									
-	測定 3	処理作業中	処理作業室内	計 点																																																																																																																																																																																																																									
-	測定 4		負圧・除じん装置の排気出し し口	出口吹出し風速1m/s 以下の位置 計 点																																																																																																																																																																																																																									
-	測定 5		処理作業室外(敷地境界)	計 点																																																																																																																																																																																																																									
-	測定 6	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	計 点																																																																																																																																																																																																																									
-	測定 7	処理作業後シート 撤去後1週間	処理作業室内	計 点																																																																																																																																																																																																																									
-	測定 8	以降	調査対象外部の付近	計 点																																																																																																																																																																																																																									
	測定 3	測定 1,2,4,6,7,8	測定 5																																																																																																																																																																																																																										
メンブレンフィルタ直径(mm)	25	25	47																																																																																																																																																																																																																										
試料の吸引流量(L/min)	・ 1 ・ ( )	・ 5 ・ ( )	・ 10 ・ ( )																																																																																																																																																																																																																										
試料の吸引時間(min)	・ 5 ・ ( )	・ 120 ・ ( )	・ 240 ・ ( )																																																																																																																																																																																																																										
種類	厚さ[mm]																																																																																																																																																																																																																												
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材																																																																																																																																																																																																																													
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキナシ)																																																																																																																																																																																																																													
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材																																																																																																																																																																																																																													
・ フェノールフォーム断熱材																																																																																																																																																																																																																													
・ ロックウール断熱材																																																																																																																																																																																																																													
・ グラスウール断熱材																																																																																																																																																																																																																													
・ ( )																																																																																																																																																																																																																													
種類	防火性能	備考																																																																																																																																																																																																																											
・																																																																																																																																																																																																																													
種類	厚さ[mm]																																																																																																																																																																																																																												
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材																																																																																																																																																																																																																													
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキナシ)																																																																																																																																																																																																																													
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材																																																																																																																																																																																																																													
・ フェノールフォーム断熱材																																																																																																																																																																																																																													
・ ( )																																																																																																																																																																																																																													
種類	せっこうボード等の張り付け	厚さ[mm]																																																																																																																																																																																																																											
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・ 有	・ 無																																																																																																																																																																																																																											
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材	・ 有	・ 無																																																																																																																																																																																																																											
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	・ 有	・ 無																																																																																																																																																																																																																											
・ フェノールフォーム断熱材	・ 有	・ 無																																																																																																																																																																																																																											
・ ( )	・ 有	・ 無																																																																																																																																																																																																																											
種別	材料	厚さ[mm]																																																																																																																																																																																																																											
・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土	・ 図示(図面番号: ) ・ ( )																																																																																																																																																																																																																											
・ 凍上抑制層	・ 再生クラッシュラン ・ クラッシュラン ・ 切込み砂利 ・ 川砂、海砂又は良質な山砂 (7µmふるい通過量10%以下)	・ 図示(図面番号: ) ・ ( )																																																																																																																																																																																																																											
・ フィルター層	・ 砂 ・ ( )	・ 図示(図面番号: ) ・ ( )																																																																																																																																																																																																																											
材料	厚さ[mm]																																																																																																																																																																																																																												
・ ストレートアスファルト	・ 図示(図面番号: ) ・ ( )																																																																																																																																																																																																																												
版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	図名	縮尺	設計	服部	年月日																																																																																																																																																																																																																		
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	津市消防本部 改修工事 特記仕様書(3)	1/50	検図	牛田	年月日																																																																																																																																																																																																																		
					課長	主幹	課長補佐	係長	承認	山下	年月日																																																																																																																																																																																																																		
									図番		KTO3																																																																																																																																																																																																																		

共通仮設工事		
仮設便所 くみとり式	1棟	
鋼板 t22敷き 6m x 6m	2枚	72㎡
ラフテレーンクレーン 20t	1台/日	2日
交通整理員	1人	2日



クレーン設置前に、消防車両・関係車両の運用に問題がない様、消防署と事前に協議を行い、施工を行うこと。



配置図・仮設計画図 S = /500

版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	検図	牛田	年月日
					課長	図名	承認	山下	年月日
					主幹	津市消防本部 改修工事 配置図・仮設計画図	図番		KT04
					課長補佐	縮尺			
					係長	1/500			
					係				



ビーム計画設計株式会社  
Beam Planning Corporation

内部仕上表																
階	室名	改修工事	内装制限と排煙設備			床		巾木		壁		天井			備考	
			排煙方法	内装材料	法的根拠	仕上げ	仕上高	巾木	H	仕上げ	下地	仕上げ	下地	廻縁		天井高
2F	指令センター 旧指令センター	改修前	自	⊕	-	フリーアクセスフロア500×500 H100+タイルカーペット	FL+100	ビニル巾木	100	PB9.5t+PB12.5+EP塗装 PB12.5(GL工法)+EP塗装	LGS C	岩綿吸音板t9(PBt9.5捨貼り)	LGS	塩ビ	2,900	指紋認証装置
		改修後	自	⊕	-	既設のまま フリーアクセスフロア欠損部： フリーアクセスフロア 500×500×19 H100 5000N + 制電タイルカーペット500×500 t6.5 新設	FL+100	既設のまま	100	既設のまま		既設のまま	LGS	塩ビ	2,900	指紋認証装置 撤去 タッチアップ補修
	通信機械室	改修前	自	⊕	(七)	フリーアクセスフロア500×500 H100+塩ビタイル	FL+100	ビニル巾木	100	PB9.5t+PB12.5+EP塗装 PB12.5(GL工法)+EP塗装	LGS C	岩綿吸音板t9(PBt9.5捨貼り)	LGS	塩ビ	2,900	
		改修後	自	⊕	(七)	既設仕上撤去の上、制電タイルカーペット500×500 t6.5 新設 フリーアクセスフロア欠損部： フリーアクセスフロア 500×500×19 H100 5000N + 制電タイルカーペット500×500 t6.5 新設	FL+100	既設のまま	100	既設のまま		既設のまま	LGS	塩ビ	2,900	
3F	通信指令室 共同指令センター	改修前	自	⊕	-	ロック式耐震フロアー H200+タイルカーペット 踏み部：長尺塩ビシート	FL+200	ビニル巾木	100	PB9.5t+PB12.5+EP塗装 PB12.5(GL工法)+EP塗装	LGS C	岩綿吸音板t9(PBt9.5捨貼り)	LGS	塩ビ	2,850 3,050	木製下足入れ、木製吊戸棚 排煙ホレター 5箇所
		改修後	自	⊕	-	既設のまま 一部、仕上撤去の上、 フリーアクセスフロア 500×500×19 H200 5000N + 制電タイルカーペット500×500 t6.5 新設	FL+200	既設のまま 一部、ビニル巾木H100 新設	100	既設のまま 一部、既設袖壁撤去処分の上、PB9.5t+PB12.5+EP塗装 新設 一部、仕上撤去処分の上、PB12.5(GL工法)+EP塗装 新設		既設のまま 仕上下地共撤去の上、岩綿吸音板t9(PBt9.5捨貼り)新設	LGS	塩ビ 新設	2,850 3,050	木製下足入れ、木製吊戸棚 撤去処分 SUS上がり框 W2000×D50×H200 新設 排煙ホレター 2箇所 修理 3箇所調整
	消防救急課 通信事務員室	改修前	自	⊕	-	鋼製床組み H110+タイルカーペット	FL+110	ビニル巾木	100	PB9.5t+PB12.5+EP塗装 PB12.5(GL工法)+EP塗装	LGS	岩綿吸音板t9(PBt9.5捨貼り)	LGS	塩ビ	3,000	
		改修後	自	⊕	-	既設のまま	FL+110	既設のまま	100	既設のまま 一部、パーティション新設	LGS	既設のまま	LGS	塩ビ	3,000	
	通信機械室	改修前	-	⊕	(七)	ロック式耐震フロアー H200+タイルカーペット	FL+200	ビニル巾木	100	PB9.5t+PB12.5+EP塗装 PB12.5(GL工法)+EP塗装	LGS	岩綿吸音板t9(PBt9.5捨貼り)	LGS	塩ビ	2,700	
		改修後	-	⊕	(七)	既設のまま	FL+200	既設のまま	100	既設のまま	LGS	既設のまま 一部、仕上撤去の上、岩綿吸音板t9(PBt9.5捨貼り)新設	LGS	塩ビ	2,700	

内装制限と排煙設備 PT-1、2、3 アルミ製パーティション 詳細図 S 1/10・100

<p>(記号) 排煙方法</p> <p>自 自然排煙</p> <p>機 機械排煙</p> <p>- なし</p> <p>(記号) 内装材料</p> <p>⊕ 天井、壁 準不燃材料以上</p> <p>⊖ 天井、壁 不燃材料</p> <p>⊕ 天井、壁 不燃材料(下地共)</p> <p>- なし</p>	<p>法的根拠</p> <p>(記号) 排煙免除</p> <p>(一) (建築基準法) 令第 126条の2 第1項 1号</p> <p>(二) 令第 126条の2 第1項 3号</p> <p>(三) 令第 126条の2 第1項 4号</p> <p>(四) (建設省告示) 平12 建告1436号 第4号 一-1</p> <p>(五) 平12 建告1436号 第4号 一-2</p> <p>(六) 平12 建告1436号 第4号 一-3</p> <p>(七) 平12 建告1436号 第4号 一-4</p> <p>: アスベストのみなし部材を示す。</p>		<p>仕様表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>部材</th> <th>材料(板厚mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">骨材</td> <td>天井レール</td> <td>アルミ押出形材 &lt;アルマイト処理仕上&gt;</td> </tr> <tr> <td>方立・コーナー方立</td> <td></td> </tr> <tr> <td>天井上枠・上枠</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ドア上枠・ドア枠</td> <td></td> </tr> <tr> <td>巾木・床レール</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">パネル</td> <td>パネル表面材</td> <td>カラー鋼板 0.45mm・0.5mm &lt;色番: KW-90、100、300、400&gt;</td> </tr> <tr> <td>芯材</td> <td>ペーパーコア</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">開き戸</td> <td>パネル表面材</td> <td>カラー鋼板 0.5mm &lt;色番: KW-90、100、300、400&gt;</td> </tr> <tr> <td>芯材</td> <td>ペーパーコア</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">開き戸</td> <td>目板</td> <td>アルミ押出形材 &lt;アルマイト処理仕上&gt;</td> </tr> <tr> <td>戸当り・召し合せゴム</td> <td>ポリ塩化ビニル &lt;グレー色&gt;</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">金物</td> <td>吊金具</td> <td>ステンレス 4インチ平義星</td> </tr> <tr> <td>ドアクローザ</td> <td>リョービ S22PLW &lt;シルバー色&gt;</td> </tr> <tr> <td>金物</td> <td>戸当り</td> <td>床付け戸当り</td> </tr> </tbody> </table> <p>ウィスカ対応</p>	項目	部材	材料(板厚mm)	骨材	天井レール	アルミ押出形材 <アルマイト処理仕上>	方立・コーナー方立		天井上枠・上枠		ドア上枠・ドア枠		巾木・床レール		パネル	パネル表面材	カラー鋼板 0.45mm・0.5mm <色番: KW-90、100、300、400>	芯材	ペーパーコア	開き戸	パネル表面材	カラー鋼板 0.5mm <色番: KW-90、100、300、400>	芯材	ペーパーコア	開き戸	目板	アルミ押出形材 <アルマイト処理仕上>	戸当り・召し合せゴム	ポリ塩化ビニル <グレー色>	金物	吊金具	ステンレス 4インチ平義星	ドアクローザ	リョービ S22PLW <シルバー色>	金物	戸当り	床付け戸当り
項目	部材	材料(板厚mm)																																						
骨材	天井レール	アルミ押出形材 <アルマイト処理仕上>																																						
	方立・コーナー方立																																							
	天井上枠・上枠																																							
	ドア上枠・ドア枠																																							
	巾木・床レール																																							
パネル	パネル表面材	カラー鋼板 0.45mm・0.5mm <色番: KW-90、100、300、400>																																						
	芯材	ペーパーコア																																						
開き戸	パネル表面材	カラー鋼板 0.5mm <色番: KW-90、100、300、400>																																						
	芯材	ペーパーコア																																						
開き戸	目板	アルミ押出形材 <アルマイト処理仕上>																																						
	戸当り・召し合せゴム	ポリ塩化ビニル <グレー色>																																						
金物	吊金具	ステンレス 4インチ平義星																																						
	ドアクローザ	リョービ S22PLW <シルバー色>																																						
金物	戸当り	床付け戸当り																																						

版	年月日	設定番号	変更事項	承認	発注者	名称	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	検図	牛田	年月日
					課長	主幹	承認	山下	年月日
					課長補佐	係長	図番		KT05
					係	津市消防本部 改修工事 仕上表・建具表	縮尺		
						1/10・100	 <b>ビーム計画設計株式会社</b> Beam Planning Corporation		



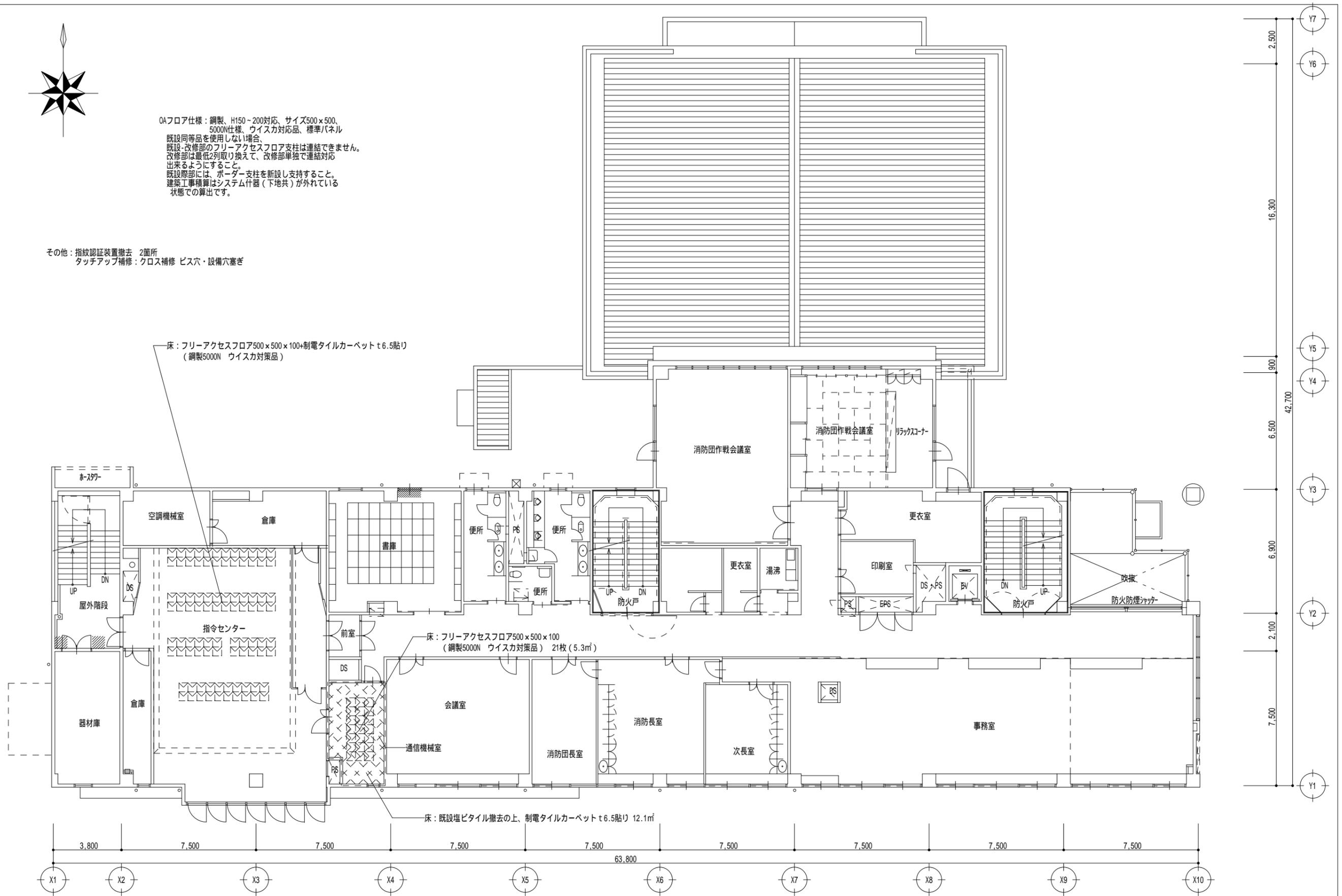
OAフロア仕様：鋼製、H150～200対応、サイズ500×500、5000N仕様、ウイスカ対応品、標準パネル  
 既設同等品を使用しない場合、既設・改修部のフリーアクセスフロア支柱は連結できません。改修部は最低2列取り換えて、改修部単独で連結対応できるようにすること。既設際には、ポーター支柱を新設し支持すること。建築工事積算はシステム什器（下地共）が外れている状態での算出です。

その他：指紋認証装置撤去 2箇所  
 タッチアップ補修：クロス補修 ビス穴・設備穴塞ぎ

床：フリーアクセスフロア500×500×100+制電タイルカーペット t6.5貼り  
 (鋼製5000N ウイスカ対策品)

床：フリーアクセスフロア500×500×100  
 (鋼製5000N ウイスカ対策品) 21枚 (5.3㎡)

床：既設塩ビタイル撤去の上、制電タイルカーペット t6.5貼り 12.1㎡

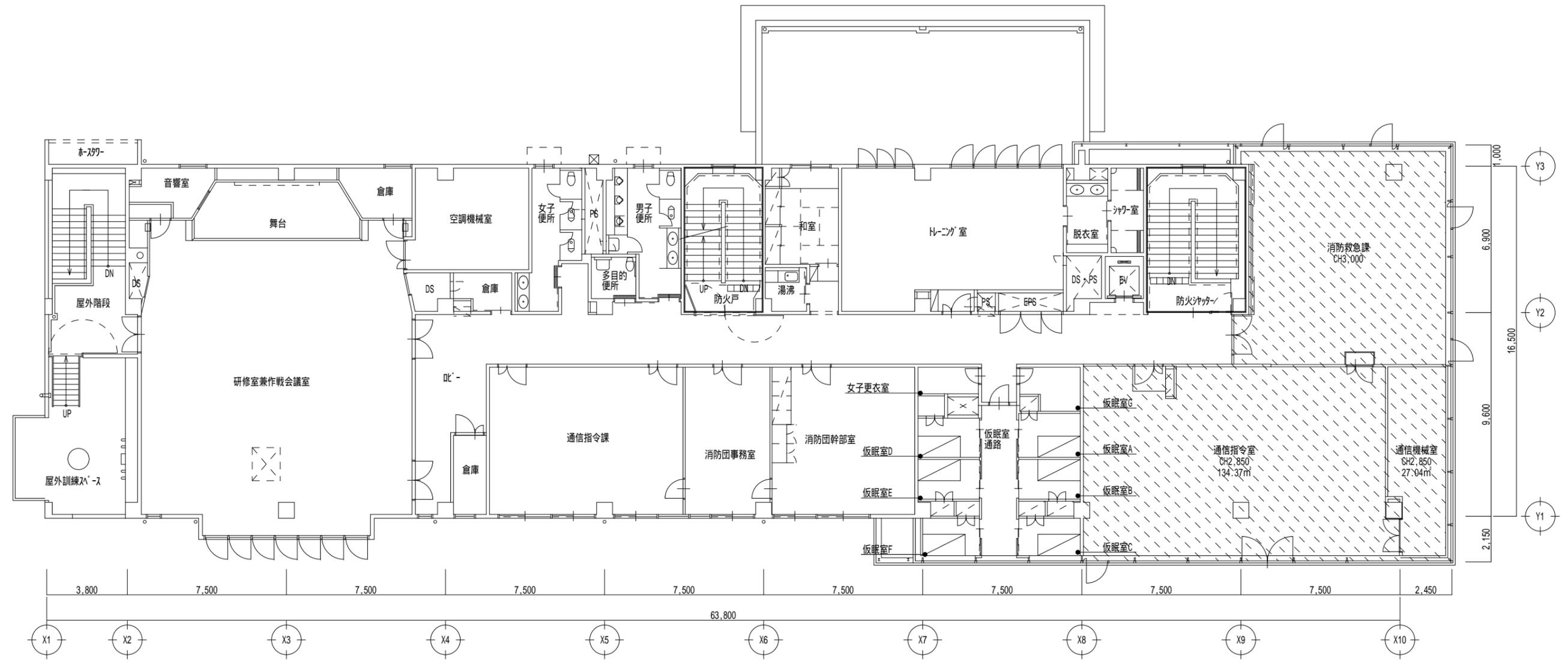


津市消防署 2階平面図 S=1/200 (A3)

版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	検図	牛田	年月日
					課長 主幹 課長補佐 係長 係	図名	承認	山下	年月日
						津市消防署 2階平面図(改修前)(改修後)	図番	KT06	
						縮尺	Beam Planning Corporation		
						1/200			



ビーム計画設計株式会社  
 Beam Planning Corporation



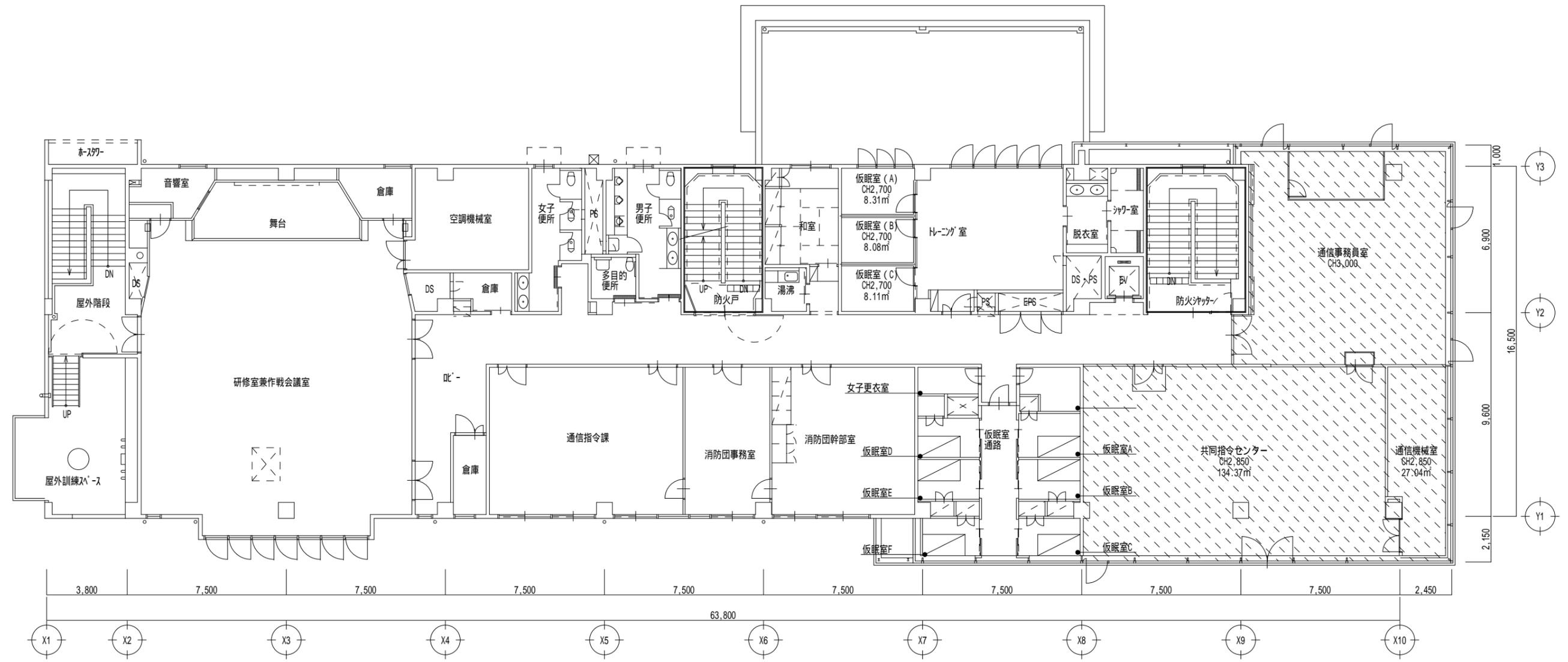
津市消防署 3階平面図(改修前) S=1/200 (A3)

改修範囲外エリア

版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	検図	牛田	年月日
					課長	図名	承認	山下	年月日
					主幹	津市消防本部 改修工事	図番		KT07
					課長補佐	3階平面図(改修前)			
					係長	縮尺			
					係	1/200			



ビーム計画設計株式会社  
Beam Planning Corporation



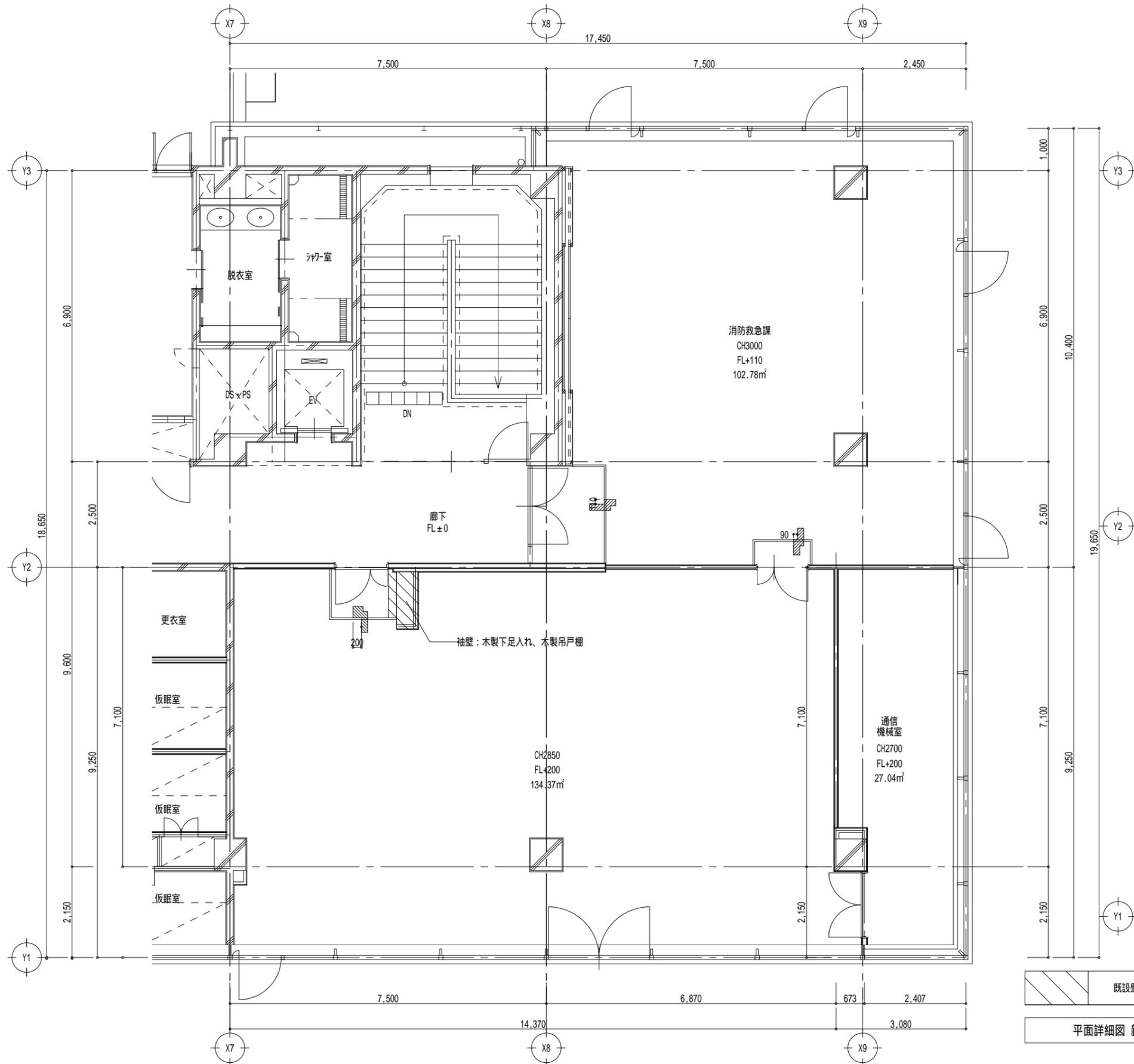
津市消防署 3階平面図(改修後) S=1/200 (A3)

改修範囲外エリア

版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	検図	牛田	年月日
					課長	図名	承認	山下	年月日
					主幹	津市消防本部 改修工事 3階平面図(改修後)	図番		KT08
					課長補佐	縮尺			
					係長	1/200			
					係				

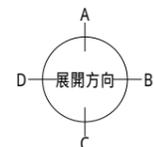


ビーム計画設計株式会社  
Beam Planning Corporation



既設壁撤去範囲を示す。

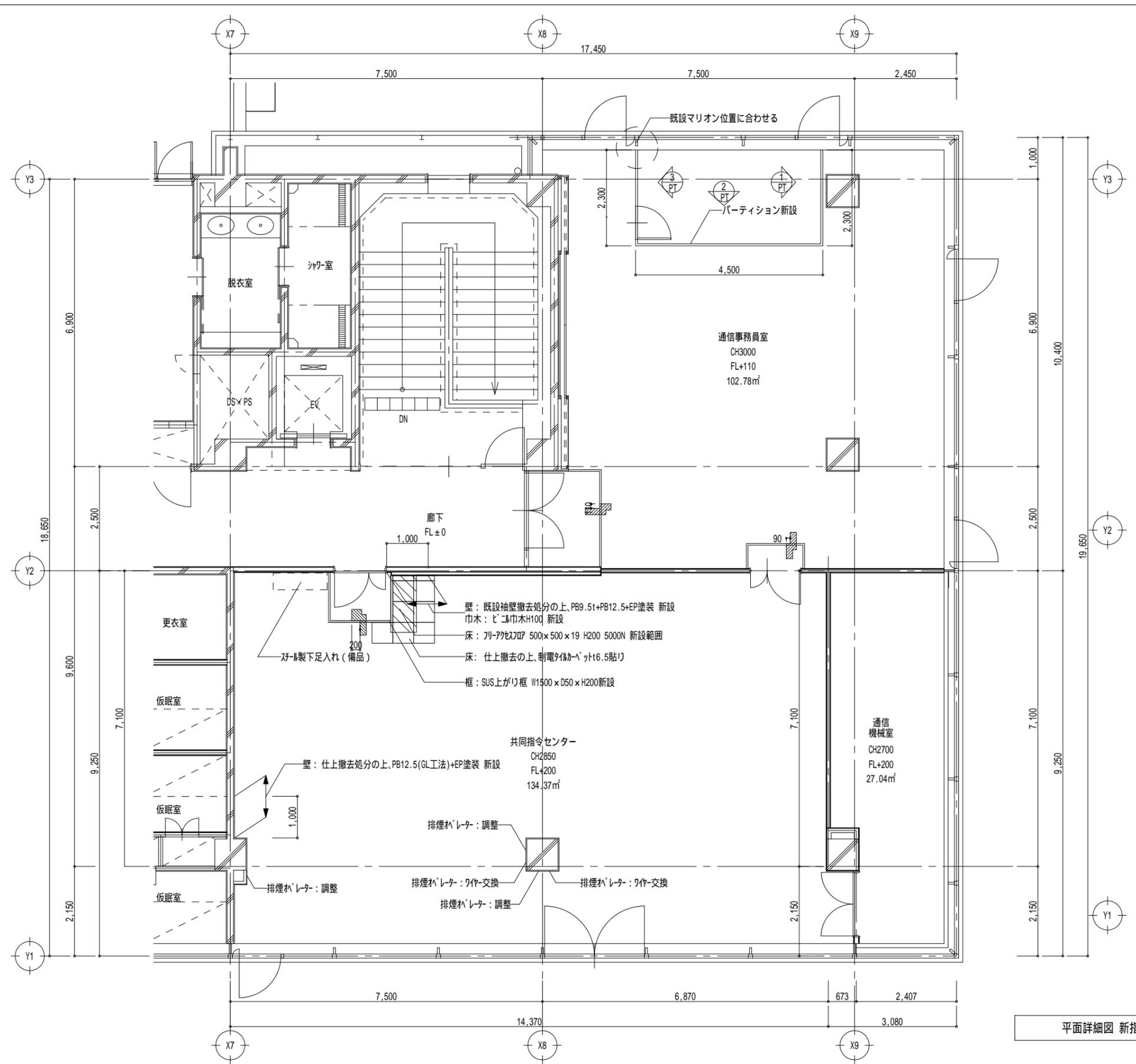
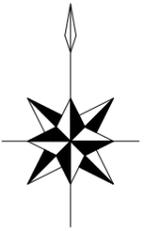
平面詳細図 新指令室(改修前) S=1/100



版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	検図	牛田	年月日
					課長	図名	承認	山下	年月日
					主幹	津市消防本部 改修工事	図番		KT09
					課長補佐	平面詳細図 新指令室(改修前)	縮尺		
					係長		1/100		
					係				



ビーム計画設計株式会社  
Beam Planning Corporation

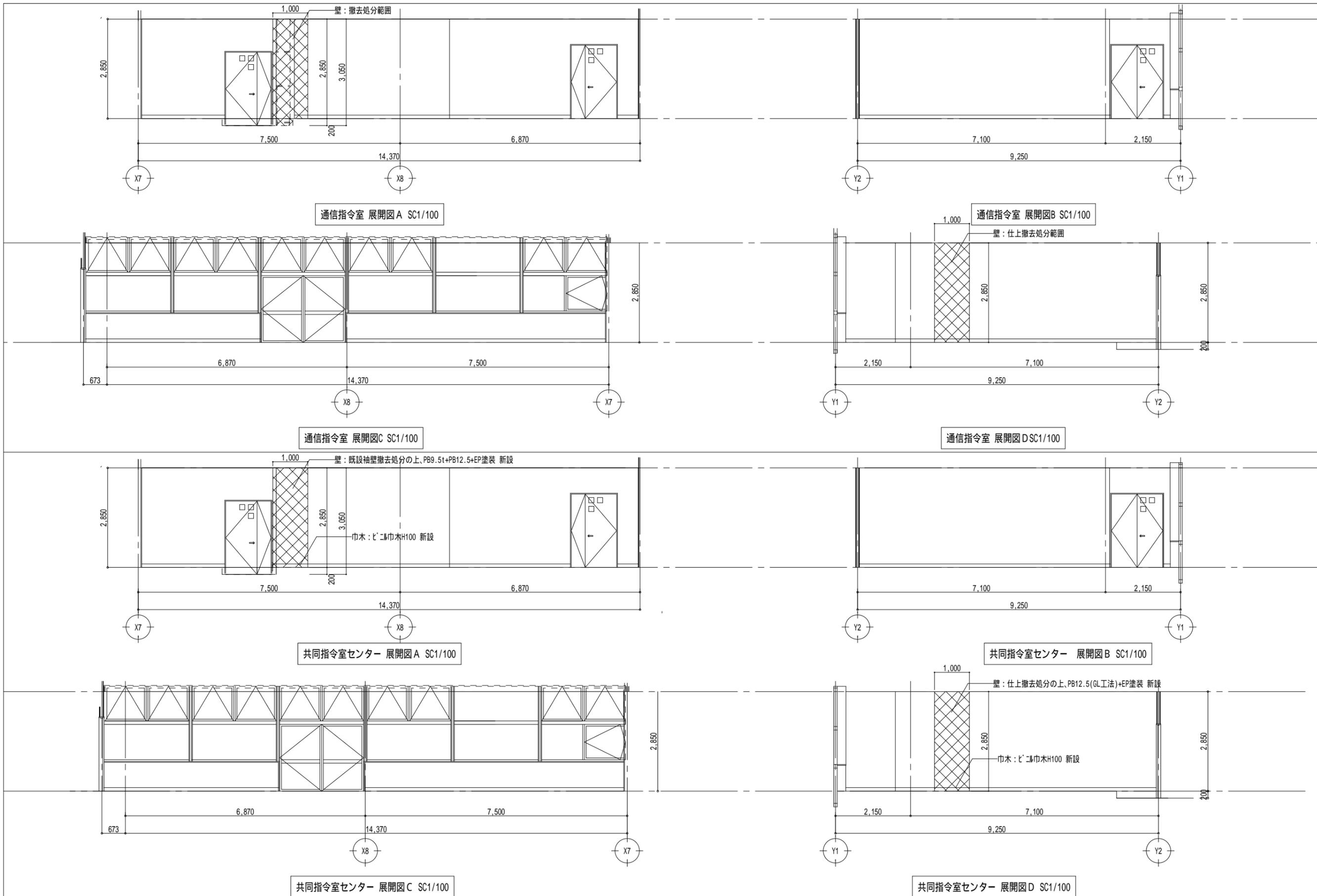


平面詳細図 新指令室(改修後) S=1/100

版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	検図	牛田	年月日
					課長	主幹	承認	山下	年月日
					課長補佐	係長	図番		KT10
					係	津市消防本部 改修工事 平面詳細図 新指令室(改修後)	縮尺		
						1/100	Beam Planning Corporation		



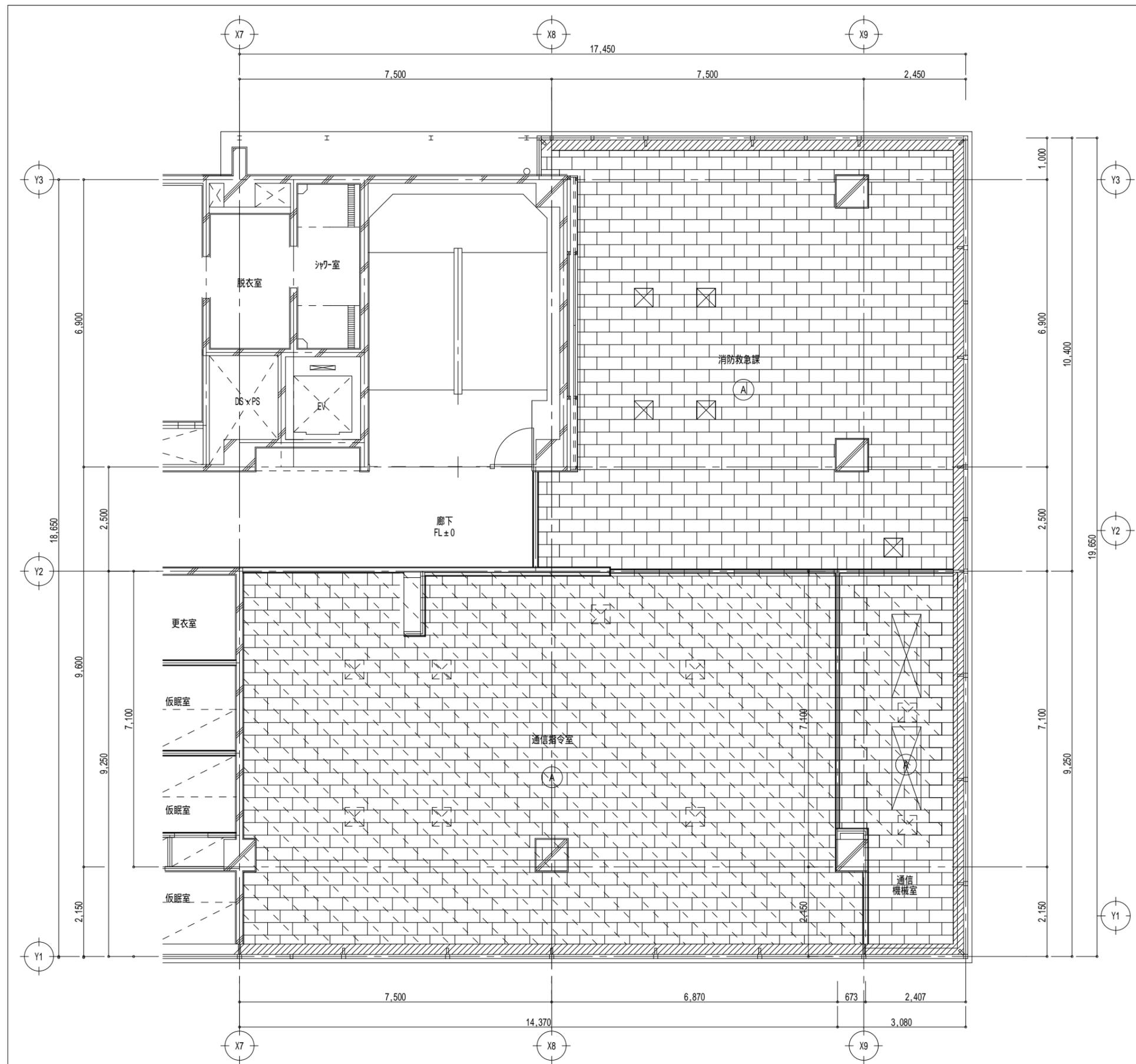
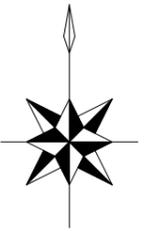
ビーム計画設計株式会社  
Beam Planning Corporation



版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	図名	縮尺	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	津市消防本部 改修工事 展開図(改修前)(改修後)	1/100	梁	牛田	年月日
					課長	主幹	課長補佐	係長	係	山下	年月日
										図番	KT11



**ビーム計画設計株式会社**  
Beam Planning Corporation



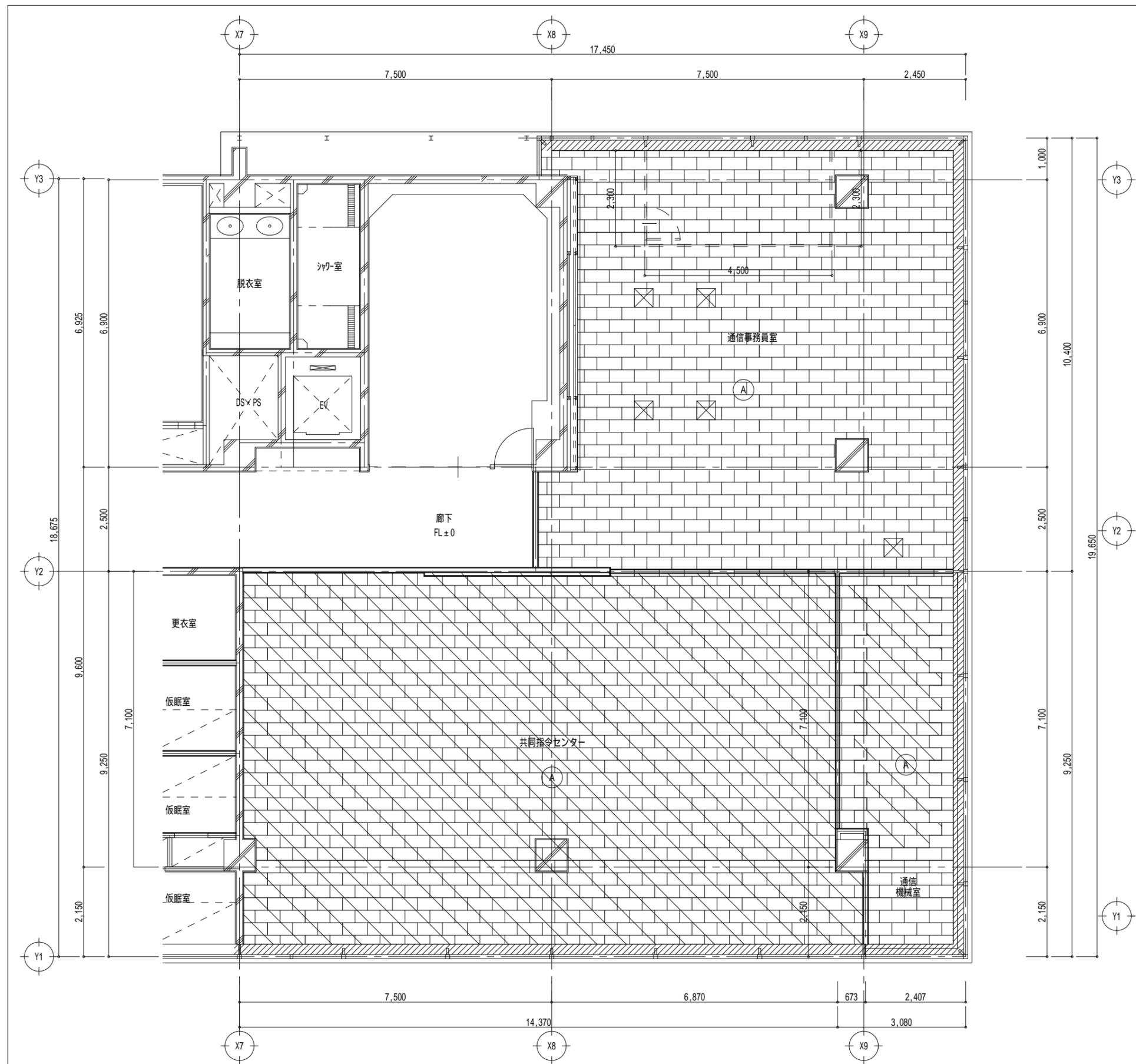
(A)	岩綿吸音板 t9 (PB t9.5捨貼り)
	岩綿吸音板 t9 (PB t9.5捨貼り) 下地共撤去処分範囲
	ブラインドボックス
	ピクチャーレール (回り縁一体型)
	既設点検口 撤去処分
	既設点検口

3階天井伏図(改修前) S= /200

版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	図名	縮尺	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	津市消防本部 改修工事 3階天井伏図(改修前)	1/100	検図	牛田	年月日
					課長	主幹	課長補佐	係長	承認	山下	年月日
									図番		KT12



ビーム計画設計株式会社  
Beam Planning Corporation



(A)	岩綿吸音板 t9 (PB t9.5捨貼り)
	岩綿吸音板 t9 (PB t9.5捨貼り) 新設範囲
	ブラインドボックス: 既設のまま
	ピクチャーレール (回り縁一体型): 既設のまま
	点検口 新設450 x 450 10箇所程度
	点検口既設のまま

3階天井伏図(改修後) S = /200

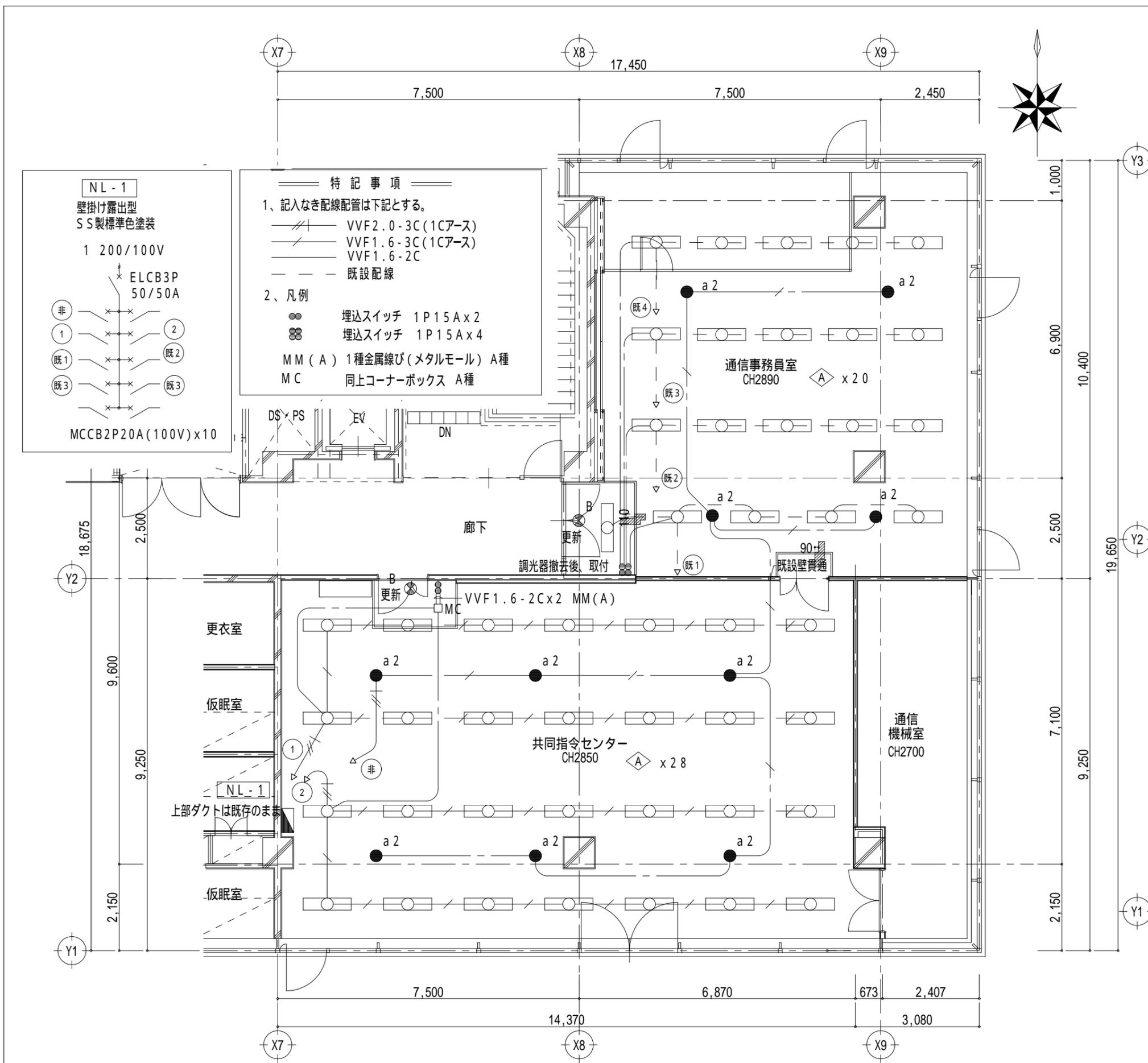
版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	図名	縮尺	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	津市消防本部 改修工事 3階天井伏図(改修後)	1/100	検図	牛田	年月日
					課長				承認	山下	年月日
					主幹				図番		KT13
					課長補佐						
					係長						
					係						



ビーム計画設計株式会社  
Beam Planning Corporation







**LED一体型ベースライト 埋込型**  
消費電力 43.1W

LRS20-4-65

● a2 LED非常灯 自動点検機能付 低天井用 電池内蔵  
ハロゲン電球13型 相当品

LAL E-004

K1-LRS11-2

器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.5m	2.6m	2.7m	3.0m	4.0m	-
単体配置	A1	4.2	4.6	4.7	4.7	4.8	4.9	3.3
直線配置	A2	9.3	10.2	10.6	10.8	11.1	11.9	12.9
四角配置	A4	7.4	8.2	8.4	8.7	8.9	9.6	11.7

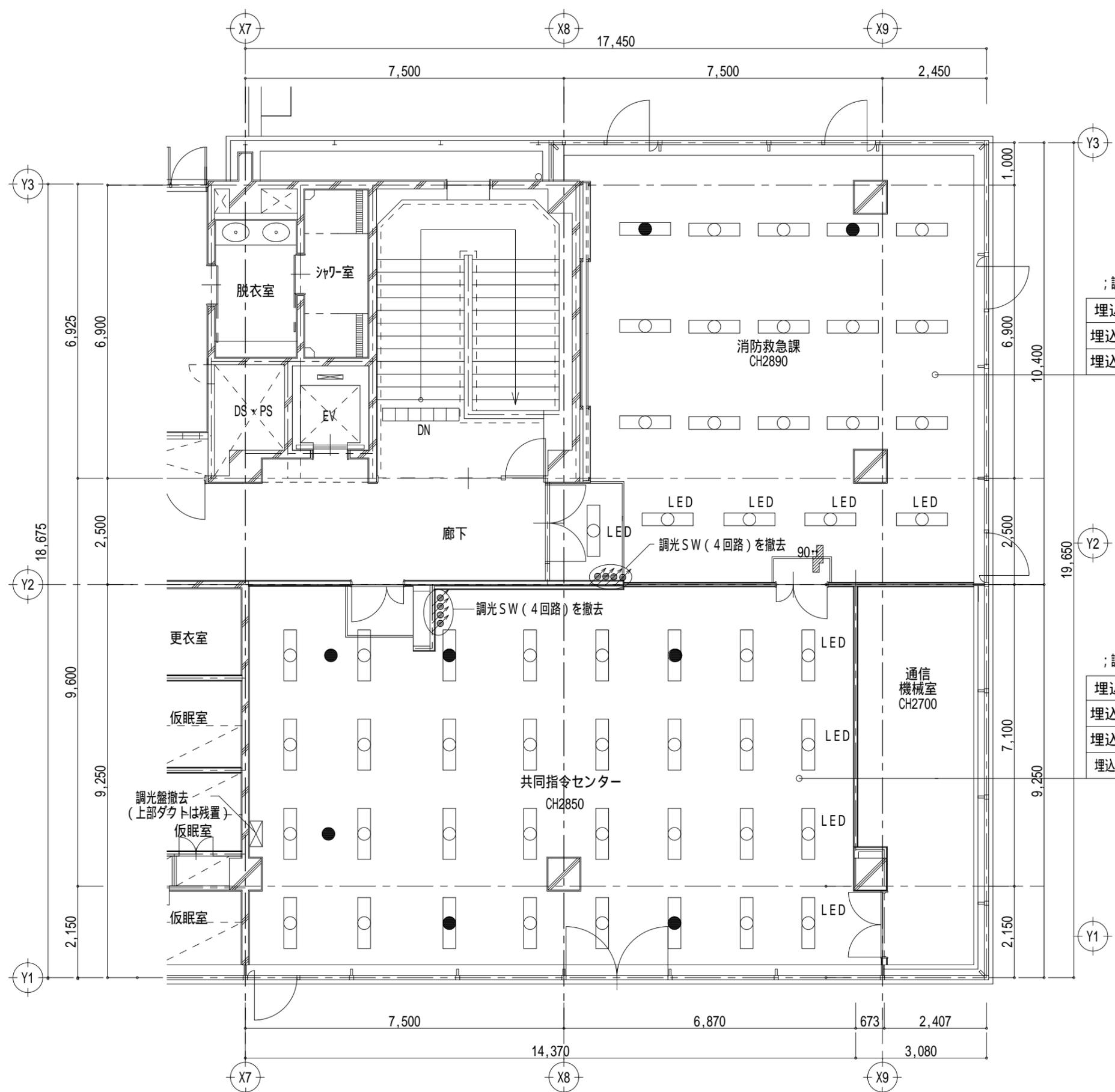
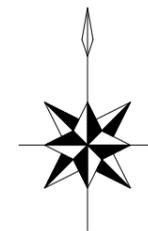
⊗ B LED避難口誘導灯 B級 電池内蔵型

SH1-FBF20-BH

版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事
					課長 主幹 課長補佐 係長 係	図名 津消防本部 改修工事 電灯設備 改修 平面詳細図 (改修後)
						縮尺 1/100

**ビーム計画設計株式会社**  
Beam Planning Corporation

設計	服部	年月日
検図	牛田	年月日
承認	山下	年月日
図番	KT16	



; 調光用配線の撤去も本工事とする。

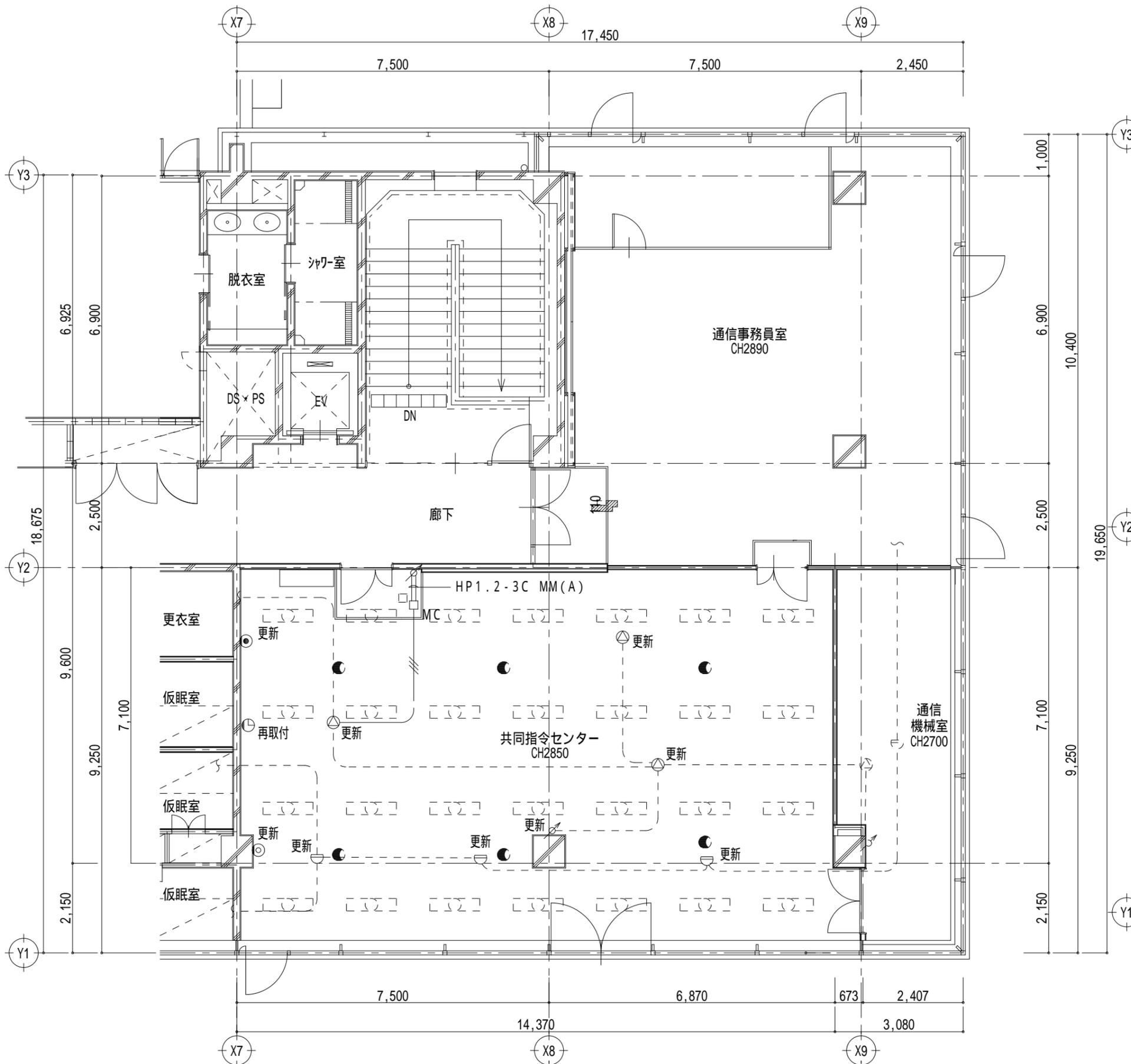
埋込型調光器具 F H F 3 2 W x 3 非常灯兼用	2 灯	撤去
埋込型調光器具 F H F 3 2 W x 3	1 3 灯	
埋込型調光器具 L E D 灯	5 灯	

; 調光用配線の撤去及び既設配線もすべて撤去とする。

埋込型調光器具 F H F 3 2 W x 3 非常灯兼用	4 灯	撤去
埋込型調光器具 F H F 3 2 W x 3	1 3 灯	
埋込型調光器具 L E D 灯	4 灯	
埋込型非常照明ハロゲン球	2 灯	

版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事
					課長 主幹 課長補佐 係長 係	図名 津消防本部 改修工事
						電灯設備 撤去 平面詳細図 (改修前) 縮尺 1/100

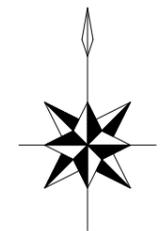
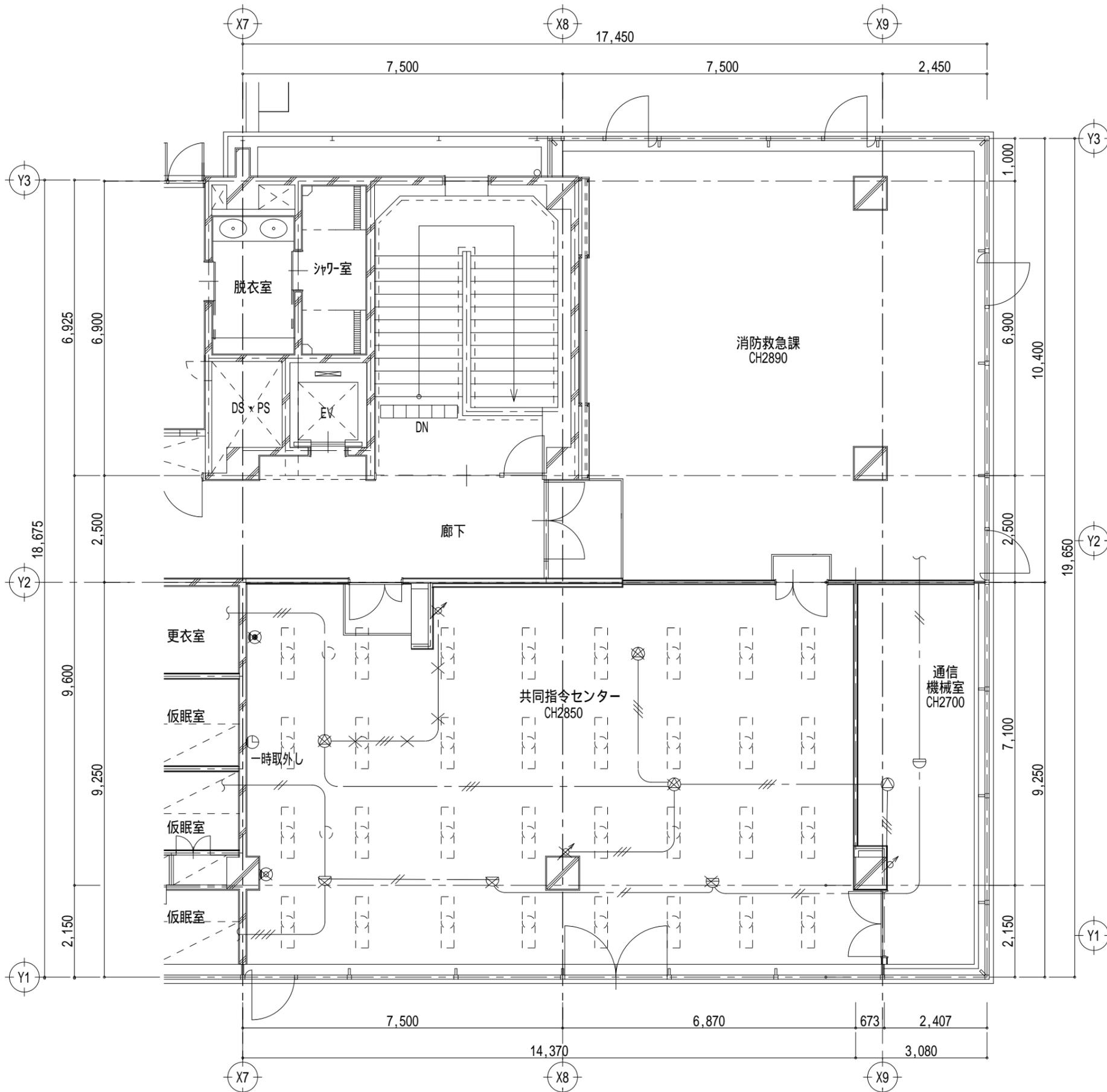
 <b>ビーム計画設計株式会社</b> Beam Planning Corporation	設計	服部	年月日
	検図	牛田	年月日
	承認	山下	年月日
	図番	KT17	



- 特記事項
- 記入なき配管配線は下記とする。  
 // HP1.2-3C  
 - - - 既設配線
  - 凡例  
 ☺ 差動式スポット型熱感知器 2種 露出  
 ⊙ 天井埋込スピーカー  
 ↗ アッテネイター  
 MM(A) 1種金属線び(メタルモール) A型  
 MC 同上コーナーボックス A型

版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	検図	牛田	年月日
					課長	図名	承認	山下	年月日
					主幹	津消防本部 改修工事	図番		KT18
					課長補佐	弱電、自火報設備 改修 平面詳細図(改修後)	縮尺		
					係長		1/100		
					係				

**ビーム計画設計株式会社**  
Beam Planning Corporation



特記事項

1. 記入なき配管配線は下記とする。

AE1.2-2C  
 AE1.2-4C  
 HP1.2-3C

2. 凡例

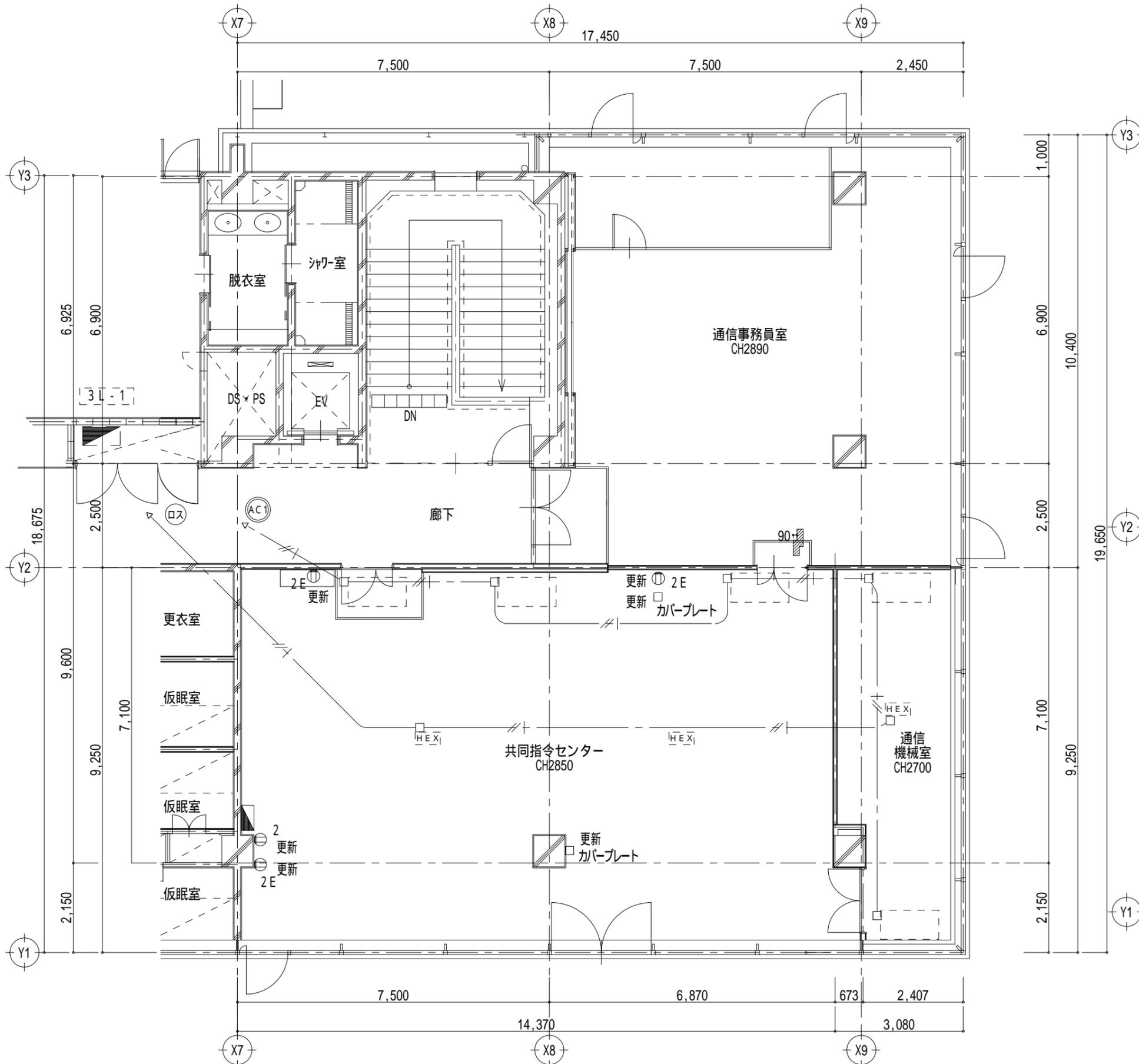
○ 差動式スポット型熱感知器 2種 露出  
 ⊙ 天井埋込スピーカ  
 ⚡ アッテネイター

3××印は、撤去をあらわす。

版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	検図	牛田	年月日
					課長	図名	承認	山下	年月日
					主幹	津消防本部 改修工事	図番		KT19
					課長補佐	弱電、自火報設備 撤去 平面詳細図(改修前)	縮尺		
					係長		1/100		
					係				



ビーム計画設計株式会社  
 Beam Planning Corporation



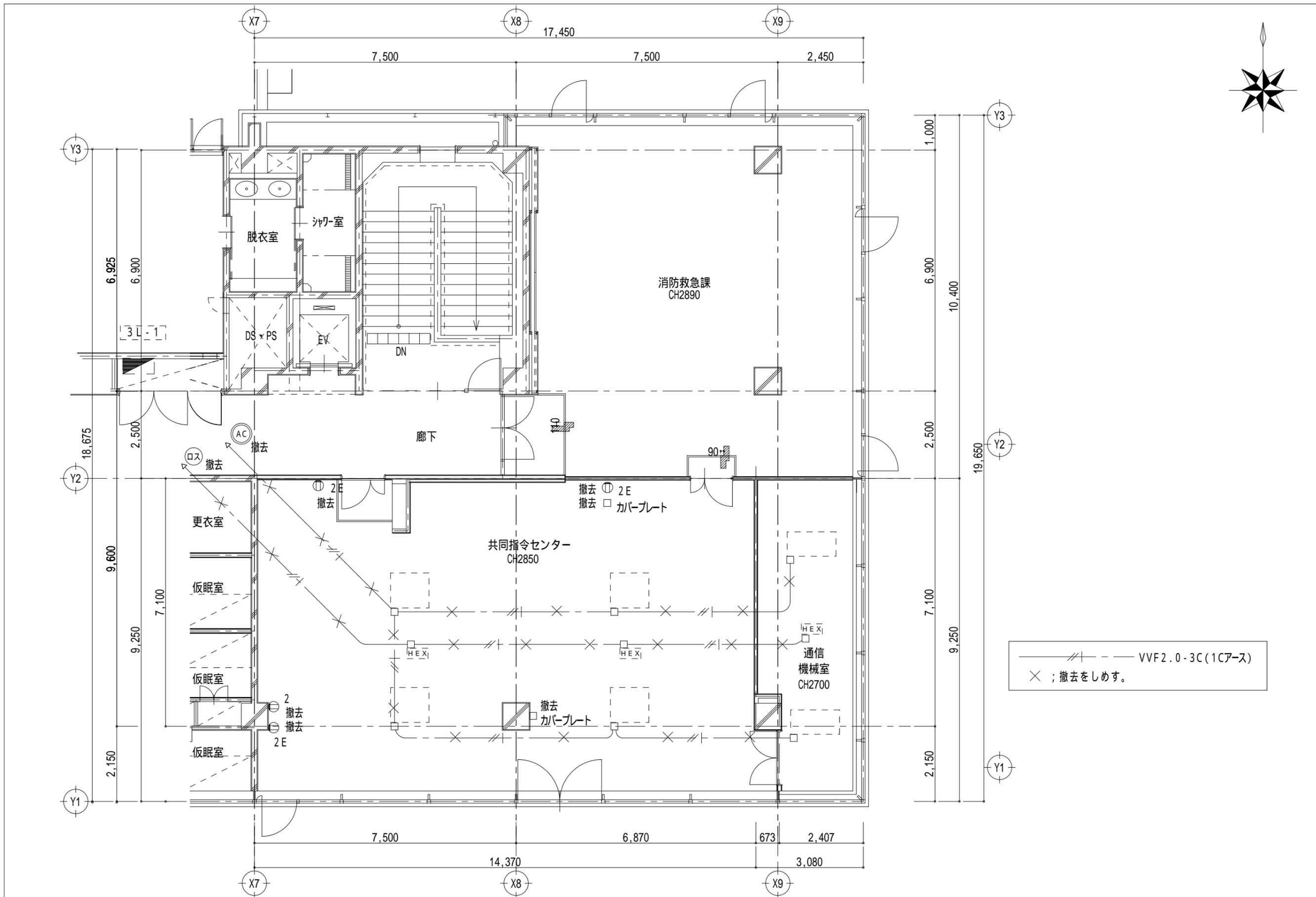
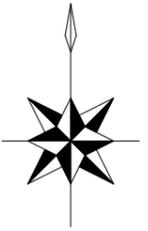
共同司令室空調エアコン屋外機、通信機械室空調エアコン屋外機の電源接続替は電気工事とする。既設電源線は流用とする。

— / — VVF2.0-3C(1Cアース)

版	年月日	設定番号	変更事項	承認	発注者	名称	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	検図	牛田	年月日
					課長	図名	承認	山下	年月日
					主幹	津消防本部 改修工事	図番		KT20
					課長補佐	動力コンセント、空調換気電源設備 改修 平面詳細図	縮尺		
					係長		1/100		
					係				



**ビーム計画設計株式会社**  
Beam Planning Corporation



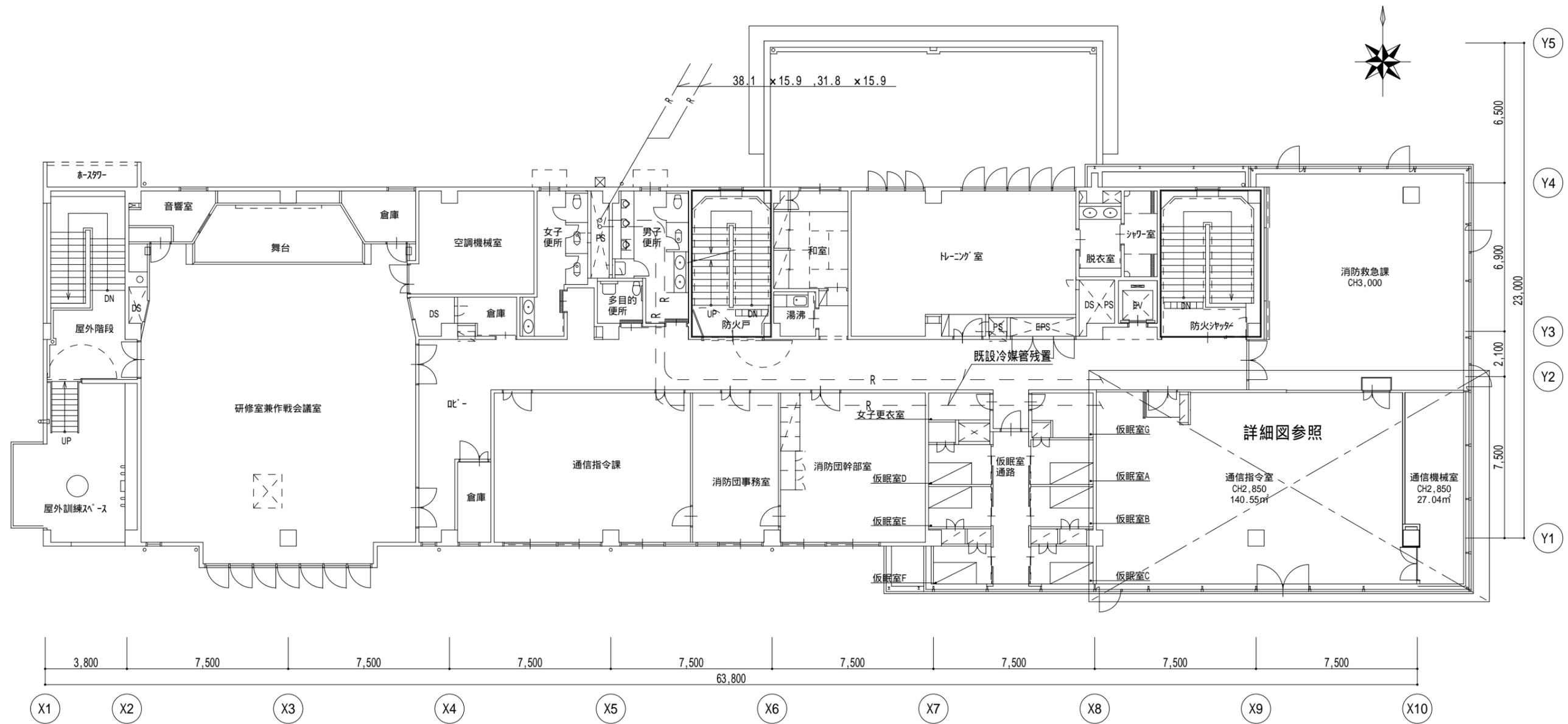
VVF2.0-3C(1Cア-ス)  
 ; 撤去をしめす。

版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	校閲	牛田	年月日
					課長	図名	承認	山下	年月日
					主幹	津消防本部 改修工事	図番		KT21
					課長補佐	動力コンセント、空調換気電源設備 撤去 平面詳細図	縮尺		
					係長		1/100		
					係				



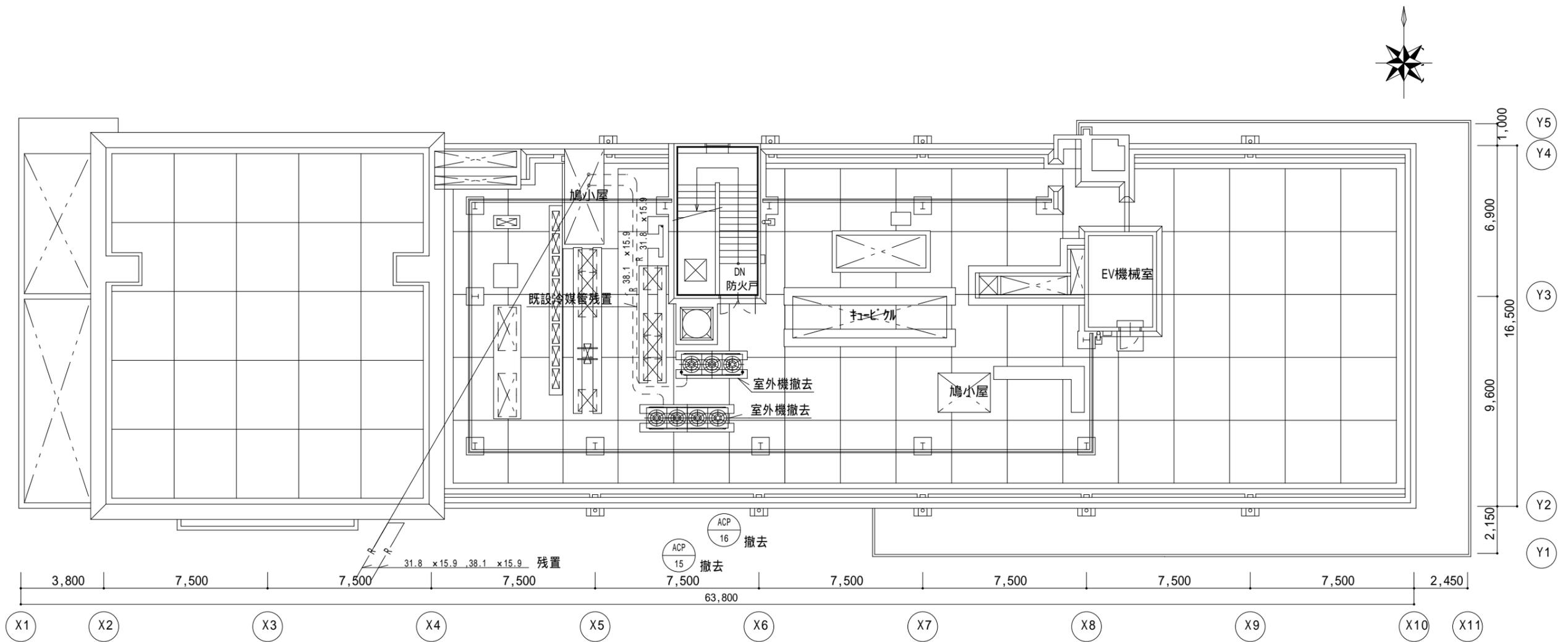
**ビ-ム計画設計株式会社**  
 Beam Planning Corporation





版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	検図	牛田	年月日
					課長	主幹	課長補佐	係長	係
						津市消防本部改修工事 空調設備 撤去 平面図 (改修前)	縮尺	承認	山下
							1/200	図番	KT23
							 <b>ビーム計画設計株式会社</b> Beam Planning Corporation		

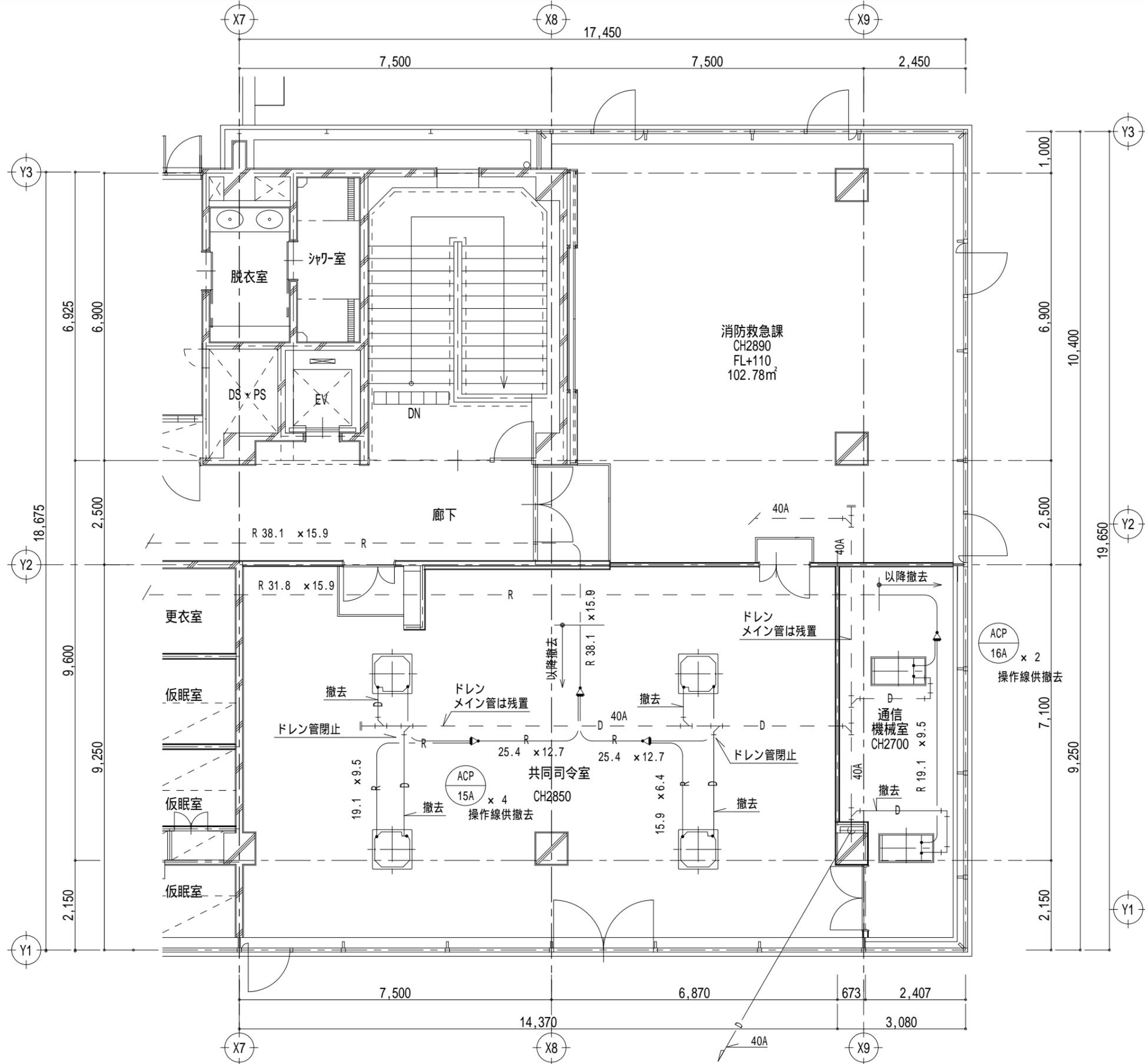
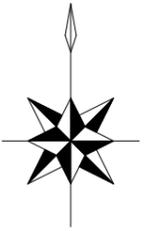
空調機器表 (撤去) 空冷ヒートポンプ式				
記号	形式・名称	仕様	台数	設置場所
ACP-15	ビル用マルチエアコン	冷房能力: 45.0 kW 暖房能力: 50.0 kW	1	R階
	室外機	三相 200 V		
ACP-15A	ビル用マルチエアコン	冷房能力: 11.2 kW 暖房能力: 12.5 kW	4	3階
	室内機 (天カセ形4方向)	単相 200 V 標準パネル		通信指令室
ACP-16	ビル用マルチエアコン	冷房能力: 35.5 kW 暖房能力: 40.0 kW	1	R階
	室外機	三相 200 V		
ACP-16A	ビル用マルチエアコン	冷房能力: 14.0 kW 暖房能力: 16.0 kW	2	3階
	室内機 (天カセ形4方向)	単相 200 V 標準パネル		通信機械室
R	ワイヤードリモコン		2	



R階 平面図 S = 1 / 200

版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	検図	牛田	年月日
					課長 主幹 課長補佐 係長 係	図名 津消防本部 改修工事 空調設備 撤去 屋上平面図 (改修前)	承認	山下	年月日
						縮尺 1/200	図番	KT24	





消防救急課  
CH2890  
FL+110  
102.78m<sup>2</sup>

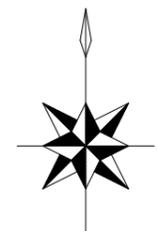
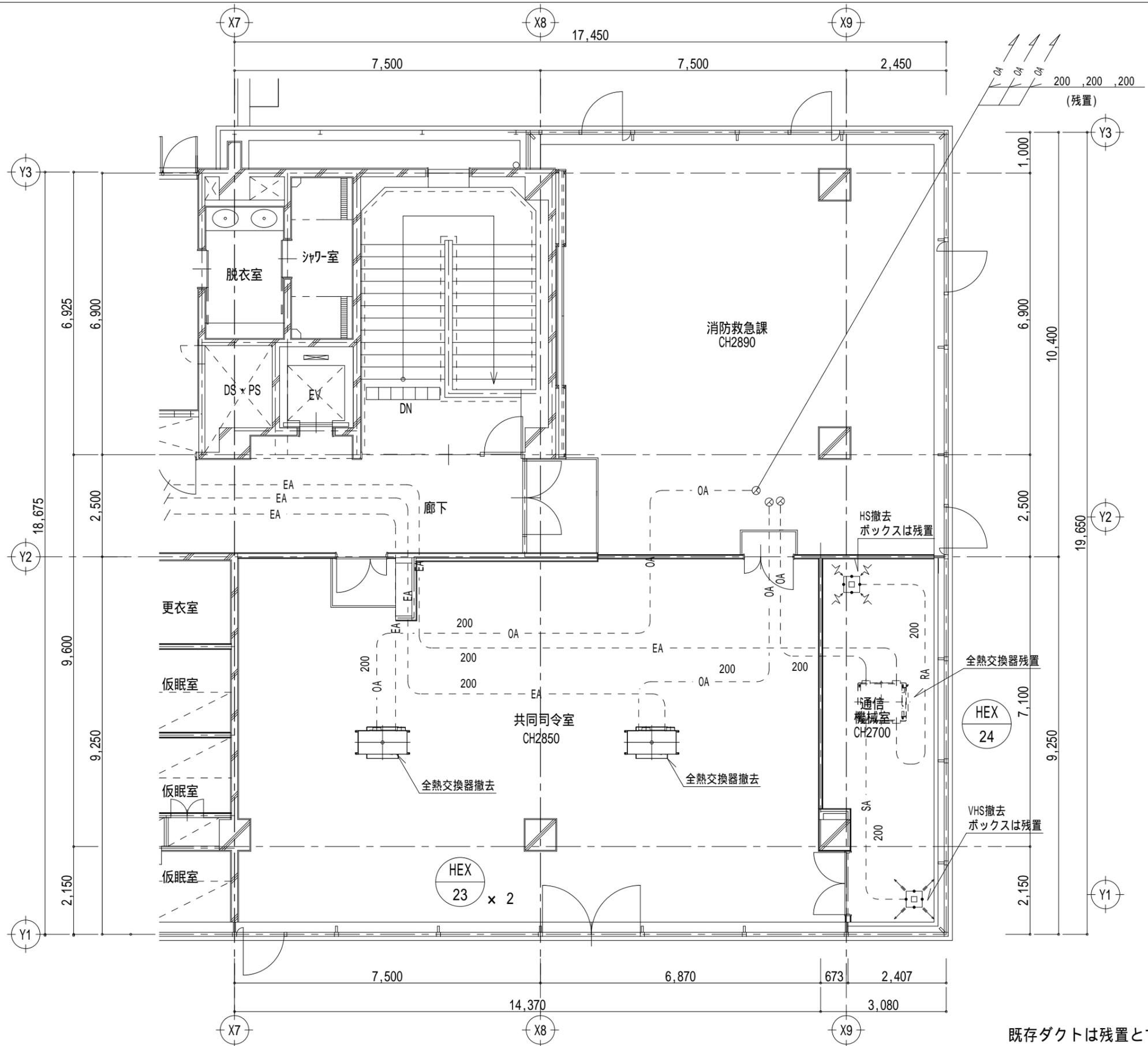
共同司令室  
CH2850  
ACP 15A x 4  
操作線供撤去

ACP 16A x 2  
操作線供撤去



ビーム計画設計株式会社  
Beam Planning Corporation

版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	津市	名称	設計	服部	年月日
					課長	主幹	三重中央消防指令センター総合整備工事	検図	牛田	年月日
					課長補佐	係長	図名	承認	山下	年月日
					係		津消防本部 改修工事	図番		KT25
							空調設備 撤去 平面詳細図(改修前)			
							縮尺			
							1/100			

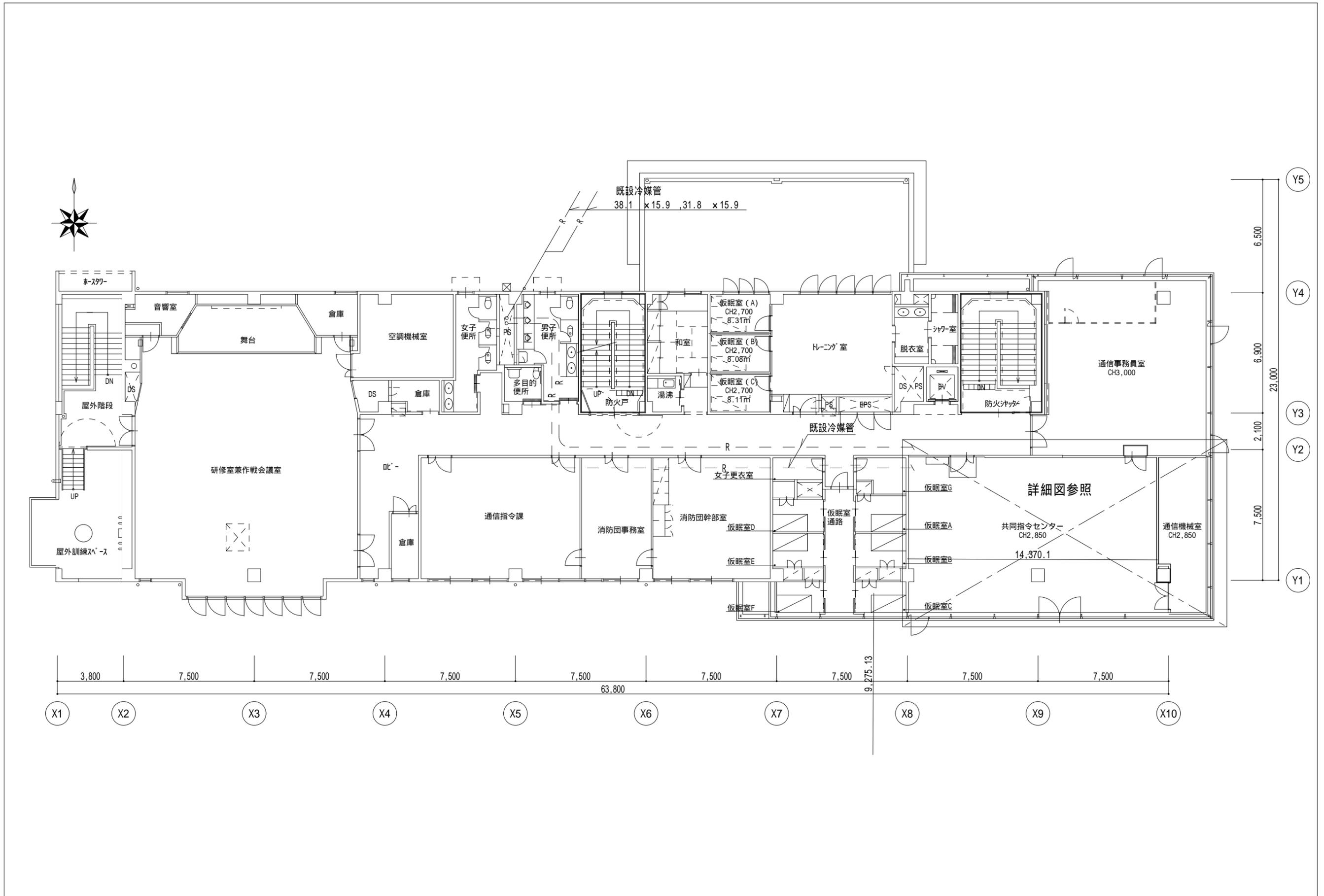


既存ダクトは残置とする。

版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	校閲	牛田	年月日
					課長	図名	承認	山下	年月日
					主幹	津消防本部 改修工事	図番		KT26
					課長補佐	換気設備 撤去 平面詳細図 (改修前)			
					係長	縮尺			
					係	1/100			



ビーム計画設計株式会社  
Beam Planning Corporation



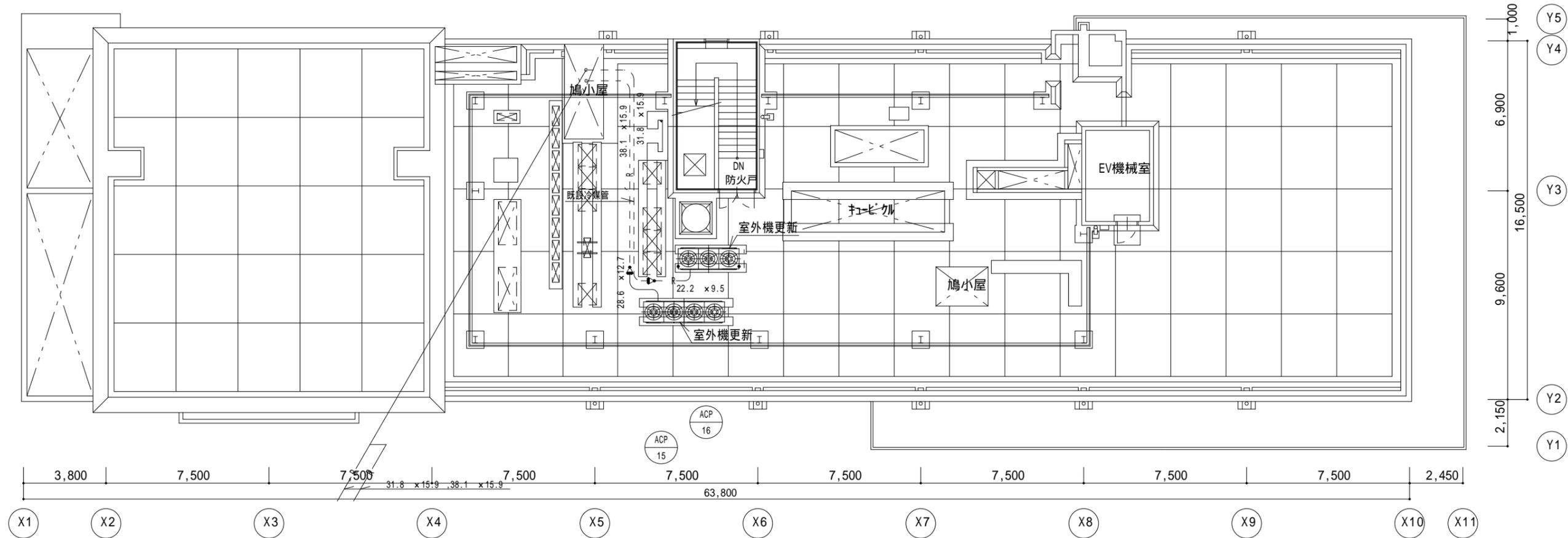
版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	校閲	牛田	年月日
					課長	図名	承認	山下	年月日
					主幹	津消防本部 改修工事	図番		KT27
					課長補佐	空調設備 平面図 (改修後)			
					係長	縮尺			
					係	1/200			



**ビーム計画設計株式会社**  
Beam Planning Corporation

空調機器表

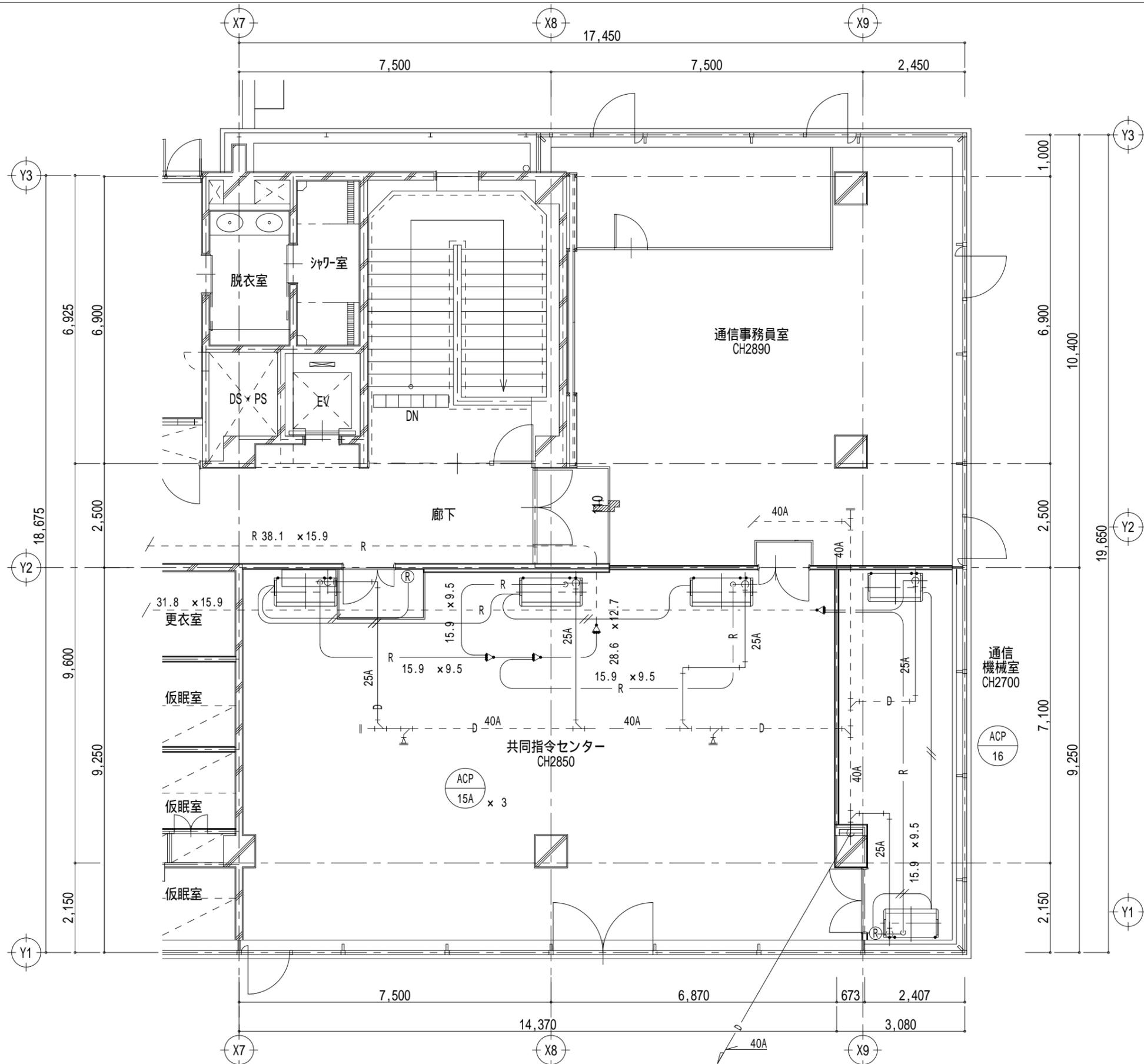
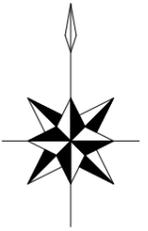
記号	機器名	機器仕様	電源容量 (kw)		台数	設置場所	備考
			V	消費電力			
ACP-15	マルチエアコン RQYP450FC	室外機 (更新用)	3 - 200V	冷房 13.7	1	屋上	防振架台
		冷房能力 45.0kw		暖房 15.2			
		暖房能力 50.0kw					
ACP-15A	室内機 FXYHP160NB	形式 天井吊形	3 - 200V	冷房 0.242	3	共同指令センター	防振吊金物
		冷房能力 16.0kw		暖房 0.287			
		暖房能力 18.0kw					
		付属品 ドレンアップキット、リモコン 他一式					
ACP-16	パッケージエアコン SSRH280CD RSRP280C FHP140FB x2	形式 天井吊形	3 - 200V	冷房 9.75	1	通信機械室	室外機:防振架台 室内機:防振吊金物
		冷房能力 25.0(11.3~28.0)kw		暖房 8.57			
		暖房能力 28.0(12.6~35.0)kw					
		付属品 リモコン 他一式					
HEX-23	全熱交換器 SSRH280CD	形式 天井カセット形	1 - 100V		1	共同指令センター	防振吊金物
		風量 500m <sup>3</sup> /h					
		静圧 10.0 Pa					
		付属品 インテリアパネル リモコン 他一式					



R階 平面図 S = 1 / 200

版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	検図	牛田	年月日
					課長 主幹 課長補佐 係長 係	図名 津消防本部 改修工事 空調設備 屋上平面図(改修後)	承認	山下	年月日
						縮尺 1/200	図番	KT28	

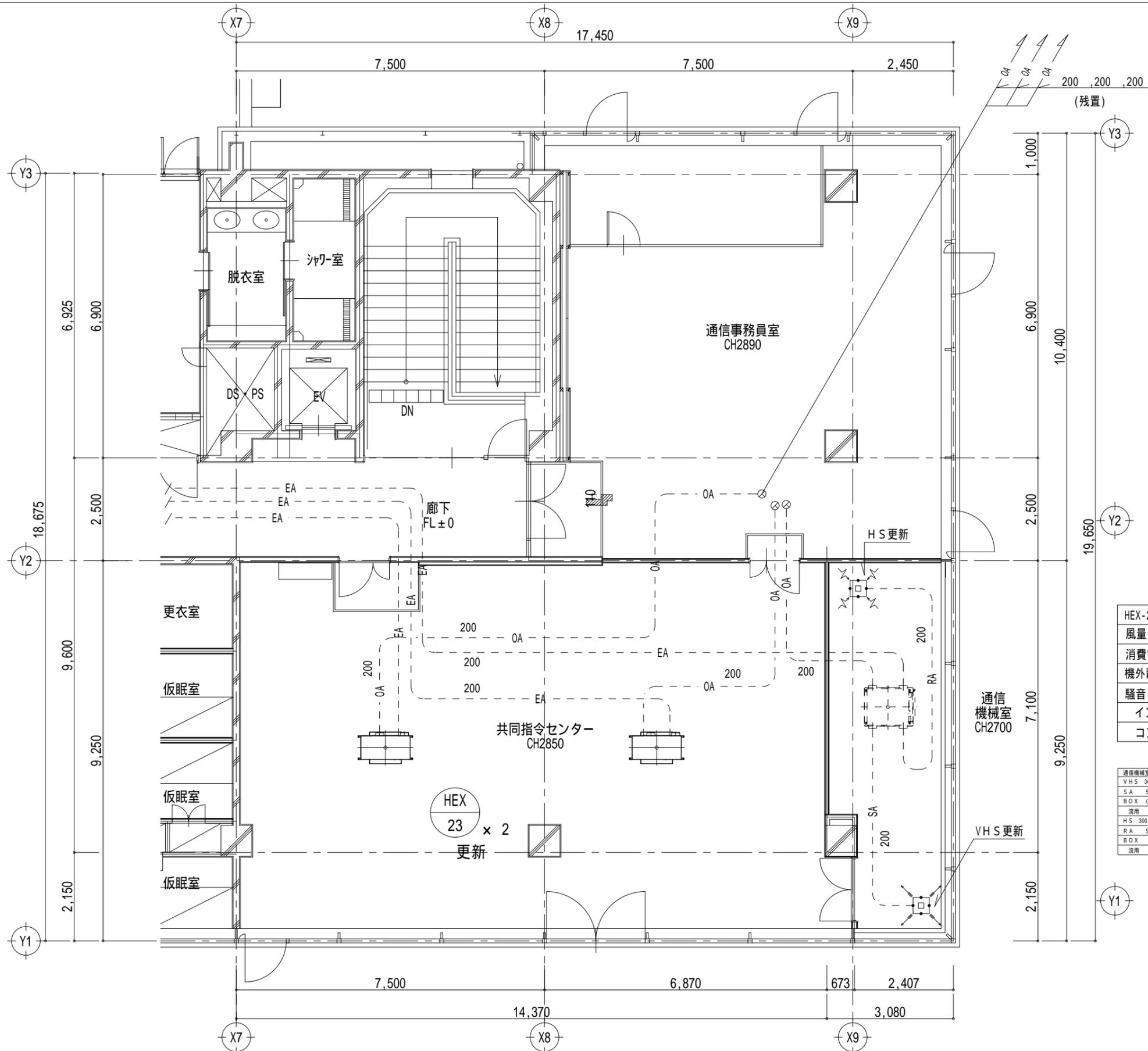




版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	津市	名称	三重中央消防指令センター総合整備工事	設計	服部	年月日
					課長	主幹	図名	津消防本部 改修工事 空調設備 平面図(改修後)	校閲	牛田	年月日
						課長補佐	縮尺	1/100	承認	山下	年月日
						係長			図番	KT29	
						係					



ビーム計画設計株式会社  
Beam Planning Corporation



HEX-23		数量
风量 (m <sup>3</sup> /h)	350	2
消費電力 (W)	156	
機外静圧 (Pa)	5	
騒音 (db)	31	
インテリアパネル、防振ゴム コントロールスイッチ		

通信機械室	
VHS 300x300	
SA S1.0m3	1
BOX (5025t)	1
流用	
HS 300x300	
RA S1.0m3	1
BOX	
流用	

版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	設計	牛田	年月日
					課長 主幹 課長補佐 係長 係	図名	検図	山下	年月日
						津消防本部 改修工事 換気設備 平面図 (改修後)	承認	山下	年月日
						縮尺	図番	KT30	
						1/100	Beam Planning Corporation		



ビーム計画設計株式会社  
Beam Planning Corporation



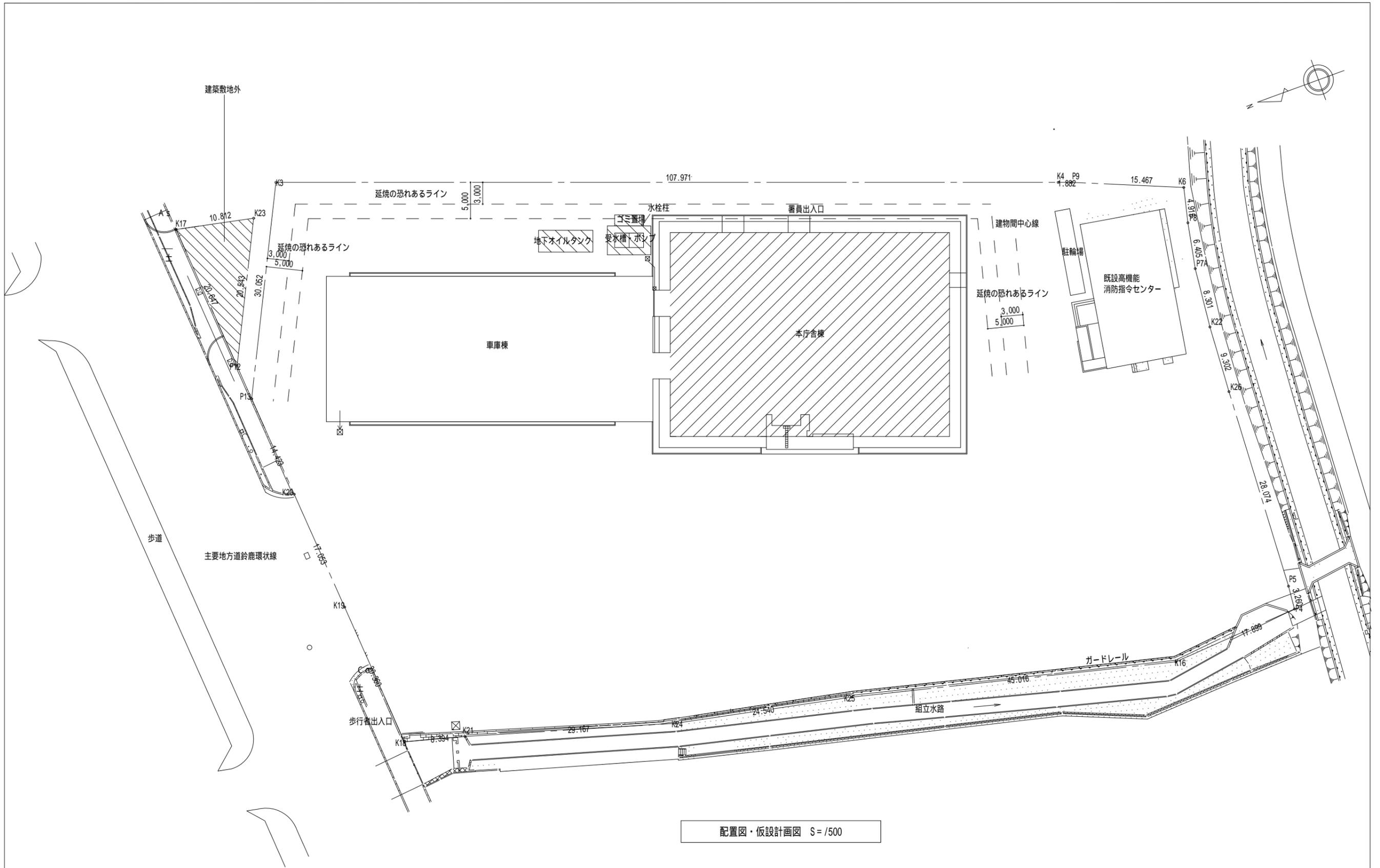


6 編 制 書 工 事	③ フリーアクセスフロア	既設部取り合部： ○ボーダー支柱を適宜新設し補強する。 耐荷重性能： ・3000N ・4000N ○5000N ○フイスカ対策 ・ 既設フリーアクセスフロアの不陸調整 ○フリーアクセスフロア モザイクフロア 5000N（藤沢建機（株）同等品）	4 断熱・防露改修工事 (9.5.2)	・ 断熱材打込み工法 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ[mm]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・押出法ポリスチレンフォーム断熱材（スキンなし）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・硬質ウレタンフォーム断熱材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・フェノールフォーム断熱材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・（ ）</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 施工箇所 ・ 図示（図面番号： ） ・（ ） (9.5.3) <ul style="list-style-type: none"> <li>断熱材現場発泡工法             <ul style="list-style-type: none"> <li>断熱材の種類 ・ A種1 ・ A種1H ・（ ）</li> <li>厚さ（mm） ・ 25 ・ 30 ・（ ）</li> <li>施工箇所 ・ 図示（図面番号： ）</li> </ul> </li> <li>現場発泡断熱材（品質・性能） 工事建築材料等品質性能表による（試験方法） 工事建築材料等品質性能表による</li> </ul> (9.5.4)         ・断熱材後張り工法 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>せつこうボード等の張り付け</th> <th>厚さ[mm]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材</td> <td>・有 ・無</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・押出法ポリスチレンフォーム断熱材</td> <td>・有 ・無</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・硬質ウレタンフォーム断熱材</td> <td>・有 ・無</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・フェノールフォーム断熱材</td> <td>・有 ・無</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・（ ）</td> <td>・有 ・無</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 施工箇所 ・ 図示（図面番号： ） ・（ ）	種類	厚さ[mm]	・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材		・押出法ポリスチレンフォーム断熱材（スキンなし）		・硬質ウレタンフォーム断熱材		・フェノールフォーム断熱材		・（ ）		種類	せつこうボード等の張り付け	厚さ[mm]	・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・有 ・無		・押出法ポリスチレンフォーム断熱材	・有 ・無		・硬質ウレタンフォーム断熱材	・有 ・無		・フェノールフォーム断熱材	・有 ・無		・（ ）	・有 ・無																																																				
	種類	厚さ[mm]																																																																																			
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材																																																																																					
・押出法ポリスチレンフォーム断熱材（スキンなし）																																																																																					
・硬質ウレタンフォーム断熱材																																																																																					
・フェノールフォーム断熱材																																																																																					
・（ ）																																																																																					
種類	せつこうボード等の張り付け	厚さ[mm]																																																																																			
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・有 ・無																																																																																				
・押出法ポリスチレンフォーム断熱材	・有 ・無																																																																																				
・硬質ウレタンフォーム断熱材	・有 ・無																																																																																				
・フェノールフォーム断熱材	・有 ・無																																																																																				
・（ ）	・有 ・無																																																																																				
① 石綿含有建材の除去工事 (9.1.1)	・ 石綿粉じん濃度測定 測定時期、場所及び測定点 <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用</th> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定点（各施工箇所ごと）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>測定1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定2</td> <td></td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定3</td> <td>処理作業中</td> <td>処理作業室内</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定4</td> <td></td> <td>負圧・除じん装置の排出吹出し口</td> <td>出口吹出し風速1m/s以下の位置</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定5</td> <td></td> <td>処理作業室外（敷地境界）</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定6</td> <td>処理作業後（シート養生中）</td> <td>処理作業室内</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定7</td> <td>処理作業後シート撤去後1週間</td> <td>処理作業室内</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定8</td> <td>以降</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計点</td> </tr> </tbody> </table> 測定方法 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>測定 3</th> <th>測定 1,2,4,6,7,8</th> <th>測定 5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>メンブレンフィルタ直径(mm)</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引流量(L/min)</td> <td>・ 1 ・（ ）</td> <td>・ 5 ・（ ）</td> <td>・ 10 ・（ ）</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引時間(min)</td> <td>・ 5 ・（ ）</td> <td>・ 120 ・（ ）</td> <td>・ 240 ・（ ）</td> </tr> </tbody> </table> (9.1.3)         ・ 石綿含有吹付け材の除去 除去対象範囲 ・ 図示（図面番号： ） 除去工法 ・ 改修標準仕様書9.1.3(2)(7)による ・（ ） 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止 湿潤化 固形化 除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 中間処理（熔融又は無害化による）	適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点（各施工箇所ごと）	・	測定1	処理作業前	処理作業室内	計点	・	測定2		調査対象室外部の付近	計点	・	測定3	処理作業中	処理作業室内	計点	・	測定4		負圧・除じん装置の排出吹出し口	出口吹出し風速1m/s以下の位置	・	測定5		処理作業室外（敷地境界）	計点	・	測定6	処理作業後（シート養生中）	処理作業室内	計点	・	測定7	処理作業後シート撤去後1週間	処理作業室内	計点	・	測定8	以降	調査対象室外部の付近	計点		測定 3	測定 1,2,4,6,7,8	測定 5	メンブレンフィルタ直径(mm)	25	25	47	試料の吸引流量(L/min)	・ 1 ・（ ）	・ 5 ・（ ）	・ 10 ・（ ）	試料の吸引時間(min)	・ 5 ・（ ）	・ 120 ・（ ）	・ 240 ・（ ）	(9.1.4)         ・ 石綿含有保温材等の除去 除去対象範囲 ・ 図示（図面番号： ） 除去方法 ・ 改修標準仕様書9.1.4(1)による ・（ ） 除去した石綿含有保温材等の処分 ・ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 中間処理（熔融又は無害化による）	(9.1.5)         ○石綿含有成形板の除去 除去対象範囲 ○ 図示（図面番号： ） 石綿含有せつこうボードの処分 ○ 埋立処分（管理型最終処分場） 石綿含有せつこうボードを除く石綿含有成形板の処分 ・ 埋立処分（安定型最終処分場） ・ 中間処理（熔融又は無害化による）	(9.1.6)         ・ 石綿含有仕上塗材の除去 除去対象範囲 ・ 図示（図面番号： ） 除去した石綿含有仕上塗材等の処分 ・ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 中間処理（熔融又は無害化による） 大気汚染防止法および石綿障害予防規則に加え、「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏れ防止対策徹底マニュアル（令和3年3月）」に基づき適切に処理すること。 ・ 除去等作業の結果報告 除去等作業が終了したときは環境省令で定めるところにより、その結果を遅滞なく発注者に書面で報告すること。	2 断熱アスファルト防水改修工事 (9.2.1)～(9.2.3) 3 外断熱改修工事 (9.3.2)	5 屋上緑化改修工事 (9.6.1)～(9.6.3)	6 透水性アスファルト舗装改修工事 (9.5.2)～(9.5.9)	既存舗装の撤去及び再利用 ・ 図示（図面番号： ） ・（ ） 路床 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ[mm]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・盛土</td> <td>・A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・建設汚泥から再生した処理土</td> <td>・ 図示（図面番号： ） ・（ ）</td> </tr> <tr> <td>・凍上抑制層</td> <td>・再生クラッシュヤラン ・クラッシュヤラン ・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂（7μmふるい通過量10%以下） ・（ ）</td> <td>・ 図示（図面番号： ） ・（ ）</td> </tr> <tr> <td>・フィルター層</td> <td>・砂 ・（ ）</td> <td>・ 図示（図面番号： ） ・（ ）</td> </tr> </tbody> </table> 路床安定処理 ・ 添加材料による安定処理 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰（・特号 ・ 1号） ・ 消石灰（・特号 ・ 1号） 添加量（ kg/m <sup>2</sup> ）（目標CBR ・ 5以上 ・（ ）） ・ ジオテキスタイル 単位面積質量 ・ 60g/m <sup>2</sup> 以上 ・（ ） 厚さ[mm] ・ 0.5～1.0 ・（ ） 引張強さ ・ 98N/5cm（10kgf/5cm）以上 ・（ ） 透水性係数 ・ 1.5×10 <sup>-4</sup> ・1cm/sec 以上 ・（ ） 試験 路床土の支持力比（CBR）試験 ・ 行う ・ 行わない 路床締固め度の試験 ・ 行う ・ 行わない 現場CBR試験 ・ 行う ・ 行わない 路盤 路盤の構成及び厚さ ・ 図示（図面番号： ） ・（ ） 路盤材料 ・ 再生材のクラッシュヤラン ・ クラッシュヤラン鉄鋼スラグ ・ 図示（図面番号： ） ・（ ） 試験 路盤締固め度の試験 ・ 行う ・ 行わない 舗装 <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料</th> <th>厚さ[mm]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ストレートアスファルト</td> <td>・ 図示（図面番号： ） ・（ ）</td> </tr> </tbody> </table> 試験 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない 舗装の平坦性 ・ 著しい不陸がないもの ・（ ）	種別	材料	厚さ[mm]	・盛土	・A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・建設汚泥から再生した処理土	・ 図示（図面番号： ） ・（ ）	・凍上抑制層	・再生クラッシュヤラン ・クラッシュヤラン ・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂（7μmふるい通過量10%以下） ・（ ）	・ 図示（図面番号： ） ・（ ）	・フィルター層	・砂 ・（ ）	・ 図示（図面番号： ） ・（ ）	材料	厚さ[mm]	・ストレートアスファルト	・ 図示（図面番号： ） ・（ ）
適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点（各施工箇所ごと）																																																																																	
・	測定1	処理作業前	処理作業室内	計点																																																																																	
・	測定2		調査対象室外部の付近	計点																																																																																	
・	測定3	処理作業中	処理作業室内	計点																																																																																	
・	測定4		負圧・除じん装置の排出吹出し口	出口吹出し風速1m/s以下の位置																																																																																	
・	測定5		処理作業室外（敷地境界）	計点																																																																																	
・	測定6	処理作業後（シート養生中）	処理作業室内	計点																																																																																	
・	測定7	処理作業後シート撤去後1週間	処理作業室内	計点																																																																																	
・	測定8	以降	調査対象室外部の付近	計点																																																																																	
	測定 3	測定 1,2,4,6,7,8	測定 5																																																																																		
メンブレンフィルタ直径(mm)	25	25	47																																																																																		
試料の吸引流量(L/min)	・ 1 ・（ ）	・ 5 ・（ ）	・ 10 ・（ ）																																																																																		
試料の吸引時間(min)	・ 5 ・（ ）	・ 120 ・（ ）	・ 240 ・（ ）																																																																																		
種別	材料	厚さ[mm]																																																																																			
・盛土	・A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・建設汚泥から再生した処理土	・ 図示（図面番号： ） ・（ ）																																																																																			
・凍上抑制層	・再生クラッシュヤラン ・クラッシュヤラン ・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂（7μmふるい通過量10%以下） ・（ ）	・ 図示（図面番号： ） ・（ ）																																																																																			
・フィルター層	・砂 ・（ ）	・ 図示（図面番号： ） ・（ ）																																																																																			
材料	厚さ[mm]																																																																																				
・ストレートアスファルト	・ 図示（図面番号： ） ・（ ）																																																																																				

版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	検図	牛田	年月日
					課長 主幹 課長補佐 係長 係	図名	承認	山下	年月日
						鈴鹿市消防本部 改修工事 特記仕様書(3)	図番		KS03
						縮尺 1/50			



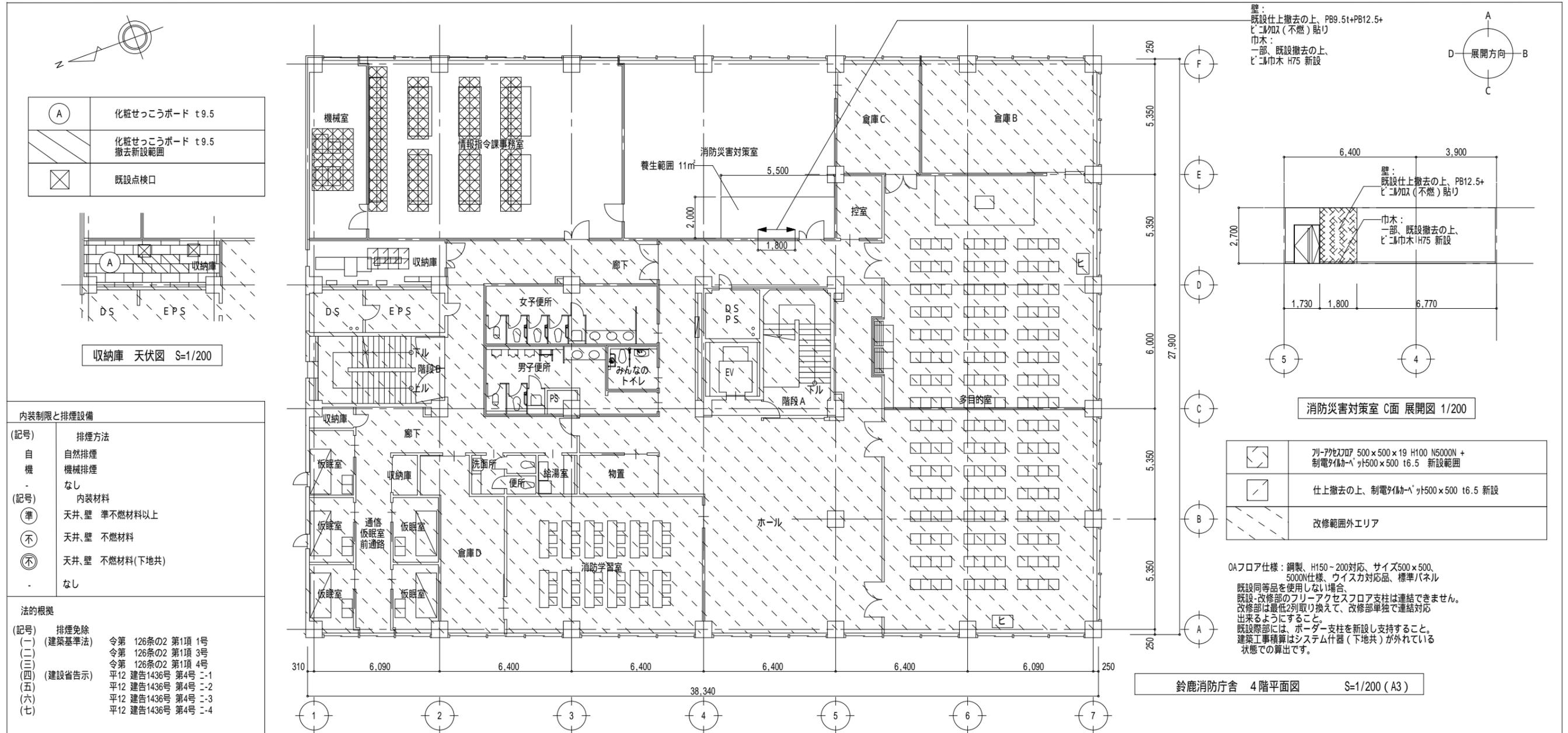
ビーム計画設計株式会社  
Beam Planning Corporation



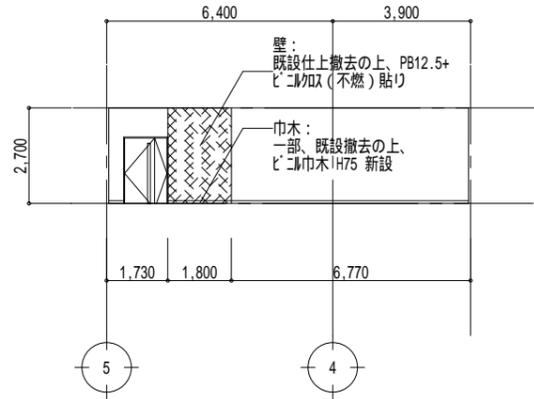
版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	検図	牛田	年月日
					課長	図名	承認	山下	年月日
					主幹	鈴鹿市消防本部 改修工事	図番		KS04
					課長補佐	配置図			
					係長				
					係	縮尺			
						1/500			



**ビーム計画設計株式会社**  
Beam Planning Corporation



壁：既設仕上撤去の上、PB9.5t+PB12.5+ビニル加工（不燃）貼り  
 巾木：一部、既設撤去の上、ビニル巾木 H75 新設



	防火用石膏ボード 500×500×19 H100 N5000N + 制電タイルカベット500×500 t6.5 新設範囲
	仕上撤去の上、制電タイルカベット500×500 t6.5 新設
	改修範囲外エリア

OAフロア仕様：鋼製、H150～200対応、サイズ500×500、5000N仕様、ウイスカ対応品、標準パネル  
 既設同等品を使用しない場合、既設・改修部のフリーアクセスフロア支柱は連結できません。改修部は最低2列取り換えて、改修部単独で連結対応できるようにすること。既設部には、ボーダー支柱を新設し支持すること。建築工事概算はシステム仕器（下地共）が外れている状態での算出です。

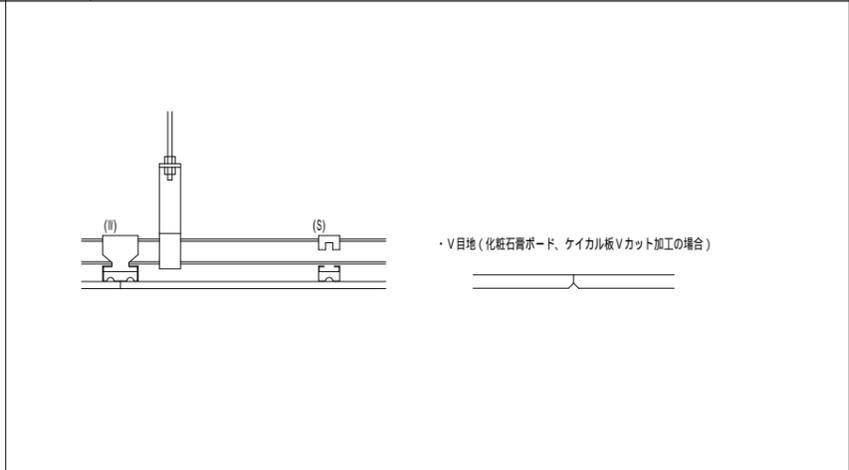
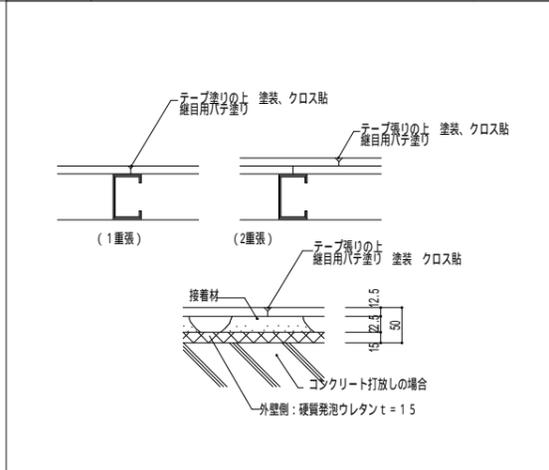
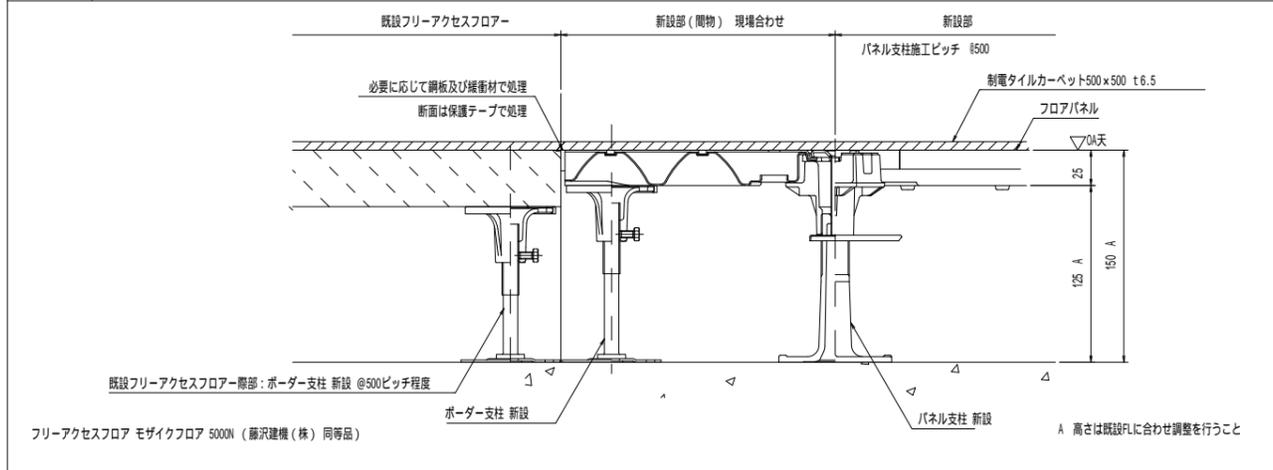
鈴鹿消防庁舎 4階平面図 S=1/200 (A3)

内部仕上表 : アスベストみなし部材を示す。

階	室名	改修工事	内装制限と排煙設備			床			巾木			壁			天井				備考
			排煙方法	内装材料	法的根拠	仕上げ	仕上高	巾木	H	仕上げ	下地	仕上げ	下地	廻縁	天井高				
4F	情報指令課事務室	改修前	自	⊗	-	防火用石膏ボード 500×500 H150+タイルカベット	FL±0	ビニル巾木	75	PB9.5t+PB12.5+ビニル加工 PB12.5(GL工法)+ビニル加工	LGS C	岩綿吸音板 t12(PBt12.5捨貼り)	LGS	塩ビ	2,700				
		改修後	自	⊗	-	既設のまま 防火用石膏ボード欠損部：防火用石膏ボード 500×500×19 H100 N5000N + 制電タイルカベット500×500 t6.5 新設 情報機器撤去部：仕上撤去の上、制電タイルカベット500×500 t6.5 新設	FL±0	既設のまま	75	既設のまま		既設のまま	LGS	塩ビ	2,700				
	消防災害対策室	改修前	自	⊗	-	防火用石膏ボード 500×500 H150+タイルカベット	FL±0	ビニル巾木	75	PB9.5t+PB12.5+ビニル加工 PB12.5(GL工法)+ビニル加工	LGS C	岩綿吸音板 t12(PBt12.5捨貼り)	LGS	塩ビ	2,700				
		改修後	自	⊗	-	既設のまま	FL±0	既設のまま	75	既設のまま 一部、既設撤去の上、 ビニル巾木 H75 新設		既設のまま 情報機器撤去部：既設仕上撤去の上、PB9.5t+PB12.5+ ビニル加工（不燃）貼り	LGS	塩ビ	2,700				
	機械室	改修前	自	⊗	-	防火用石膏ボード 500×500 H150+タイルカベット	FL±0	ビニル巾木	75	PB9.5t+PB12.5+ビニル加工 PB12.5(GL工法)+ビニル加工	LGS C	岩綿吸音板 t12(PBt12.5捨貼り)	LGS	塩ビ	2,700				
		改修後	自	⊗	-	既設のまま 防火用石膏ボード欠損部：防火用石膏ボード 500×500×19 H100 N5000N + 制電タイルカベット500×500 t6.5 新設	FL±0	既設のまま	75	既設のまま		既設のまま	LGS	塩ビ	2,700				
収納庫	改修前	自	⊗	-	タイルカベット	FL-15	ビニル巾木	75	PB9.5t+PB12.5+ビニル加工 PB12.5(GL工法)+EP塗装	LGS C	化粧せっこうボード t9.5	LGS	塩ビ	2,500					
	改修後	自	⊗	-	既設のまま 情報機器撤去部：仕上撤去の上、制電タイルカベット500×500 t6.5 新設	FL-15	既設のまま	75	既設のまま		既設のまま 一部、仕上撤去の上、化粧石膏ボード 450×900 t9.5 新設	LGS	塩ビ	2,500					

版	年月日	設定番号	変更事項	承認	発注者	名称	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	検図	牛田	年月日
					課長	主幹	承認	山下	年月日
					課長補佐	係長	図番		KS05
						係	縮尺		
						鈴鹿市消防本部 改修工事 4階平面図・仕上・展開・天伏図	1/50		





版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	検図	牛田	年月日
					課長	図名	承認	山下	年月日
					主幹	鈴鹿市消防本部 改修工事	図番		KS06
					課長補佐	雑詳細図			
					係長				
					係				
						縮尺			
						図示			



ビーム計画設計株式会社  
Beam Planning Corporation

<p>工事特記仕様書（改修）</p> <p>・ 工事名称 <u>      </u> 亀山消防本部 改修工事</p> <p>・ 工事概要</p> <p>1 工事場所 <u>      </u> 三重県亀山市野村4丁目1-23 地内</p> <p>2 敷地面積 <u>      </u> 6,121.26㎡</p> <p>3 工事内容 <u>      </u> 指令室改修工事</p> <p>    機名称 <u>      </u> 庁舎棟</p> <p>    構造 <u>      </u> RC造3階建て</p> <p>    建築面積 <u>      </u> 1,683.20㎡</p> <p>    延べ面積 <u>      </u> 2,635.89㎡</p> <p>    工事項目 <u>      </u> 改修工事</p> <p>・ 建築改修工事仕様</p> <p>1 共通仕様</p> <p>    図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）最新版（以下「改修標準仕様書」という。）」による。</p> <p>2 特記仕様</p> <p>(1) 項目は、番号に 印の付いたものを適用する。</p> <p>(2) 特記事項は、 印の付いたものを適用する。</p> <p>(3) 項目欄に記載の（ ）内表示番号は改修仕様の該当項目等を示す。</p>		<p>④ 建設副産物情報交換システムの利用</p> <p>受注者は、工事着手前及び工事完了後に「再生資源利用計画書（実施書）」、「再生資源利用促進計画書（実施書）」を監督員に提出することとし、また、法令等に基づき、再生資源利用計画を工事現場の公衆が見えやすい場所に掲げること。なお、工事着手前にはJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へデータ入力し、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。</p> <p>⑤ 三重県産業廃棄物税</p> <p>本工事は産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。</p> <p>・ 配置する</p> <p>職種別に可能なものについては、積極的に活用すること。</p> <p>⑥ 電気保安技術者 (1.3.3)</p> <p>⑦ 技能士 (1.7.2)</p> <p>⑧ 施工数量調査 (1.6.2)</p> <p>調査範囲及び調査方法 <input type="radio"/> 工種別の特記による</p> <p>⑨ 調査のための破壊部分の修繕 (1.5.3)</p> <p>補修方法 <input type="radio"/> 図示（図面番号： ） ・（ ）</p> <p>⑩ 建築材料等</p> <p>1) 本工事に使用する木材は、津市公共建築物等木材利用方針に基づき、木材の利用に努めること。</p> <p>2) 本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、F 以上とする。</p> <p>⑪ 化学物質の濃度測定 (1.6.9)</p> <p>測定対象化学物質（ 示したものとす。）</p> <table border="1"> <tr> <th>適用</th> <th>施設用途</th> <th>おもアルデヒド</th> <th>トルエン</th> <th>キシレン</th> <th>エチルベンゼン</th> <th>スチレン</th> <th>パラジクロロベンゼン</th> </tr> <tr> <td></td> <td>学校、教育施設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>住宅</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>測定対象室及び測定箇所数 <input type="radio"/> 図示（図面番号： ） <input type="radio"/>（ 通信指令室（事務室） 2箇所 ）</p> <p>測定方法（ <input type="radio"/> パッシブ法 <input type="radio"/> アクティブ法）</p> <p>測定時期 <input type="radio"/>（ 改修前、改修後 ）</p> <p>報告書提出部数 2部</p> <p>改修標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。</p> <p>⑫ 特別な材料の工法</p> <p>⑬ 騒音・振動の防止</p> <p>低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。</p> <p>⑭ 工事写真 (1.2.4)</p> <p>営繕工事写真撮影要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部（最新版））に従い撮影する。</p> <p>提出部数 1部 用紙はA5用紙とする。</p> <p>なお、デジタル工事写真の小黒板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の小黒板情報電子化について（平成29年3月1日付け国営整第211号）」による。</p> <p>作成する（ <input type="radio"/> 完成図 <input type="radio"/> 安全に関する資料 <input type="radio"/>（ ））</p> <p>完成図作成範囲（設計図を訂正）</p> <p>完成図はC A Dにより作成することとし、著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む）にかかる著作権は発注者に移譲するものとする。また、製本2部（原図サイズ）により提出すること。</p> <p><input type="radio"/> デジタルカメラで撮影し、全て1版相当サイズで印刷する。（A 4版用紙に1ページあたり3枚） 1部</p> <p>箇所数は外観4面各室2面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合や枚数が多くなる場合には、監督員と協議すること。写真は、着工前・施工中・完成を同一場所から、黒板なしで撮影すること。</p> <p>⑮ 設備工事との取合い</p> <p>⑯ 既存部分等への処置 (1.3.13)</p> <p>⑰ 事故の発生時</p> <p>⑱ 消防提出書類</p> <p>1) 消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成</p> <p><input type="radio"/> 本工事（ <input type="radio"/> 建築工事 <input type="radio"/> 電気設備工事 <input type="radio"/> 機械設備工事 ） <input type="radio"/> 別途工事</p> <p>2) 防火対象物使用開始届出書</p> <p>書類の作成（電気設備図面の作成及び電気設備に関する部分の記入）を行うこと。</p> <p>⑳ 労働安全衛生法に基づく労働災害防止措置</p> <p>労働安全衛生法第30条第1項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講ずべき者として、同法第30条第2項の規定に基づき、本工事の請負者を指名する。この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。</p> <p>㉑ 不正軽油の使用の禁止</p> <p>1) 一般事項</p> <p>市工事の施工にあたり、工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第144条の32（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。</p> <p>2) 調査の協力</p> <p>受注者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また、受注者は下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。</p> <p>3) 是正措置</p> <p>受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じよう管理及び監督しなければならない。</p> <p>㉒ 屋外広告物</p> <p>屋外広告物を設置する場合は、「三重県屋外広告物条例」第23条に規定する屋外広告物の登録事業者であること。</p>		適用	施設用途	おもアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンゼン		学校、教育施設								住宅								その他							<p>㉓ 石綿含有建材の調査 (1.5.1)</p> <p><input type="radio"/> 石綿含有建材の事前調査</p> <p>    調査範囲 <input type="radio"/> 図示（図面番号： ） <input type="radio"/>（ 改修範囲 ）</p> <p>    貸与資料 <input type="radio"/> 既存の設計図書 <input type="radio"/> 石綿含有建材の調査報告書 <input type="radio"/>（ ）</p> <p>・ 分析調査</p> <p>分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト</p> <p>分析方法</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">材料名</th> <th>定性分析法</th> <th>定量分析法</th> </tr> <tr> <td>JIS A 1481-1または JIS A 1481-2</td> <td>JIS A 1481-3または JIS A 1481-4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 箇所数( )</td> <td>・ 箇所数( )</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 箇所数( )</td> <td>・ 箇所数( )</td> </tr> </table> <p>サンプル数 1箇所あたり3サンプル</p> <p>採取箇所 <input type="radio"/> 図面（図面番号： ） ・（ ）</p> <p><input type="radio"/> 石綿含有の可能性がある建材は、みなし扱いとし、撤去処分を行う。</p>		材料名	定性分析法	定量分析法	JIS A 1481-1または JIS A 1481-2	JIS A 1481-3または JIS A 1481-4		・ 箇所数( )	・ 箇所数( )		・ 箇所数( )	・ 箇所数( )
適用	施設用途	おもアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンゼン																																									
	学校、教育施設																																															
	住宅																																															
	その他																																															
材料名	定性分析法	定量分析法																																														
	JIS A 1481-1または JIS A 1481-2	JIS A 1481-3または JIS A 1481-4																																														
	・ 箇所数( )	・ 箇所数( )																																														
	・ 箇所数( )	・ 箇所数( )																																														

<p>① 適用基準等</p> <p>1) 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）     国土交通大臣官房官庁営繕部監修（最新版）</p> <p>2) 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）     国土交通大臣官房官庁営繕部監修（最新版）</p> <p>3) 建築物解体工事共通仕様書     国土交通大臣官房官庁営繕部監修（最新版）</p> <p>4) 建築工事標準詳細図     国土交通大臣官房官庁営繕部監修（最新版）</p> <p>② 施工条件</p> <p>施工方法及び検査に関する事項</p> <p>工事契約後、速やかに調査及び施工計画書等を作成し、現場着手までに市監督員の承諾を得ること。</p> <p>工事中の安全計画・消防計画等は、市監督員と十分協議し災害防止に努めること。</p> <p>本工事における諸官庁への届出、手続き及び書類等は、速やかに提出し工事の遂行に影響の無いよう努めること。</p> <p>特定作業に伴って発生する騒音は、低振動・低騒音に努め騒音規 制法に基づき関係機関への届出・打合せの上、作業に着手すること。</p> <p>工事期間中、近隣関係者等へ危害を与えないよう注意し、かつ周道路等に資材を落下させたり、ほりこ等を飛散させないよう万全の注意を払うこと。</p> <p>場外退出時、車両足廻りの洗浄等を行い、汚損等しないようにすること。</p> <p>工事車両の出入りについては、安全確保に十分配慮すること。</p> <p>大型車両通行時には誘導員を配置し、通行人及び敷地周辺の安全に十分配慮すること。</p> <p>工事車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。</p> <p>工事着手前には、現況把握のために、破損箇所等があれば、市監督員立会いのもと写真に記録しておくこと。</p> <p>工事期間中、工事に起因し、既存施設に破損等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに原状復旧するとともに市監督員に報告書を提出すること。</p> <p>設計図面に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取り合いのはつり補修復旧は本工事に含む。なお内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。</p> <p>高所等の施工箇所で行った検査時に確認が困難な工事については、足場解体前に市検査員による随時検査(書類を含む)を受けること。また、当該検査の合格をもって足場解体を行うこと。</p> <p>③ 発生材の処理等 (1.3.12)</p> <p>本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化の実施について適正な措置を講ずることとする。</p> <p>工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難い場合は、監督員と協議するものとする。</p> <p>・ 分別解体等の方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工程</th> <th>作業の有無</th> <th>分別解体等の方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>造成等</td> <td>・ 有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/></td> <td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>基礎・基礎ぐい</td> <td>・ 有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/></td> <td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>上部構造部分・外装</td> <td>・ 有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/></td> <td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>屋根</td> <td>・ 有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/></td> <td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>建築設備・内装等</td> <td><input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/></td> <td>・ 手作業 <input type="radio"/> 手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>その他 ( )</td> <td>・ 有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/></td> <td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> </tbody> </table> <p><input type="radio"/> 引き渡すを要するもの <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>（ ）</p> <p>・ 特別管理産業廃棄物 <input type="radio"/> 有 <input type="radio"/>（ PCBを含む機器類 <input type="radio"/> 廃油、廃酸、廃アルカリ <input type="radio"/> ダイオキシソ類 <input type="radio"/> 水銀を含む特別管理産業廃棄物 <input type="radio"/> 廃水銀等 ）</p> <p>処理方法（ ）</p> <p>・ 水銀使用製品産業廃棄物 <input type="radio"/> 有 <input type="radio"/>（ 蛍光灯ランプ <input type="radio"/> HIDランプ <input type="radio"/>（ ））</p> <p>「水銀廃棄物ガイドライン」（第2版）（平成31年3月 環境省環境再生・資源循環局廃棄物規制課）に基づき適切に処理すること。</p> <p><input type="radio"/> 石綿含有成形板等解体時の留意点</p> <p>1. 手ばらし等、出来るだけ粉塵の発生しない方法で行うこと。</p> <p>2. 可能であれば湿潤状態（散水）として作業を進めること。</p> <p>3. 飛散されない様にする。</p> <p>4. 保護具及び作業着を着用すること。</p> <p>5. 解体されたボード等は、蓋のある容器に入れること。</p> <p>6. 事前に使用箇所や状況の調査を行い記録すること。</p> <p>・ 現場において再利用を図るもの <input type="radio"/>（ ）</p> <p>・ 再資源化を図るもの <input type="radio"/>（ ）</p> <p>    ・ コンクリート塊</p> <p>    ・ アスファルトコンクリート塊</p> <p>    ・ 建設発生木材</p> <p>    ・（ ）</p> <p>引渡を要するもの、再資源化を図るものについては調書を作成し、監督員へ提出すること。</p> <p>引渡を要するもの以外のものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従って適切に処理し、監督員にマニフェストA、B、D票を提示すること。</p>		工程	作業の有無	分別解体等の方法	造成等	・ 有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	基礎・基礎ぐい	・ 有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	上部構造部分・外装	・ 有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	屋根	・ 有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	建築設備・内装等	<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	・ 手作業 <input type="radio"/> 手作業、機械作業の併用	その他 ( )	・ 有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	<p>① 2</p> <p>② 2</p> <p>③ 2</p> <p>④ 2</p> <p>⑤ 2</p> <p>⑥ 2</p> <p>⑦ 2</p> <p>⑧ 2</p> <p>⑨ 2</p> <p>⑩ 2</p> <p>⑪ 2</p> <p>⑫ 2</p> <p>⑬ 2</p> <p>⑭ 2</p> <p>⑮ 2</p> <p>⑯ 2</p> <p>⑰ 2</p> <p>⑱ 2</p> <p>⑲ 2</p> <p>⑳ 2</p> <p>㉑ 2</p> <p>㉒ 2</p> <p>㉓ 2</p> <p>㉔ 2</p> <p>㉕ 2</p> <p>㉖ 2</p> <p>㉗ 2</p> <p>㉘ 2</p> <p>㉙ 2</p> <p>㉚ 2</p> <p>㉛ 2</p> <p>㉜ 2</p> <p>㉝ 2</p> <p>㉞ 2</p> <p>㉟ 2</p> <p>㊱ 2</p> <p>㊲ 2</p> <p>㊳ 2</p> <p>㊴ 2</p> <p>㊵ 2</p> <p>㊶ 2</p> <p>㊷ 2</p> <p>㊸ 2</p> <p>㊹ 2</p> <p>㊺ 2</p> <p>㊻ 2</p> <p>㊼ 2</p> <p>㊽ 2</p> <p>㊾ 2</p> <p>㊿ 2</p>		<p>1 騒音・粉じん等の対策 (2.1.3)</p> <p>・ 防音パネル 設置範囲 <input type="radio"/> 図示（図面番号： ）</p> <p>・ 防音シート 設置範囲 <input type="radio"/> 図示（図面番号： ）</p> <p>② 足場 (2.2.1) (表2.2.1)</p> <p>設置する足場について、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月）」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の2の(2)手すり据置き型方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。</p> <p>内部足場の種別（参考） <input type="radio"/> 脚立 <input type="radio"/> 欄足場 <input type="radio"/> その他（ ）</p> <p>外部足場の種別（参考） <input type="radio"/> 手組先行据置枠組本足場 <input type="radio"/> 移動足場 <input type="radio"/> 高所作業車 <input type="radio"/> その他（ ）</p> <p>外部足場設置範囲（参考） <input type="radio"/> 外部改修部 <input type="radio"/> 設備改修部 <input type="radio"/> 昇降用 <input type="radio"/> 転落防止用</p> <p>防護シート等による養生 <input type="radio"/> 適用する <input type="radio"/> 適用しない</p> <p>足場（つり足場、張出し足場又は高さ10m以上の足場で、組立から解体までの期間が60日以上のものに限る。）の組立て後、市監督員立会いの下、当該足場の組立てを担当した者以外の足場に十分な知識と経験を有する者により点検を行うこと。なお、「十分な知識と経験を有する者」とは、以下の者とする。</p> <p>1) 足場の組立て等作業主任者であって、労働安全衛生法第19条の2に基づく足場の組立て等作業主任者能力向上教育を受けた者</p> <p>2) 労働安全衛生法第81条に規定する労働安全コンサルタント（区分が土木又は建築である者）や厚生労働大臣の登録を受けた者が行う研修を修了した者等法第88条に基づく足場の設置等の届出に係る「計画作成参照書」に必要な資格を有する者</p> <p>3) 全国仮設安全事業協同組合が行う「仮設安全監理者資格取得講習」、建設業労働災害防止協会が行う「施工管理者等のための足場点検実務研修」を受けた者等足場の点検に必要な専門的知識の習得のために行う教育、研修又は講習を修了するなど、足場の安全点検について、上記1)又は2)に掲げる者と同等の知識・経験を有する者</p> <p>⑤ 既存部分の養生 (2.3.1)</p> <p>既存部分の養生 <input type="radio"/> 図示（図面番号： ）</p> <p>既存ブラインド・カーテンの養生</p> <p>養生方法（ ）</p> <p>保管場所 <input type="radio"/> 構内既存施設内</p> <p>固定された備品、机、ロッカーの移動 <input type="radio"/> 行う <input type="radio"/> 行わない</p> <p>4 仮設間仕切り (2.3.2) (表2.3.1)</p> <p>屋内の仮設間仕切り <input type="radio"/> A種 <input type="radio"/> B種 <input type="radio"/> C種</p> <p>合板 厚さ <input type="radio"/> 9mm <input type="radio"/>（ ）</p> <p>せつこうボード 厚さ <input type="radio"/> 9.5mm <input type="radio"/>（ ）</p> <p>合板又はせつこうボードの塗装 <input type="radio"/> 行う <input type="radio"/> 行わない</p> <p>仮設扉 設置箇所 <input type="radio"/> 図示（図面番号： ）</p> <p>仕様 <input type="radio"/> 合板張り木製扉 <input type="radio"/>（ ）</p> <p>⑤ 監督員事務所 (2.4.1)</p> <p>・ 構内建物内の一部を使用する。</p> <p>・ 設置する <input type="radio"/> 設置しない</p> <p>監督員事務所の規模(単位:㎡)</p> <table border="1"> <tr> <th>適用規模</th> <th>10程度</th> <th>20程度</th> <th>35程度</th> <th>65程度</th> <th>100程度</th> </tr> </table> <p>監督員事務所の仕上げ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部 位 等</th> <th>仕 上 げ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>床</td> <td>合板張り又はビニル床シート張り</td> </tr> <tr> <td>内壁・天井</td> <td>合板張り又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り</td> </tr> <tr> <td>屋根</td> <td>鉄溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り</td> </tr> </tbody> </table> <p>⑥ 監督員事務所の設備・備品等 (2.4.1)(2)(7)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>机・いす</th> <th>書棚</th> <th>黒板・白板</th> <th>掛時計</th> <th>温度計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数量</td> <td>組</td> <td>台</td> <td>台</td> <td>個</td> <td>個</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>長靴</td> <td>雨合羽</td> <td>保護帽</td> <td>懐中電灯</td> <td>衣類ロッカー</td> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>足</td> <td>着</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>台</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>消火器</td> <td>掃除具</td> <td>受注者加入電話 FAX</td> <td>冷暖房機器</td> <td>インターネット</td> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>台</td> <td>台</td> </tr> </tbody> </table> <p>⑦ 仮設便所</p> <p>構内既存の施設 <input type="radio"/> 利用できる <input type="radio"/> 利用できない</p> <p>⑧ 工事用水</p> <p>構内既存の施設 <input type="radio"/> 利用できる（ <input type="radio"/> 有償 <input type="radio"/> 無償 ） <input type="radio"/> 利用できない</p> <p>⑨ 工事用電力</p> <p>構内既存の施設 <input type="radio"/> 利用できる（ <input type="radio"/> 有償 <input type="radio"/> 無償 ） <input type="radio"/> 利用できない</p> <p><input type="radio"/> 利用できる場合において、本工事で新規受電又は既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は、本工事に含まれる。</p> <p>⑩ 交通誘導警備員</p> <p>配置 <input type="radio"/> 図示（図面番号： ）</p>		適用規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度	部 位 等	仕 上 げ	床	合板張り又はビニル床シート張り	内壁・天井	合板張り又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り	屋根	鉄溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り	種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計	数量	組	台	台	個	個	種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー	数量	足	着	個	個	台	種類	消火器	掃除具	受注者加入電話 FAX	冷暖房機器	インターネット	数量	個	個	個	台	台
工程	作業の有無	分別解体等の方法																																																																										
造成等	・ 有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																																																																										
基礎・基礎ぐい	・ 有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																																																																										
上部構造部分・外装	・ 有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																																																																										
屋根	・ 有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																																																																										
建築設備・内装等	<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	・ 手作業 <input type="radio"/> 手作業、機械作業の併用																																																																										
その他 ( )	・ 有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																																																																										
適用規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度																																																																							
部 位 等	仕 上 げ																																																																											
床	合板張り又はビニル床シート張り																																																																											
内壁・天井	合板張り又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り																																																																											
屋根	鉄溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り																																																																											
種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計																																																																							
数量	組	台	台	個	個																																																																							
種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー																																																																							
数量	足	着	個	個	台																																																																							
種類	消火器	掃除具	受注者加入電話 FAX	冷暖房機器	インターネット																																																																							
数量	個	個	個	台	台																																																																							

版	年月日	設変番号	変 更 事 項				承認	発注者	名称	設計	服部	年月日
								津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	検図	牛田	年月日
								課長	図名	承認	山下	年月日
								主幹	縮尺	図番	KK01	
								課長補佐	亀山市消防本部 改修工事 特記仕様書(1)			
								係長	NS			
								係				



**ビーム計画設計株式会社**  
Beam Planning Corporation

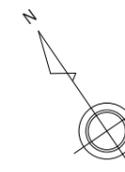


6 断熱改修工事 (9.5.2)	① 材料 (7.1.3)	○ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・ 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所: )	8 環境配慮改修工事	① 石綿含有建材の除去工事 (9.1.1)	・ 石綿粉じん濃度測定 測定時期、場所及び測定点	4 断熱・防露改修工事 (9.5.2)	・ 断熱材打込み工法							
	2 下地調整 (7.2.1~7.2.7) (表7.2.1) - (表7.2.7)	既存塗膜の除去範囲(塗り替えてR B種の場合) ・ 図示(図面番号: )			適用		測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)	種類	厚さ[mm]		
	③ 素地ごしらえ (7.3.1~7.3.7) (表7.3.1) - (表7.3.7)	種別			測定 1		処理作業前	処理作業室内	計	点	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材			
	4 錆止め塗料塗り (7.4.2) (表7.4.3) - (表7.4.5)	種別			測定 2		処理作業中	調査対象外部の付近	計	点	・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキンなし)			
	5 合成樹脂調合ベイント塗り(SOP) (7.5.3~7.5.4) (表7.5.1) - (表7.5.3)	種別			測定 3		処理作業中	処理作業室内	計	点	・ 硬質ウレタンフォーム断熱材			
	6 クリヤラッカー塗り(L) (7.6.2) (表7.6.1)	種別			測定 4		処理作業中	負圧・除じん装置の排気出し口	出口吹出し風速1m/s 以下の位置	計	点	・ フェノールフォーム断熱材		
	7 アクリル樹脂系非水分散形塗料(NAD) (7.7.2) (表7.7.1)	種別			測定 5		処理作業後(シート養生中)	処理作業室外(敷地境界)	計	点	・ ( )			
	8 耐候性塗料塗り(DP) (7.8.2) - (表7.8.1) - (表7.8.3)	種別			測定 6		処理作業後(シート養生中)	処理作業室内	計	点	・ ( )			
	9 つや有合成樹脂エマルジョンベイント塗り(EF-6) (7.9.2) - (表7.9.1) - (表7.9.4)	種別			測定 7		処理作業後シート除去後1週間以降	処理作業室内	計	点	・ ( )			
	⑨ 合成樹脂エマルジョンベイント塗り(EP) (7.10.2) (表7.10.1)	種別			測定 8		処理作業後シート除去後1週間以降	調査対象外部の付近	計	点	・ ( )			
1 1 ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) (7.11.2) (表7.11.1)	種別	下地	種別	測定方法	測定 3	測定 1,2,4,6,7,8	測定 5	種類	厚さ[mm]					
1 2 スティン塗り(OS) (7.12.2) (表7.12.1)	種類	・ 木部	・ A種	・ B種	・ C種	・ A種	・ B種	・ C種	・ A種	・ B種	・ C種	・ D種	・ 図示(図面番号: )	・ ( )
1 3 木材保護塗料塗り(IP) (7.13.2) (表7.13.1)	種類	・ 亜鉛めっき鋼面	・ A種	・ B種	・ C種	・ A種	・ B種	・ C種	・ A種	・ B種	・ C種	・ D種	・ 図示(図面番号: )	・ ( )
7 その他	① その他	○ 受付カウンター: オカムラ SE カウンター中欄付引き違い書庫タイプI1800×D450×H1000 同等品	2 断熱アスファルト防水改修工事 (9.2.1) - (9.2.3)	① 石綿含有吹付け材の除去 除去対象範囲 ・ 図示(図面番号: ) 除去方法 ・ 改修標準仕様書9.1.3(2)(7)による ・ ( ) 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止 ・ 溜溜化 ・ 固形化 除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理(溶融又は無害化による)	石綿含有吹付け材の除去 除去対象範囲 ・ 図示(図面番号: ) 除去方法 ・ 改修標準仕様書9.1.4(1)による ・ ( ) 除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理(溶融又は無害化による)	断熱アスファルト舗装改修工事 (9.5.2) - (9.5.7) (9.5.9)	・ 現場発泡断熱材(品質・性能) 工事建築材料等品質性能表による(試験方法) 工事建築材料等品質性能表による							
版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	設計	服部	年月日					
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	検図	牛田	年月日					
					課長 主幹 課長補佐 係長 係	図名	承認	山下	年月日					
						亀山市消防本部 改修工事 特記仕様書(3)	図番		KK03					
						縮尺								
						NS								

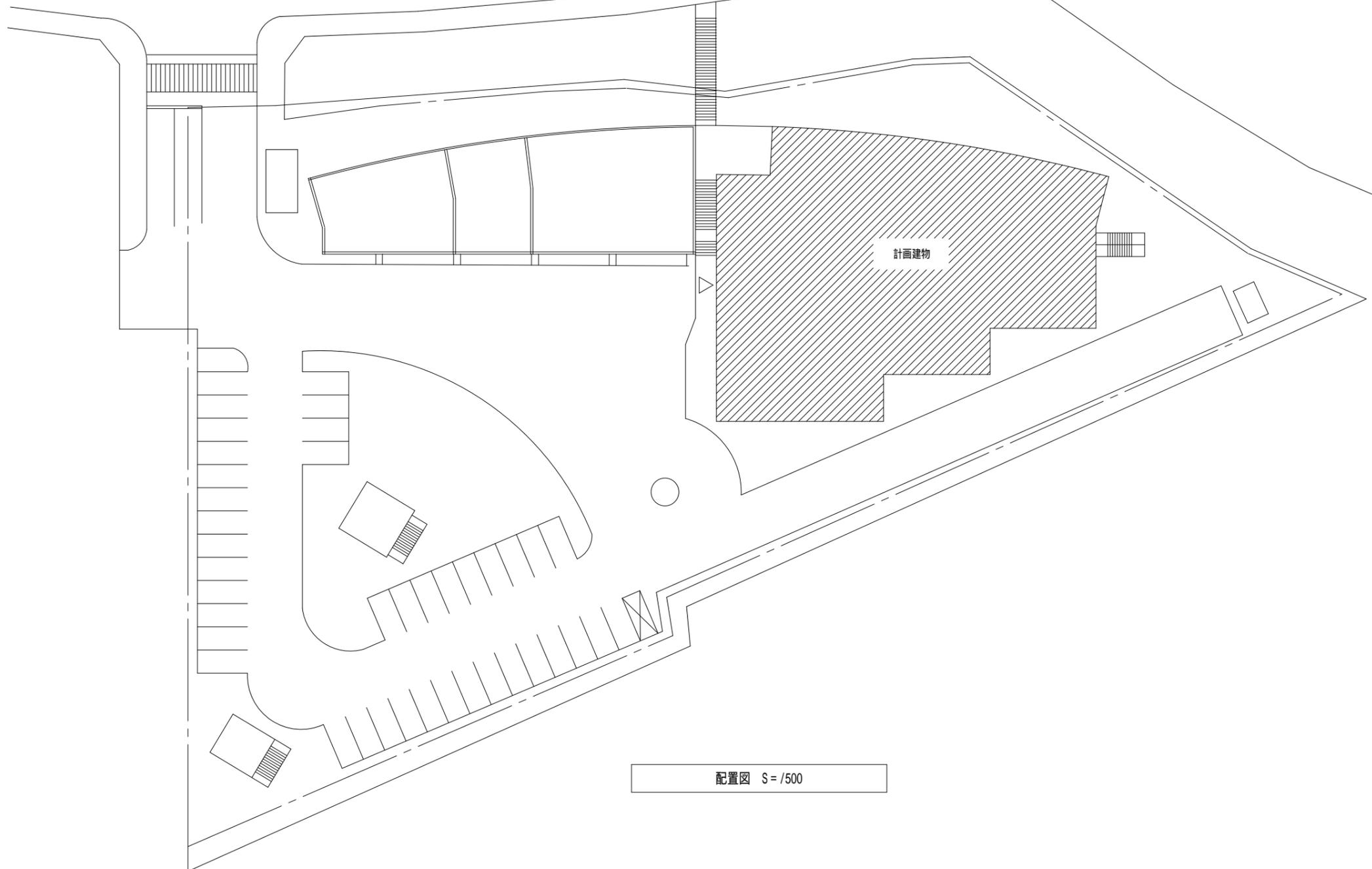


ビーム計画設計株式会社  
Beam Planning Corporation

設計	服部	年月日
検図	牛田	年月日
承認	山下	年月日
図番		KK03



国道1号線

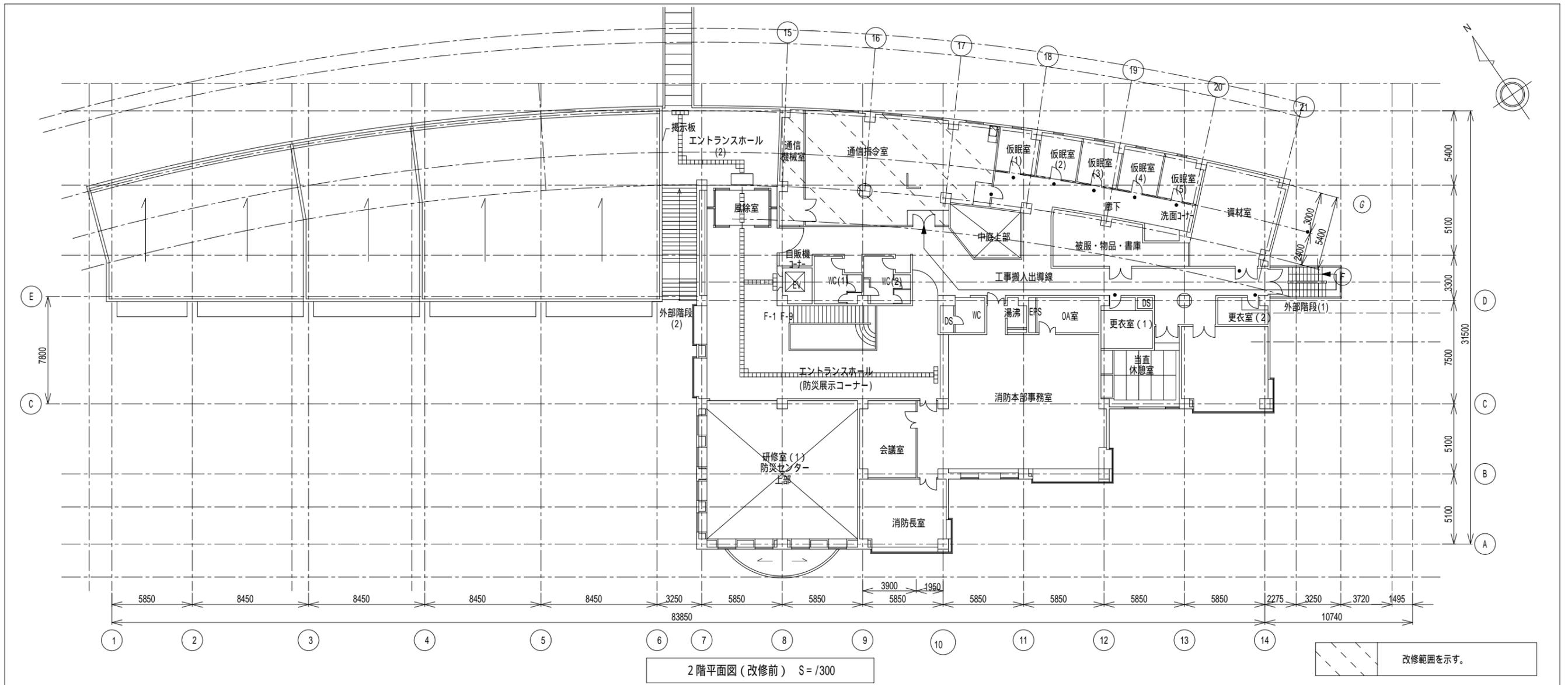


配置図 S = /500

版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	検図	牛田	年月日
					課長	図名	承認	山下	年月日
					主幹	亀山市消防本部 改修工事	図番		KK04
					課長補佐	配置図			
					係長	縮尺			
					係	1/500			



ビーム計画設計株式会社  
Beam Planning Corporation

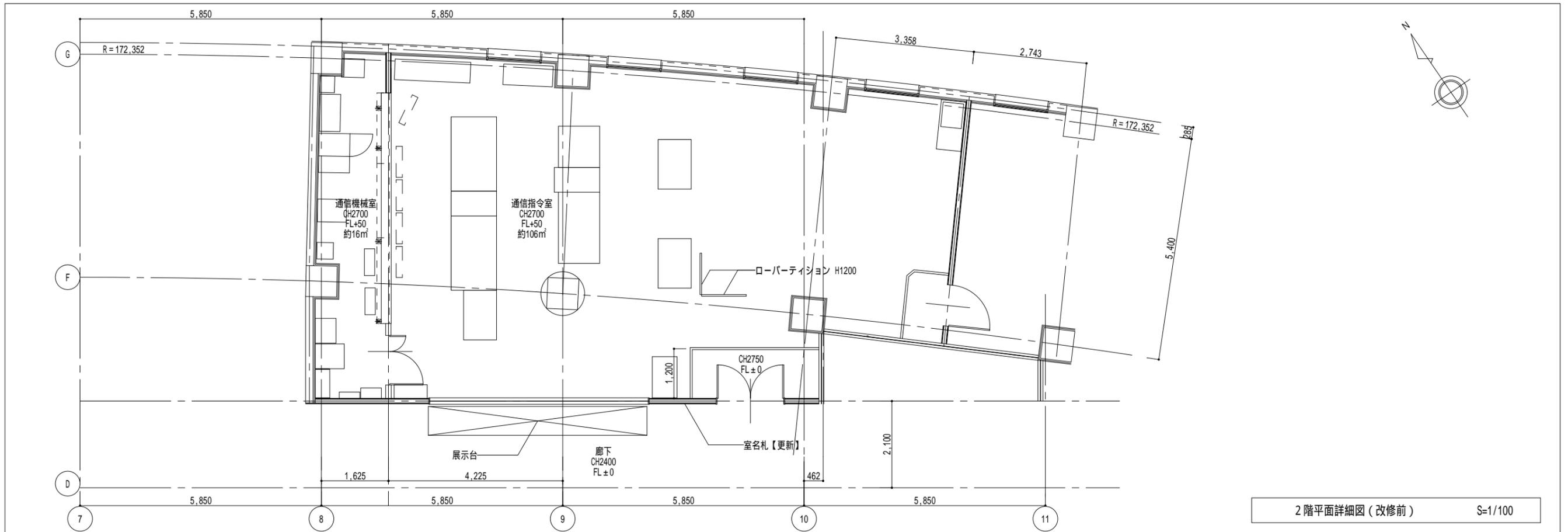


内部仕上表																	
フロア	室名	改修工事	内装制限と排煙設備			床		巾木		壁		天井			備考		
			排煙方法	内装材料	法的根拠	仕上げ	仕上高	巾木	H	仕上げ	下地	仕上げ	下地	廻縁		天井高	
2F	通信指令室 事務所	改修前	自	⊗	-	フリーアクセスフロア500×500 H100+タイルカーペット	FL+50	ビニル巾木	75	PB9.5t+PB12.5+EP塗装 PB12.5(GL工法)+EP塗装	LGS C	岩綿吸音板19(PB19.5捨貼り)		LGS	塩ビ	2,700	室名札【更新】
		改修後	自	⊗	-	既設フリーアクセスフロア不陸調整 フリーアクセスフロア欠損部: フリーアクセスフロア 500×500×19 H150 N5000N タイルカーペット部: 既設撤去の上、制電タイルカーペット500×500 t6.5 新設	FL+50	既設のまま 一部、ビニル巾木 H75 新設	75	既設のまま ディスプレイ撤去部: 既設垂壁撤去の上、LGS90+PB9.5t+PB12.5+EP塗装 新設		既設のまま		LGS	塩ビ	2,700	受付カウンター (中欄付引き違い書庫タイプ)【新設】 W1800×D450×H1000 室名札撤去部:内装薄塗塗材E 部分補修
	通信機械室	改修前		⊗	(七)	フリーアクセスフロア500×500 H150+タイルカーペット	FL+50	ビニル巾木	75	PB9.5t+PB12.5+EP塗装 PB12.5(GL工法)+EP塗装	LGS C	岩綿吸音板19(PB19.5捨貼り)		LGS	塩ビ	2,700	ディスプレイ用架台鉄骨下地
		改修後		⊗	(七)	ディスプレイ撤去部: 既設仕上撤去の上、制電タイルカーペット500×500 t6.5 新設 フリーアクセスフロア欠損部: フリーアクセスフロア 500×500×19 H150 N5000N 制電タイルカーペット500×500 t6.5 新設	FL+50	既設のまま	75	既設のまま ディスプレイ撤去部: 既設垂壁撤去の上、LGS90+PB9.5t+PB12.5+EP塗装 新設		既設のまま		LGS	塩ビ	2,700	ディスプレイ用架台鉄骨下地 既設のまま

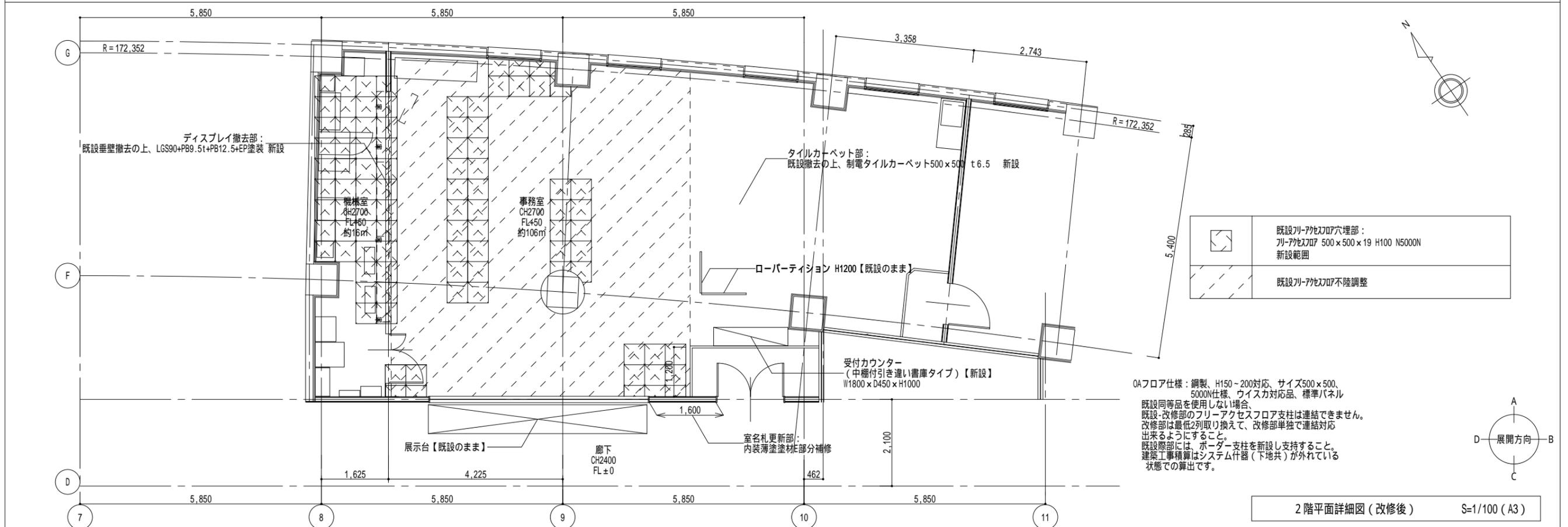
内装制限と排煙設備				法的根拠				特記事項	
(記号)	排煙方法	(記号)	内装材料	(記号)	内装材料	(記号)	排煙免除	:アスベストみなし部材を示す。	
自	自然排煙	⊙	天井、壁 準不燃材料以上	-	なし	(一)	(建築基準法) 令第 126条の2 第1項 1号	(五)	(建設省告示) 平12 建告1436号 第4号 二-2
機	機械排煙	⊗	天井、壁 不燃材料			(二)	令第 126条の2 第1項 3号	(六)	平12 建告1436号 第4号 二-3
-	なし	⊗	天井、壁 不燃材料(下地共)			(三)	令第 126条の2 第1項 4号	(七)	平12 建告1436号 第4号 二-4
		⊗				(四)	(建設省告示) 平12 建告1436号 第4号 二-1		

版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	縮尺	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事		設計	服部	年月日
					課長	主幹	課長補佐	係長	係	年月日
						図名		図番		年月日
						亀山市消防本部 改修工事 仕上表・2階平面図	1/300			年月日
								図番		KK05



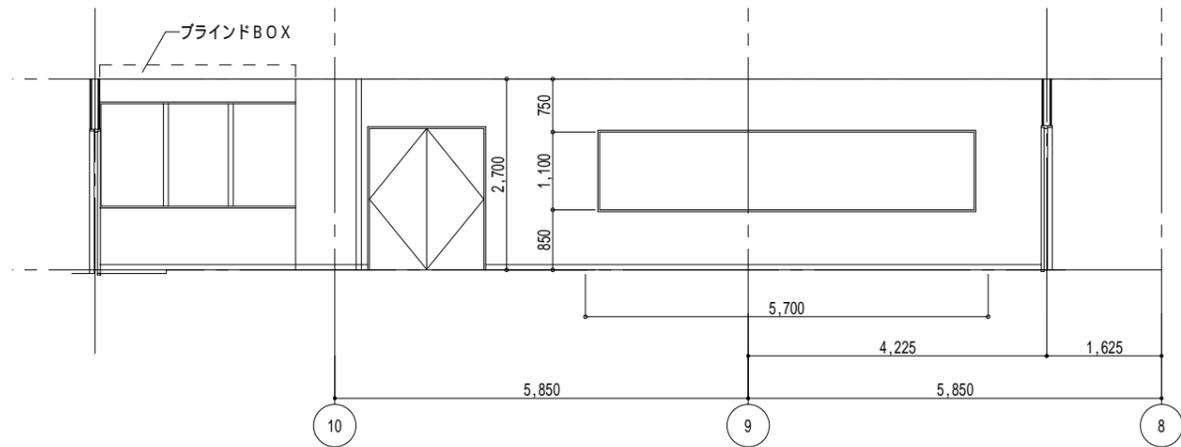


2階平面詳細図 (改修前) S=1/100

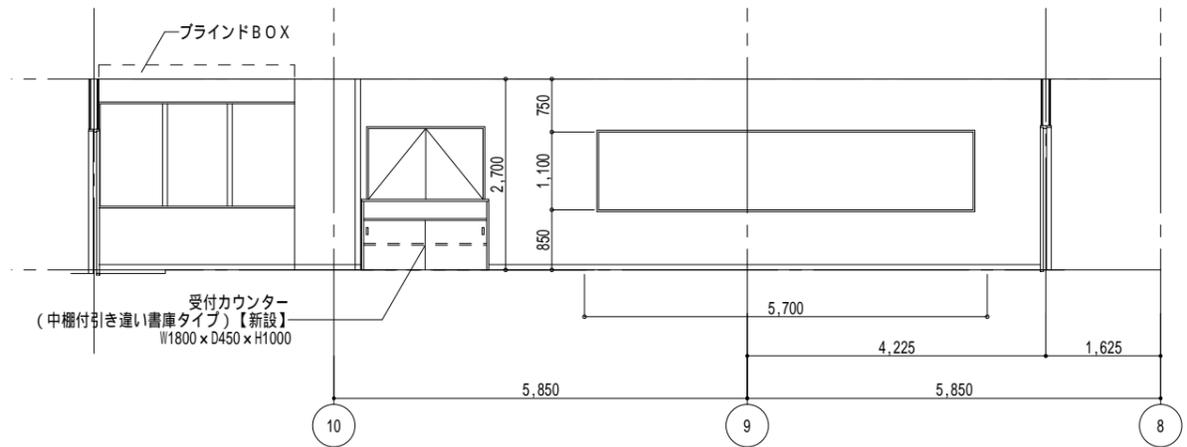


2階平面詳細図 (改修後) S=1/100 (A3)

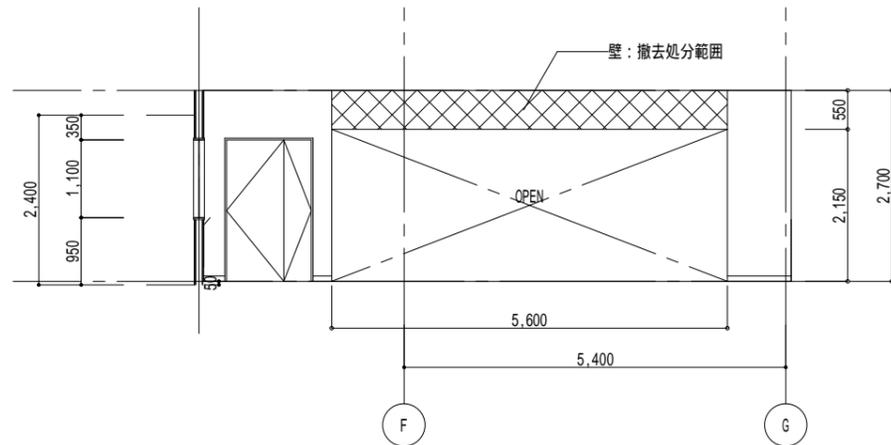
課長	課長	課長	課長	課長	課長	津市	課長	三重中央消防指令センター総合整備工事	 <b>ビーム計画設計株式会社</b> Beam Planning Corporation	設計	服部	年月日
								1/100		検図	牛田	年月日
										承認	山下	年月日
										図番		KK06



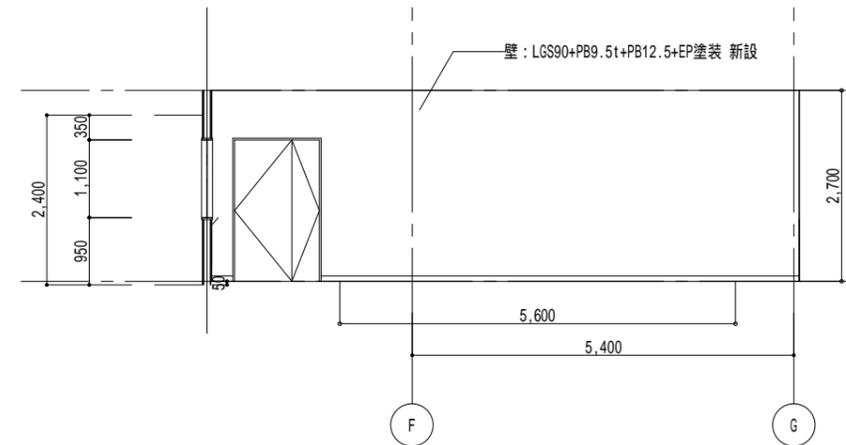
指令センター C展開図 SC 1/100



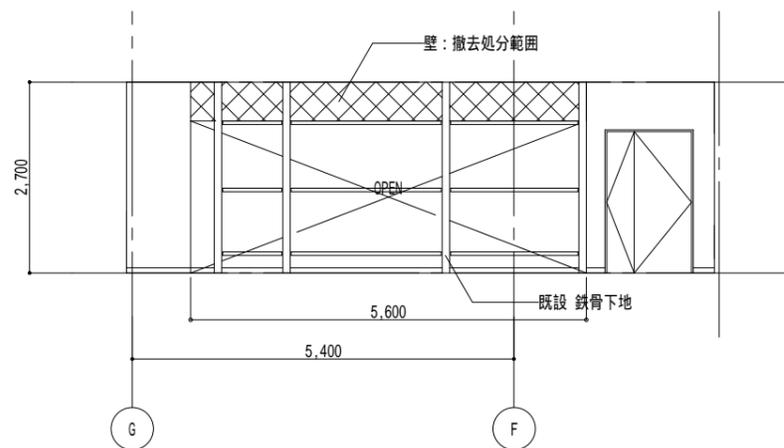
指令センター C展開図 SC 1/100



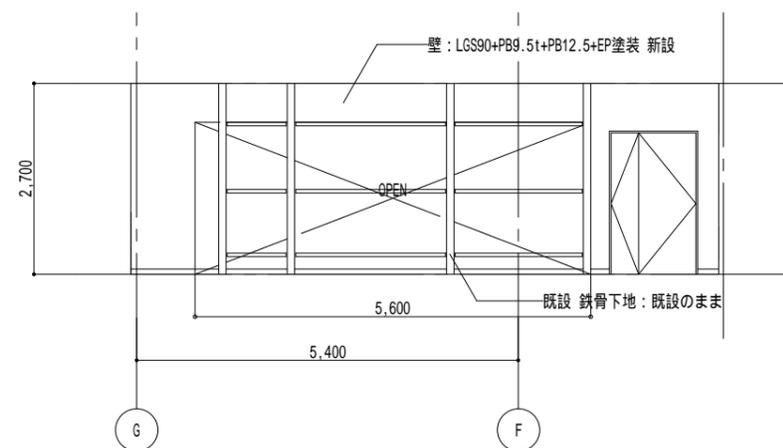
指令センター D展開図 SC 1/100



指令センター D展開図 SC 1/100



機械室 B展開図 SC 1/100



機械室 B展開図 SC 1/100

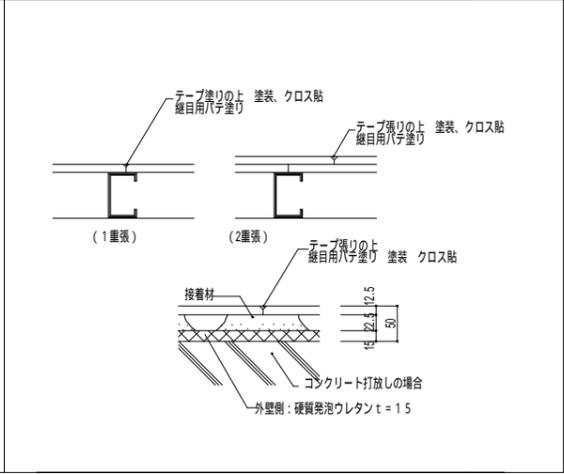
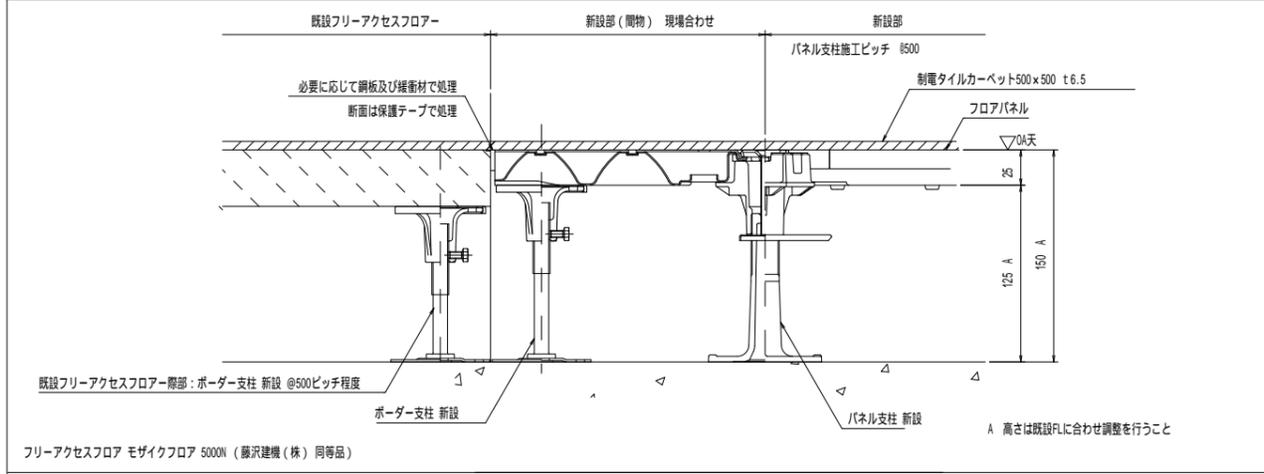
改修前

改修後

版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	図名	縮尺	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	亀山市消防本部 改修工事 展開図(改修前・改修後)	1/100	梁	牛田	年月日
					課長	主幹	課長補佐	係長	承認	山下	年月日
									図番	KK07	



ビーム計画設計株式会社  
Beam Planning Corporation



フリーアクセスフロア モザイクフロア 5000N (藤沢建機(株) 同等品)

版	年月日	設変番号	変更事項	承認	発注者	名称	設計	服部	年月日
					津市	三重中央消防指令センター総合整備工事	検図	牛田	年月日
					課長	図名	承認	山下	年月日
					主幹	亀山市消防本部 改修工事	図番	KK08	
					課長補佐	雑詳細図			
					係長	縮尺			
					係	図示			



**ビーム計画設計株式会社**  
Beam Planning Corporation